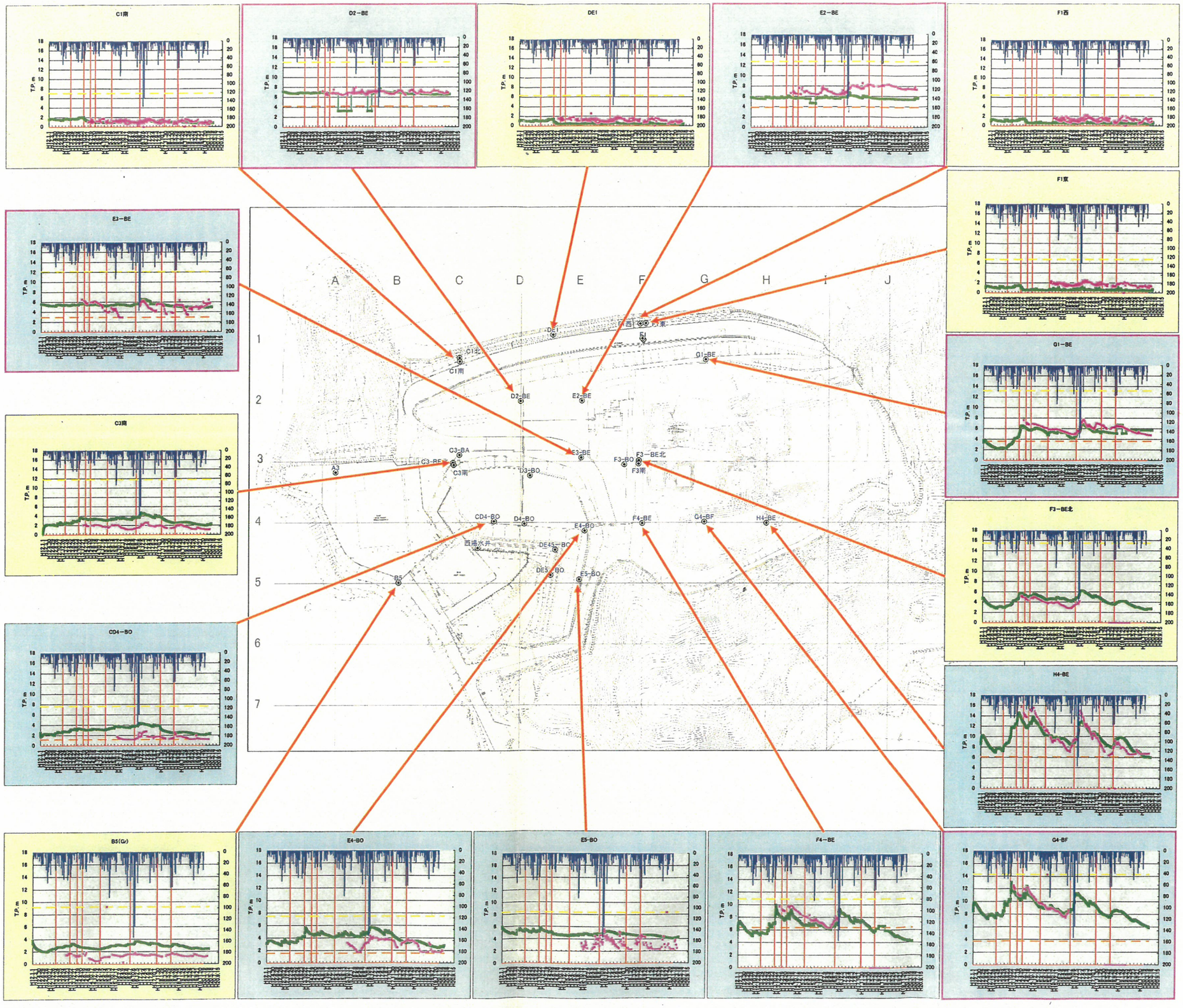
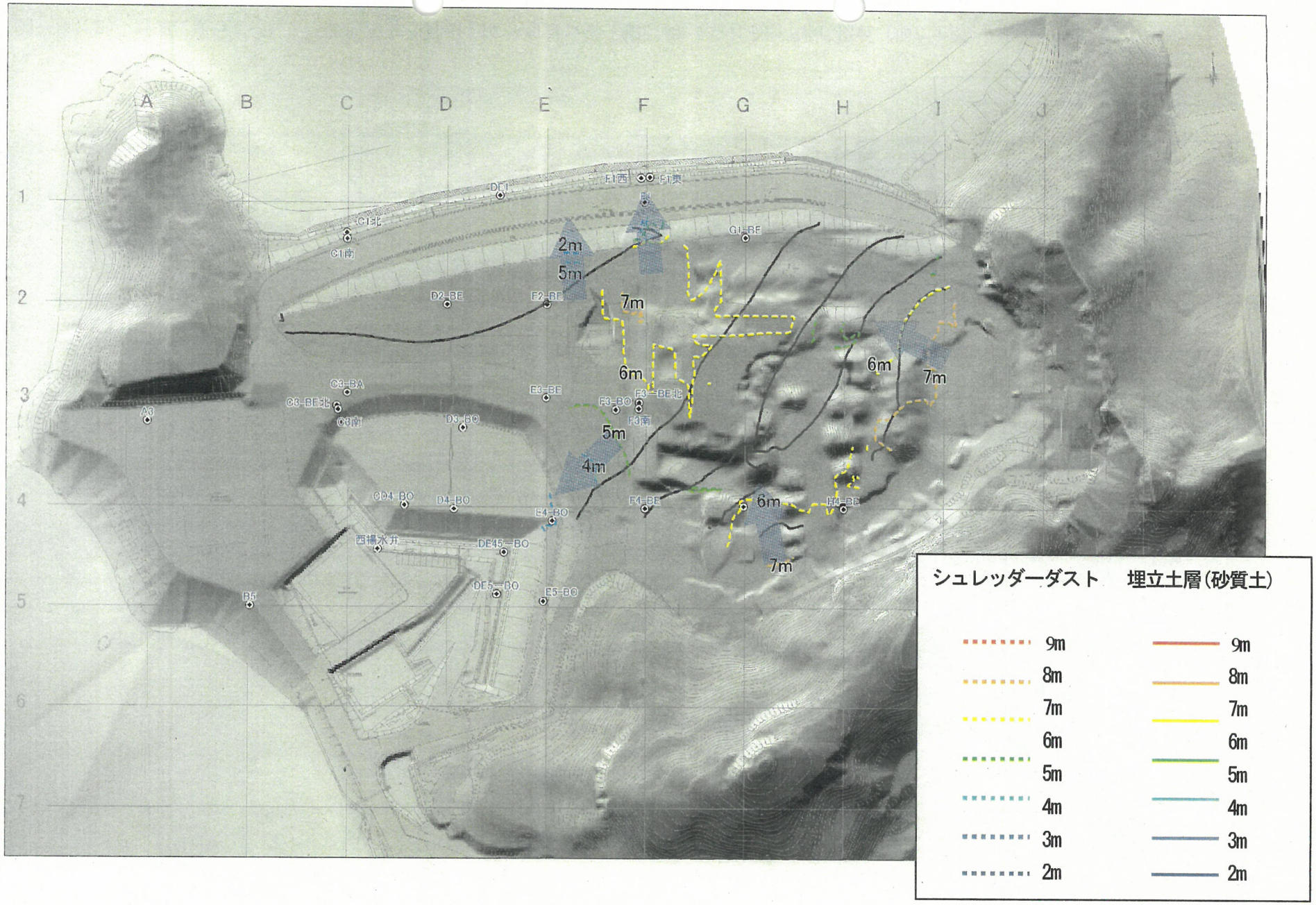
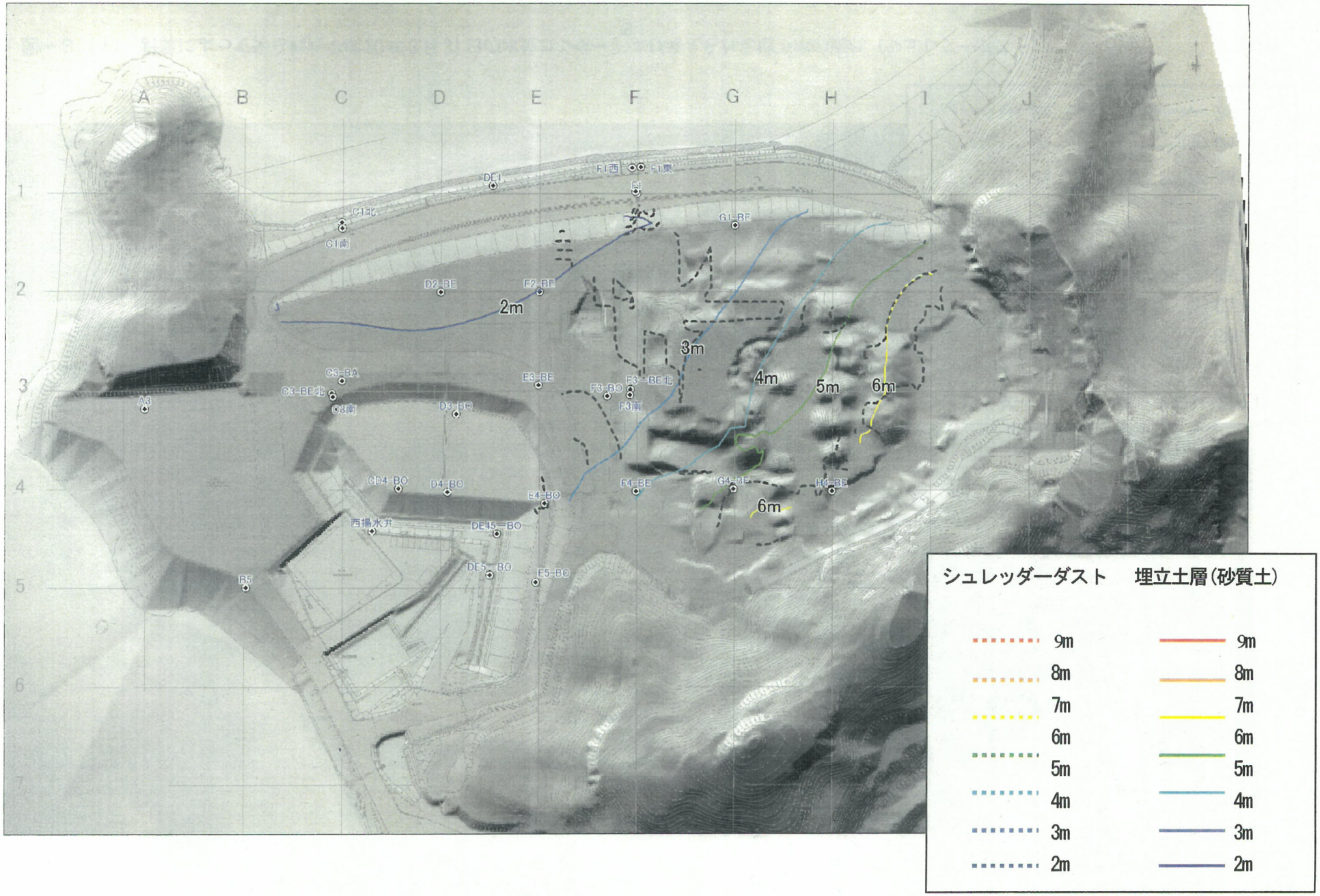


図－7　計算水位と観測水位の比較



図－８（１） 計算によって得られた平成20年3月31日の水位コンターおよび考えられる地下水の流れ（シュレダーダスト）



図－８（２） 計算によって得られた平成 20 年 3 月 31 日の水位コンターおよび考えられる地下水の流れ（埋立土層）

資料17・Ⅱ／3－3
平成20年12月27日

第３工区の掘削に伴う暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアルの改正について

1　第３工区の掘削に伴う施設・設備の廃止等について

第３工区の掘削に伴い、当該工区に設置されている浸透トレンチ及び水位計、高度排水処理施設から浸透トレンチへの還流配管、土壌水分計などの施設・設備等を撤去する必要がある。

これらの撤去等による代替措置等の対応は次のとおりである。

＜撤去施設等の代替措置・対応＞

撤去施設等の名称	代替措置・対応
浸透トレンチ	高度排水処理施設からの還流は、廃止する浸透トレンチにかえて掘削現場内の東トレンチ（貯留トレンチ）に送水することとし、これに伴って、還流配管（送水管）及び貯留トレンチの水位計を設置する。 （なお、水位計を設置するまでの間は、貯留トレンチの水位を目視観測する。）
土壌水分計	暫定的な環境保全措置施設の設置に関する維持管理ガイドラインで、高度排水処理施設稼動までの間、表面遮水施設を監視する目的で設置したものであり、地下水量も減少していることから、廃止する。

2　「暫定的な環境保全措置施設の施設等に関する維持管理マニュアル」の改正

第３工区の掘削により、浸透トレンチ等が廃止されることに伴い、「暫定的な環境保全措置施設の施設等に関する維持管理マニュアル」を改正する。

II-3　暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

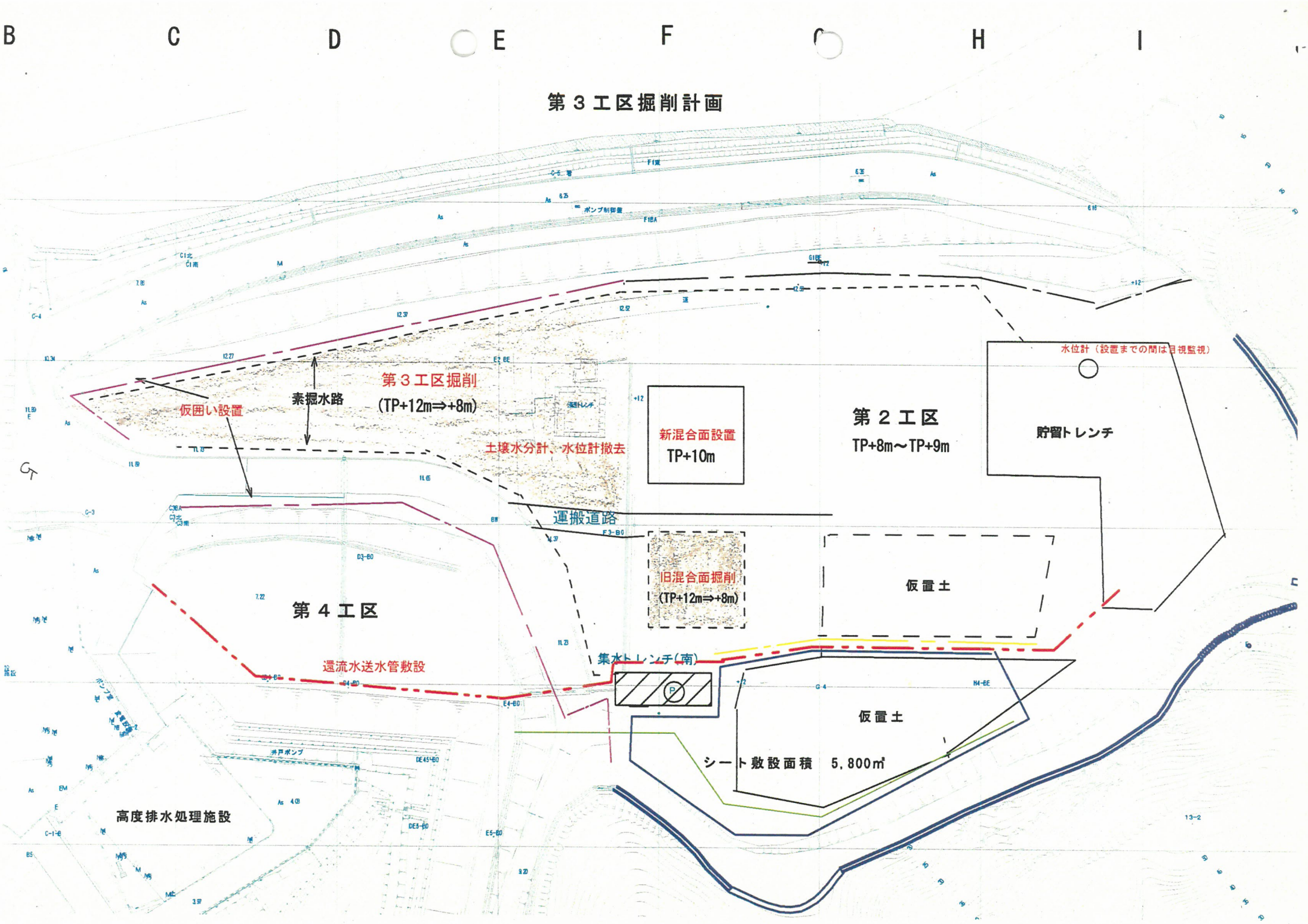
項目	修正前	修正後
Ⅰ　趣旨	施設：⑤浸透施設	施設：⑤貯留施設
2　（表中：施設、対象設備）	対象設備：浸透トレンチ	対象設備：貯留トレンチ

項目	修正前	修正後
Ⅱ　概要 1 ○異常時	……揚水人孔及び浸透トレンチの水位上昇、揚水ポンプの機能低下等を生じたとき。異常時の基準となる水位は、目視観測により、（中略）浸透トレンチにあっては水面が地上面より-0.2m 程度とする。	……揚水人孔及び貯留トレンチの水位上昇、揚水ポンプの機能低下等を生じたとき。異常時の基準となる水位は、目視観測により、（中略）貯留トレンチにあっては水面が地上面より-0.2m 程度とする。
Ⅱ　概要 3	表面遮水施設及び浸透施設を除く施設の維持管理は、	表面遮水施設及び貯留施設を除く施設の維持管理は、
5	表面遮水施設及び浸透施設を除く施設の維持管理は、	表面遮水施設及び貯留施設を除く施設の維持管理は、
Ⅲ　維持管理 １通常の管理 【直島センター】 (2)毎日の場内巡回の実施による、各施設の稼動状況の監視 ⑤浸透施設	⑤浸透施設 ○浸透トレンチ内の水位を水位計により監視する。	⑤貯留施設 ○貯留トレンチ内の水位を水位計により監視する。
⑧雨水等貯留施設	管理基準値を超過している場合には、掘削現場、浸透トレンチ又は、高度排水処理施設に送水する。	管理基準値を超過している場合には、掘削現場、貯留トレンチ又は、高度排水処理施設に送水する。
【請負者】 (2)施設の定期的な監視 ④揚水施設 (2)西井戸	西井戸の水位が一定の水位を超えた場合には、揚水ポンプにより浸透トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。	西井戸の水位が一定の水位を超えた場合には、揚水ポンプにより貯留トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。
⑤浸透施設	⑤浸透施設 水位の低下に一定以上の時間を要するようになれば、浸透トレンチの改修等を行なうものとする。	（削除）
⑧雨水等貯留施設	○承水路の貯留水は、（中略）貯留水を浸透トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。	○承水路の貯留水は、（中略）貯留水を貯留トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。
２設備等に異常が生じた場合 【請負者】 （表中：内容、措置）	内容：浸透トレンチの異常高水位 措置： ○揚水ポンプを停止し、機能の回復を図る。 ○浸透トレンチが目詰まりを起こして、浸透に長時間を要している場合は、……。	内容：貯留トレンチの異常高水位 措置： ○揚水ポンプを停止し、機能の回復を図る。 ○貯留トレンチが目詰まりを起こして、浸透に長時間を要している場合は、……。

項目	修正前	修正後
（表中：措置）	内容：揚水人孔の異常高水位 措置：予備の揚水人孔から仮設ポンプによって、空いている浸透トレンチへ揚水して、水位の低下を図る。	内容：揚水人孔の異常高水位 措置：予備の揚水人孔から仮設ポンプによって、空いている貯留トレンチへ揚水して、水位の低下を図る。
（表中：措置）	内容：浸出水の漏出 措置：○漏出した浸出水は、仮設ポンプにより浸透トレンチ又は高度排水処理施設へ還流し、漏出防止対策を検討する。	内容：浸出水の漏出 措置：○漏出した浸出水は、仮設ポンプにより貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流し、漏出防止対策を検討する。
（表中：措置）	内容：沈砂池の汚染 措置：○浸出水の漏出あるいは浸透トレンチでのオーバーフローによって、広範囲の排水路が汚染された場合は、…。 措置:○浸出水によって汚染された沈砂池１の水は、原則として仮設ポンプによって掘削現場、浸透トレンチ又は高度排水処理施設へ還流するとともに、…。	内容：沈砂池の汚染 措置：○浸出水の漏出あるいは貯留トレンチでのオーバーフローによって、広範囲の排水路が汚染された場合は、…。 措置：○浸出水によって汚染された沈砂池１の水は、原則として仮設ポンプによって掘削現場、貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流するとともに、…。
３荒天時の管理 【請負者】 （表中：措置）	内容：異常降雨時 措置：調整槽の容量を超える場合は、高度排水処理施設の常設ポンプで浸透トレンチに還流する。	内容：異常降雨時 措置：調整槽の容量を超える場合は、高度排水処理施設の常設ポンプで貯留トレンチに還流する。
（表中：措置）	内容：異常降雨時 措置：○浸透トレンチ等の目詰まりの補修や新たに揚水中継池を設ける必要がある場合に備え、仮説ポンプやホース、バックホウ等の重機や運転要員を確保しておくこと。	内容：異常降雨時 措置：○貯留トレンチ等の補修や新たに揚水中継池を設ける必要がある場合に備え、仮説ポンプやホース、バックホウ等の重機や運転要員を確保しておくこと。
別紙１ 各設備一覧 ５：浸透施設	５　浸透施設：浸透トレンチ　１基	５　貯留施設：貯留トレンチ　１基
８：モニタリング設備	装置名：投げ込み式水位計 設置場所：遮水壁内側及び外側、揚水人孔②、浸透トレンチ	装置名：投げ込み式水位計 設置場所：遮水壁内側及び外側、揚水人孔②、貯留トレンチ
	装置名：TDR 式土壌水分計 数量：１ 設置場所：北海岸 E2 地点	（削除）

項目	修正前	修正後
別紙２ 処分地チェック表 (表中：区分)	揚水人孔 浸透トレンチ 揚水井	揚水人孔 貯留トレンチ 揚水井
様式１　請負者用 場内巡回日報 （表中：区分）	浸透施設 浸透トレンチ	貯留施設 貯留トレンチ
様式１　職員用 場内巡回日報 （表中：区分）	浸透施設 浸透トレンチ	貯留施設 貯留トレンチ
図－４　通常の管理体制 直島環境センター （センター内での確認事項）	①表面遮水施設 ・土壌水分計の観測データの確認 ④浸透施設 ・浸透トレンチの水位計の観測データの確認	①表面遮水施設 （削除） ④貯留施設 ・貯留トレンチの水位計の観測データの確認
請負者 （現地での確認事項）	④浸透施設（目視及び水位計による確認） ・浸透トレンチの水位	④貯留施設（目視及び水位計による確認） ・貯留トレンチの水位
図－５　設備等に異常が生じた場合の管理体制 請負者 （現地での対応）	②浸透トレンチの異常高水位 ・揚水ポンプを停止 ⑤浸出水の漏出 ・浸出水を仮設ポンプにより浸透トレンチ又は高度排水処理施設へ還流 ⑥沈砂池の汚染（排水路の汚染及び沈砂池の水質が管理基準値を超過） ・浸出水で汚染された沈砂池の水は、仮設ポンプで浸透トレンチ又は高度排水処理施設へ還流	②貯留トレンチの異常高水位 ・揚水ポンプを停止 ⑤浸出水の漏出 ・浸出水を仮設ポンプにより貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流 ⑥沈砂池の汚染（排水路の汚染及び沈砂池の水質が管理基準値を超過） ・浸出水で汚染された沈砂池の水は、仮設ポンプで貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流
図－６　荒天時の管理体制 請負者 （現地での対応）	○異常降雨時 ①高度排水処理施設の調整槽の容量を超えるときは、常設ポンプで浸透トレンチに還流。掘削現場へのホース及び揚水ポンプの準備 ③浸透トレンチ等の目詰まりの補修や新たに揚水中継池を設ける必要がある場合に備え、バックホウ等の重機や運転要員の確保	○異常降雨時 ①高度排水処理施設の調整槽の容量を超えるときは、常設ポンプで貯留トレンチに還流。掘削現場へのホース及び揚水ポンプの準備 ③貯留トレンチ等の目詰まりの補修や新たに揚水中継池を設ける必要がある場合に備え、バックホウ等の重機や運転要員の確保

第３工区掘削計画


第３工区掘削
(TP+12m⇒+8m)
仮囲い設置
素掘水路
土壌水分計、水位計撤去
新混合面設置
TP+10m
第２工区
TP+8m～TP+9m
水位計（設置までの間は目視監視）
貯留トレンチ
運搬道路
旧混合面掘削
(TP+12m⇒+8m)
仮置土
第４工区
還流水送水管敷設
集水トレンチ(南)
仮置土
シート敷設面積　5,800㎡
高度排水処理施設

資料17・Ⅱ／4－1
平成20年12月27日

中間処理施設の定期点検整備計画等

No.	項　目	12月 28	29	1月 30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	概要
	1号炉 処理停止期間				1月2日 立下げ開始		←													1月17日 立上げ開始（1月18日溶融開始）			→		
	2号炉 処理停止期間				1月2日 立下げ開始		←													1月17日 立上げ開始（1月18日溶融開始）			→		
1	前処理 破砕機整備									←							→								・ライナ等消耗品の交換 ・肉盛補修
2	前処理 粗破砕機整備																←		→						刃物交換
3	溶融炉 炉内整備									←							→								・二次燃焼室壁面清掃 ・クラック部の簡易補修
4	第1スラグ コンベヤ 整備											←									→				二次燃焼室に付着・成長した大きなスラグが落下しても排出できるように天蓋のかさ上げを実施するとともにチェーンの交換を行う
5	ボイラー及び 脱気器 点検整備								←								▼ボイラー性能検査				→				・ボイラー及び脱気器の法定点検対応 ・耐火物剥離箇所の水管肉厚測定 （必要に応じて肉盛補修）
6	溶融炉触媒塔 触媒積み増し									←							→								触媒の積み増し
7	溶融炉 ダスト排出装置 整備																←				→				後燃焼室ダスト排出装置及びボイラーダスト排出装置の消耗品の交換
8	分析計 点検整備											排ガス分析計	←	→						可燃ガス検知警報器	↔				排ガス分析計及び可燃ガス検知警報器の消耗部品の交換

資料17・Ⅱ／4－2
平成20年12月27日

最近のトラブルと対策

No.	処理停止発生日	内容	原因	対策	1号炉処理停止時間［h］	2号炉処理停止時間［h］
1	H20.10.25	1号第2ダスト搬送コンベヤ故障のため一時停止	レールが脱落し、チェーンに噛み込んだため	休炉中の点検結果を踏まえて対策を実施する	42	－
2	H20.12.6	1号第1スラグコンベヤ故障のため一時停止	二次燃焼室壁面に付着・成長していたスラグが落下、スラコンから排出させる際に上蓋のリブと干渉してスクレーパが変形したことによる	上蓋のかさ上げとヘッド部の改造により大きなスラグでも系外に排出できるようにする（平成21年1月定期整備工事で実施予定）	25	－
その他	H20.11.6	停電のため、一時処理停止	中国電力送電設備改修工事	－	57	56

資料17・Ⅱ／5－1－1
平成20年12月27日

平成２０年度豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価業務の実施方針

１　概要

この業務は、「豊島廃棄物等処理事業管理マニュアル」第９の規定及び第３回豊島廃棄物等管理委員会で承認された実施方針に基づき、平成１６年度から実施している。

平成２０年度においては、これまでの①外部評価の実施状況、②豊島廃棄物等管理委員会の評価、③土庄町豊島及び直島町の意見などを踏まえ、業務内容の充実を図りながら、次の実施方針に従ってこの業務を行うものとする。

２　目的等

⑴　目的

豊島廃棄物等処理事業を適切に実施、管理することを目的に外部評価を行うものとする。

⑵　名称

豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価業務（以下「業務」という。）

⑶　業務場所

豊島処分地、直島環境センター（太陽を含む）及び県廃棄物対策課

⑷　業務対象

業務対象は、豊島廃棄物等処理事業（健康管理、見学者対応などの関連業務を含む）で、豊島及び直島の施設（海上輸送など関連施設を含む）と請負業者及び県とする。

３　業務内容等

⑴　業務内容等

①　業務内容は、豊島廃棄物等を安全かつ確実に処理するため、事業に関わる請負業者及び県の活動状況を評価するものとする。具体的には、過去４年間の実施結果を参考に、ポイントを明確化して、各種マニュアルの遵守状況のチェックと請負業者及び県の内部チェックが有効かつ適正に実施されているかどうかを確認するものとする。さらに、外部評価を通じてマニュアルの妥当性の評価や改善の提案、現場での教育訓練の充実、事業の情報公開としての機能も期待するものとする。

②　各種マニュアルの遵守状況のチェックは、事業実施状況の確認とともに請負業者及び県がそれぞれの立場で何をしなければならないかという知識と意識をチェックするものとする。

③　業務の実施に当たっては、事業やマニュアルが広範多岐にわたっていることから、請負業者及び県の内部チェックとの整合性を図りながら、評価時における対象をあらかじめ重点ポイントとして絞り込むものとし、今回は、事故・トラブル事態の予防など事業の安全性に寄与する取り組み状況のチェックや目標値・傾向値管理のための基礎データの把握など処理の効率性の向上に資する方策の提案を主眼とするものとする。

④　業務の実施に際し、豊島廃棄物等管理委員会及び技術アドバイザーの指導、助言を得るとともに、土庄町豊島及び直島町のそれぞれの代表者の意見をできるかぎり反映するものとする。

⑵　事前準備

豊島廃棄物等技術員会報告書第Ⅱ編（マニュアル編）などの資料を参考に業務計画書及びチェックリストを作成するための準備を行うものとする。

⑶　業務計画書の作成

業務概要、実施方針、スケジュールや連絡体制などを記載した業務計画書を作成するものとする。

⑷　チェックリストの作成

次の事項を評価するため、評価項目、確認方法、判定区分などを記載したチェックリストを作成するものとする。

⑸　外部評価の実施

外部評価は、豊島廃棄物等管理委員会が選定した項目（重点ポイント）について、そのチェックリストに基づき実施するものとする。

平成２０年度は、次の項目を重点ポイントとする。

■マニュアル等の遵守状況のチェック

○　掘削・運搬から副成物の有効利用に至る処理事業全般の一連の手順（安全確保と環境保全のために特段の配慮が必要な次の事項を重点対象とする。）

○　豊島廃棄物等処理事業管理マニュアル

○　異常時・緊急時等対応マニュアル

○　中間処理施設運転・維持管理マニュアル

○　暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

■安全対策の導入状況のチェック

○　ひやり・ハット事例、事故事例、業務改善提案等への対応状況や教育トレーニングシステムの充実など安全対策に関する事項

○　特に、溶融炉等における可燃性ガス対策や高度排水処理施設等における部品管理対策など安全対策に関する事項

■目標値の設定と目標値管理のための基礎データの把握・検討

○　実操業比率

○　ひやり・ハットの発生比率

○　非定常現場作業比率

○　警報の発生状況とその取扱いに関する基礎データ

○　副成物の不良率に関する基礎データ

○　キープ運転時間比率

○　投入エネルギー比率

○　処理量対経費率

■施設の傾向値管理など運営レベル向上のための基礎データの把握・検討

○　主要部品の交換のタイミングに関する基礎データ

○　主要設備の劣化レベルに関する基礎データ

⑹　実施結果のまとめ

実施結果を取りまとめ、報告書を作成するものとする。

⑺　是正措置・予防措置の提案

実施結果において、実施、管理及び手続き上、不備などが発見された場合は、その原因の究明や改善のために必要な措置の提案に努めるものとする。

⑻　実施結果の報告

実施結果を、県及び豊島廃棄物等管理委員会に報告するものとする。

４　業務実施手順等

業務の実施手順に関しては、ＩＳＯの環境マネジメントシステム監査のための指針などに準拠するものとする。また、担当者には、環境マネジメントシステム審査員などの監査員資格を有する者をメンバーに含めるものとし、必要に応じ、廃棄物処理プラント及び廃棄物処理に精通した者と連携するものとする。

資料17・Ⅱ／5－1－2
平成20年12月27日

平成２０年度豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価業務実施に係る関係者のご意見と進捗状況等について

（株）NTTデータ経営研究所

１．外部評価業務実施に当たっての関係者のご意見について

（１）経緯

平成20年度の豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価業務の実施に当たり、ＦＡＸやメールにより、本年度の業務概要をお伝えした上で、土庄町豊島と直島町それぞれの代表者のご意見を伺いました。

（２）ご意見

◆直島町代表者からのご意見：特になし

◆土庄町豊島代表者からのご意見

次のような事項を評価対象として、取り入れられないか

１．　廃棄物重量の見直しと全体量の適正な把握方法等についての評価

２．　処理計画と、稼動状況・進捗状況などについての評価

３．　現在までの稼動状況の評価に基づく、今後の処理計画に対する評価

（３）対応方針

◆土庄町豊島代表者からのご意見に対する対応方針

今回、評価対象として挙げられた事項については、いずれも豊島廃棄物等管理委員会が指導、助言、評価等を行うことから、外部評価業務としては、下記のとおり、豊島廃棄物等管理委員会からの指示に基づき実施状況や基礎的なデータの収集、把握を行うこととします。

１．廃棄物重量の見直しと全体量の適正な把握方法等については、管理委員会から指示された事項に関する基礎データの把握等を行います。

２．稼動・進捗状況等を把握するため、目標値管理の一項目として、実操業比率（計画操業日数に対する実際の操業日数の割合）のチェック等を行います。

３．稼動状況等については、実操業比率等のデータの他、事故事例を踏まえた安全対策に関する事項のチェック等を行います。

２．外部評価業務のこれまでの進捗状況と今後の予定について

（１）これまでの進捗状況

豊島廃棄物等管理委員会で承認された業務計画書に基づき、“マニュアル等の遵守状況のチェック”と“安全対策の導入状況のチェック”のためのチェックリストの準備、“目標値の設定と目標値管理のための基礎データの把握・検討”と“施設の傾向値管理など運営レベル向上のための基礎データの把握・検討”のためのデータの収集等を実施しています。

（２）今後の予定

業務計画書に記載したとおり、平成21年2月上旬に現地調査を実施し調査結果をとりまとめるとともに、必要に応じて2月下旬までに補完調査を実施、3月末には報告書をとりまとめることとしています。

資料１７・Ⅱ／５－２
平成 20 年 12 月 27 日

環境計測、周辺環境モニタリング、作業環境測定結果について

１．環境計測

（１）中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について ..... 平成 20 年 7 月調査

- 全ての項目について、管理基準を満足していた。

（２）中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について ..... 平成 20 年 8 月調査

- 全ての項目について、管理基準を満足していた。

（３）豊島における環境計測（沈砂池１）結果について ..... 平成 20 年 9 月調査

- 検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

（４）中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について ..... 平成 20 年 10 月調査

- 全ての項目について、管理基準を満足していた。

（５）豊島における環境計測（沈砂池２）結果について ..... 平成 20 年 10 月調査

- 検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

（６）豊島における環境計測（高度排水処理施設）結果について ..... 平成 20 年 10 月調査

- 全ての項目について、管理基準を満足していた。

（７）豊島における環境計測（沈砂池１）結果について ..... 平成 20 年 10 月調査

- 検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

（８）豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭調査）結果について
..... 平成 20 年 10 月～11 月調査

＜大気汚染＞

- 事前環境モニタリング調査結果と比較して、特段の差異はみられなかった。
- 二酸化いおう、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、オキシダント及び二酸化窒素のいずれも環境基準を満足していた。
- ジクロロメタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンのいずれも環境基準を満足していた。
- ニッケル及びその化合物、水銀及びその化合物については、指針を満足していた。
- ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法の環境基準を満足していた。

＜騒音＞

- 全ての時間帯において、管理基準を満足していた。

＜振動＞

- 全ての時間帯において、20dB 未満であった。

＜悪臭＞

- アセトアルデヒドが検出されたが、管理基準を満足していた。
- その他の項目については、全て検出されず、管理基準を満足していた。

2．周辺環境モニタリング

（1）直島における周辺環境モニタリング（大気汚染）結果について....平成 20 年 8 月～9 月調査

- 事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比較して、特段の差異はみられなかった。
- 光化学オキシダントが、環境基準を満足していない時間帯があった。
- その他の項目について、環境基準を満足していた。

（2）直島における周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について.....平成 20 年 8 月調査

＜水質＞

○　一般項目（生活環境保全上の基準： 8 項目）

- 平成 18 年度から全亜鉛を追加調査しており、昨年度は環境基準を満足しなかったが、今年度は生物特Ａの環境基準値を満足した。（現在のところ、香川県の海域では、類型指定はなされていない。）
- DO が環境基準を満足しなかった。
- それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

○　健康項目（人の健康を保護する上での基準： 25 項目）

- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出されたが、環境基準を満足していた。
- それ以外の項目については検出されず、環境基準を満足していた。

○　その他の項目（4 項目）

- モリブデン、ニッケル及びアンチモンは検出されなかった。

○　ダイオキシン類

- ダイオキシン類については、環境基準を満足していた。

＜底質＞

これまでの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- 総水銀が検出されたが、暫定除去基準を満足していた。
- PCB は検出されず、暫定除去基準を満足していた。
- ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

（3）海上輸送に係る周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について.....平成 20 年 8 月調査

＜水質＞

これまでの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○　一般項目（生活環境保全上の基準： 8 項目）

- 平成 18 年度から、全亜鉛を追加調査しており、昨年までと同様に生物特Ａの環境基準値を満足した。（現在のところ、香川県の海域では、類型指定はなされていない。）
- DO が全ての地点において環境基準を満足しなかった。
- COD が、豊島南海岸で環境基準を満足しなかった。
- それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

○　健康項目（人の健康を保護する上での基準： 25 項目）

- 全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○　その他の項目（4 項目）

- モリブデン、ニッケル及びアンチモンは、全ての地点において検出されなかった。

○　ダイオキシン類

- 全ての地点において、環境基準を満足していた。

＜底質＞

これまでの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- 総水銀が、全ての地点において検出されたが、暫定除去基準を満足していた。
- PCB は、全ての地点において検出されず、暫定除去基準を満足していた。
- ダイオキシン類は、全ての地点においてダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。
- それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

（4）豊島における周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について.....平成 20 年 8 月調査

【周辺地先海域】

＜水質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○　一般項目（生活環境保全上の基準： 8 項目）

- DO が、全ての地点において、環境基準を満足しなかった。
- それ以外の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。

○　健康項目（人の健康を保護する上での基準： 25 項目）

- 全ての地点において環境基準を満足していた。

○　その他の項目（4 項目）

- モリブデン、ニッケル及びアンチモンについては、全ての地点において、検出されなかった。

○　ダイオキシン類

- 全ての地点において、環境基準を満足していた。

＜底質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- 総水銀が、全ての地点において検出されたが、暫定除去基準を満足していた。
- PCBは、全ての地点において検出されず、暫定除去基準を満足していた。
- ダイオキシン類は、全ての地点においてダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

【海岸感潮域】

＜水質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○　一般項目（7項目）

- 全ての項目については、最終処分場に係る排水基準を満足していた。

○　健康項目（人の健康を保護する上での基準：25項目）

- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、全ての地点において検出されたが、最終処分場からの排水基準を満足していた。
- それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、最終処分場からの排水基準を満足していた。

○　その他の項目（4項目）

- ニッケルについては全ての地点で検出されなかったが、モリブデンがＳｔ－Ｂで、アンチモンがＳｔ－Ｅで検出された。

○　ダイオキシン類

- 全ての地点において、最終処分場からの排水基準を満足していた。

＜底質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- 総水銀及びPCBは、全ての地点において、検出されなかった。
- ダイオキシン類は、全ての地点においてダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

（5）豊島における周辺環境モニタリング（水質）結果について.....平成20年11月調査

【周辺地先海域】

＜水質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○　一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

- DOが全ての地点において、環境基準を満足しなかった。
- それ以外の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。

○　健康項目（人の健康を保護する上での基準：25 項目）

- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、全ての地点において検出されたが、環境基準を満足していた。
- それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○　その他の項目（４項目）

- ニッケル、モリブデン、アンチモンについては、全て検出されなかった。

○　ダイオキシン類

- 全ての地点において環境基準を満足していた。

【海岸感潮域】

＜水質＞

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○　一般項目（7 項目）

- 全ての項目について、最終処分場に係る排水基準を満足していた。

○　健康項目（25 項目）

- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、最終処分場からの排水基準を満足していた。
- それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、最終処分場からの排水基準を満足していた。

○　その他の項目（4 項目）

- ニッケル、アンチモンについては全ての地点で検出されなかったが、モリブデンがＳｔ－Ａで検出された。

○　ダイオキシン類

- 全ての地点において、最終処分場からの排水基準を満足していた。

３．作業環境測定結果

作業環境測定結果 ..... 平成 20 年 7 月～20 年 11 月調査

平成２０年１０月６日

中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について

中間処理施設における環境計測は、中間処理施設の運転期間中に廃棄物等の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。今回、中間処理施設運転開始後の平成20年7月に実施した排出ガスの調査結果を取りまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成２０年７月３０日（水）

（２）調査地点

中間処理施設（１号炉、２号炉）の煙突

（３）検体採取機関及び分析機関

検体採取機関：直島環境センター、県環境保健研究センター

分　析　機　関：県環境保健研究センター

２．結果の概要（表１、表２）

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　中間処理施設における環境計測結果（１号炉）

検査項目	単位	１号炉																	管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度		
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20.5.27	H20.7.30	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	29	38	35	35	57	47	37	53	46	23	48	41	41	58	48	59	45	100
塩化水素	ppm	2.1	3.5	2.6	2.1	22	8.1	3.5	21.5	10.3	10.5	23.6	14.2	1.0	10.9	7.6	6.9	13.0	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	<0.12	<0.12	0.17	0.14	<0.12	0.14	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0016	0.0016	0.0016	0.0011	0.049	0.017	0.042	0.099	0.071	0.02	0.026	0.02	0.021	0.027	0.024	-	0.00045	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	24,000	26,900	25,700	24,300	30,200	27,200	26,600	34,900	30,100	29,400	32,900	31,167	28,100	35,900	31,733	23,400	26,300	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	18,500	21,800	20,000	17,900	24,700	21,200	20,600	27,400	23,300	22,800	25,800	23,717	21,600	29,600	25,550	18,900	20,600	-
酸素濃度	%	6.1	7.5	7.0	5.7	8.6	7.1	5.5	6.7	6.1	5.2	8.2	6.8	6.6	10.5	8.3	7.6	7.1	-
排ガス温度	℃	182	189	186	177	203	191	185	209	195	192	205	199	180	193	188	190	188	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

表２　中間処理施設における環境計測結果（２号炉）

検査項目	単位	２号炉																	管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度		
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20.5.27	H20.7.30	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.007	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.009	0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	38	46	42	43	54	48	40	50	46	38	61	46	35	55	44	36	40	100
塩化水素	ppm	2.6	4.1	3.4	1.8	9.0	4.1	4.7	9.1	7.8	3.5	17.6	9.2	5.3	15.0	9.9	11	14	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.020	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	0.37	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.25	0.20	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.14	<0.12	<0.12	0.17	0.13	<0.12	0.19	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0030	0.0030	0.0030	0.00026	0.016	0.010	0.00093	0.018	0.0095	0.0021	0.06	0.04	0.0096	0.015	0.012	-	-	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	25,800	26,500	26,200	24,700	32,000	27,500	29,000	34,900	30,300	28,400	34,900	30,800	29,400	33,600	31,017	30,300	30,700	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	19,600	21,300	20,500	19,400	24,900	21,400	21,700	27,000	23,700	21,100	25,900	23,133	22,900	26,100	24,317	23,300	23,200	-
酸素濃度	%	5.8	9.0	7.4	6.1	8.4	7.1	6.0	7.0	6	5.2	9.0	6.3	6.5	9.3	7.8	6.3	7.4	-
排ガス温度	℃	186	188	187	179	201	189	187	199	193	190	209	197	175	200	190	196	190	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

平成２０年１０月６日

中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について

中間処理施設における環境計測は、中間処理施設の運転期間中に廃棄物等の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。今回、中間処理施設運転開始後の平成20年8月に実施した排出ガスの調査結果を取りまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成２０年8月２１日（木）

（２）調査地点

中間処理施設（１号炉、２号炉）の煙突

（３）検体採取機関及び分析機関

検体採取機関：直島環境センター、県環境保健研究センター

分　析　機　関：県環境保健研究センター

２．結果の概要（表１、表２）

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　中間処理施設における環境計測結果（１号炉）

検査項目	単位	１号炉																		管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20.5.27	H20.7.30	H20.8.21	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	29	38	35	35	57	47	37	53	46	23	48	41	41	58	48	59	45	47	100
塩化水素	ppm	2.1	3.5	2.6	2.1	22	8.1	3.5	21.5	10.3	10.5	23.6	14.2	1.0	10.9	7.6	6.9	13.0	15.0	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	<0.12	<0.12	0.17	0.14	<0.12	0.14	0.18	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0076	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0016	0.0016	0.0016	0.0011	0.049	0.017	0.042	0.099	0.071	0.02	0.026	0.02	0.021	0.027	0.024	-	0.00045	-	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	24,000	26,900	25,700	24,300	30,200	27,200	26,600	34,900	30,100	29,400	32,900	31,167	28,100	35,900	31,733	23,400	26,300	29,600	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	18,500	21,800	20,000	17,900	24,700	21,200	20,600	27,400	23,300	22,800	25,800	23,717	21,600	29,600	25,550	18,900	20,600	23,800	-
酸素濃度	%	6.1	7.5	7.0	5.7	8.6	7.1	5.5	6.7	6.1	5.2	8.2	6.8	6.6	10.5	8.3	7.6	7.1	7.6	-
排ガス温度	℃	182	189	186	177	203	191	185	209	195	192	205	199	180	193	188	190	188	181	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

表２　中間処理施設における環境計測結果（２号炉）

検査項目	単位	２号炉																		管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20.5.27	H20.7.30	H20.8.21	
ばいじん	g/㎥N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.007	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.009	0.001	0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	38	46	42	43	54	48	40	50	46	38	61	46	35	55	44	36	40	43	100
塩化水素	ppm	2.6	4.1	3.4	1.8	9.0	4.1	4.7	9.1	7.8	3.5	17.6	9.2	5.3	15.0	9.9	11	14	11	40
カドミウム	mg/㎥N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.020	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/㎥N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	0.37	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/㎥N	0.14	0.25	0.20	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.14	<0.12	<0.12	0.17	0.13	<0.12	0.19	<0.12	4
砒素	mg/㎥N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/㎥N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/㎥N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/㎥N	0.0030	0.0030	0.0030	0.00026	0.016	0.010	0.00093	0.018	0.0095	0.0021	0.06	0.04	0.0096	0.015	0.012	-	-	0.0040	0.1
湿り排出ガス量	㎥N/Hr	25,800	26,500	26,200	24,700	32,000	27,500	29,000	34,900	30,300	28,400	34,900	30,800	29,400	33,600	31,017	30,300	30,700	29,000	-
乾き排出ガス量	㎥N/Hr	19,600	21,300	20,500	19,400	24,900	21,400	21,700	27,000	23,700	21,100	25,900	23,133	22,900	26,100	24,317	23,300	23,200	21,800	-
酸素濃度	%	5.8	9.0	7.4	6.1	8.4	7.1	6.0	7.0	6	5.2	9.0	6.3	6.5	9.3	7.8	6.3	7.4	6.9	-
排ガス温度	℃	186	188	187	179	201	189	187	199	193	190	209	197	175	200	190	196	190	181	-

(注) 数値は、残存酸素濃度12％補正値である。

平成 20 年 9 月 19 日

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、雨水の放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成 20 年 9 月に実施した沈砂池 1 の水質調査結果をとりまとめた。

1．調査の概要

（1）調査日

平成 20 年 9 月 10 日（水）･･･沈砂池 1

（2）調査地点（調査地点図参照）

沈砂池 1

（3）検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

2．結果の概要（表 1）

・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表1　豊島における環境計測結果（沈砂池1）

	検査項目	沈砂池1															管理基準値	報告下限
		H16.5.17	H16.7.5	H16.10.5	H18.5.30	H18.6.30	H18.7.28	H18.9.14	H19.6.5	H19.7.19	H19.10.4	H20.2.12	H20.4.4	H20.5.1	H20.6.5	H20.9.10		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	8.2	9.4	7.0	8.9	8.1	8.5	8.2	9.1[1)]	7.9	8.8	7.2	8.1	9.1[1)]	7.5	8.8	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	3.1	2.8	2.3	1.2	1.5	1.0	0.6	1.9	1.9	1.0	2.2	0.5	1.1	0.9	1.3	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.2	12	5.3	6.5	3.0	2.4	3.1	14	4.3	6.8	4	2.6	3.2	5.2	5.8	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	9	16	8	2	2	4	2	2	2	1	2	2	1	1	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	0	4	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	19	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.30	ND	0.20	0.20	0.11	ND	0.05	ND	0.1	0.16	0.10	0.10	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	2	0.2
	窒素含有量	1	ND	1.7	3	2	ND	ND	1	ND	1	1	1	ND	ND	ND	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.1	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	ND	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	0.0001	-	-	-	-	-	0.0003	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	3.2	3.3	15	0.20	1.4	1.2	0.33	0.40	1.6	0.081	1.8	8.3	1.3	0.41	0.060	10	-

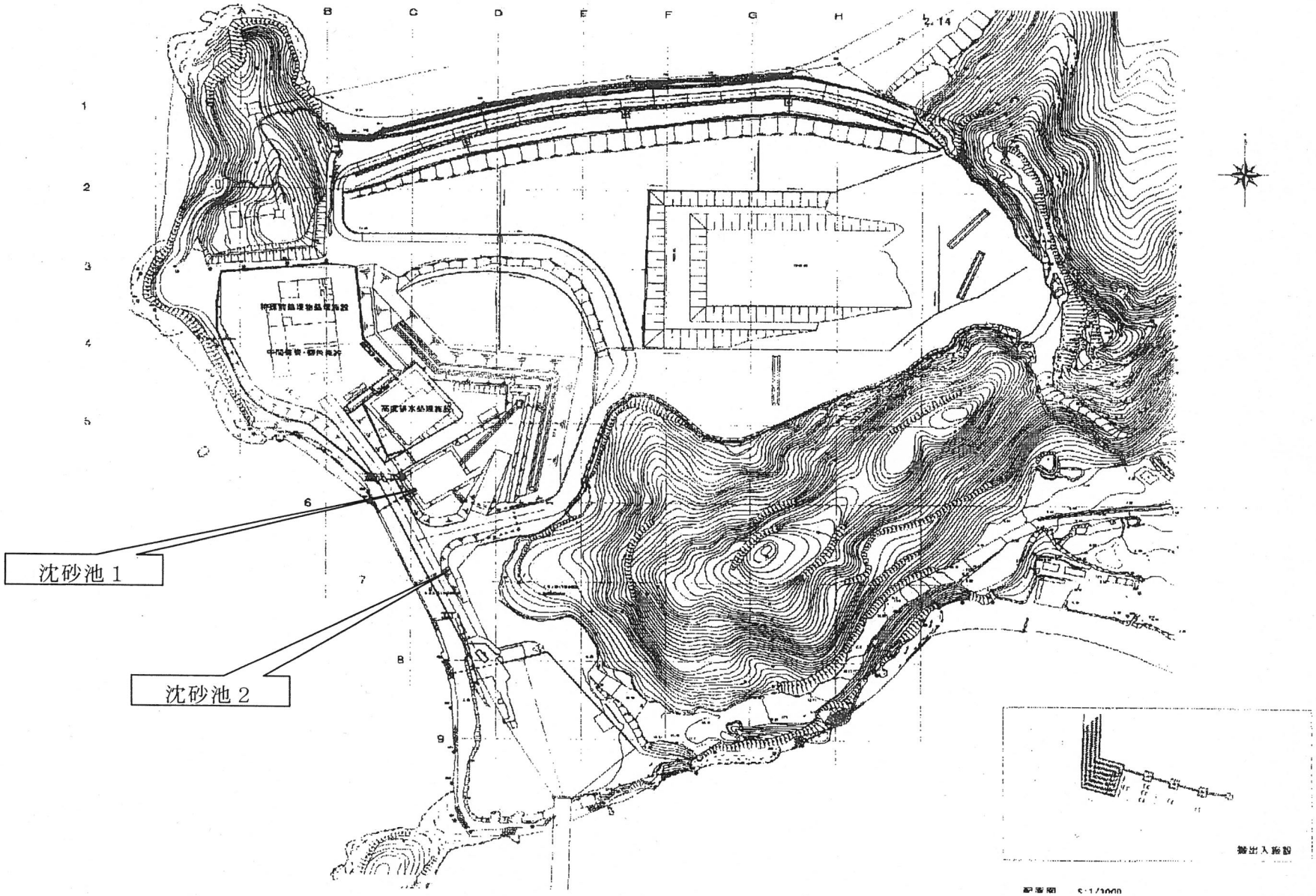
(注1) 単位は，pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

(注2) ＮＤ：検出せず

(注3) 下線：管理基準を満足していない項目

(注4) 平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1）植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で産廃の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。


沈砂池１
沈砂池２

平成２０年１２月１日

中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について

中間処理施設における環境計測は、中間処理施設の運転期間中に廃棄物等の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。今回、中間処理施設運転開始後の平成 20 年 10 月に実施した排出ガスの調査結果を取りまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成２０年１０月１６日（木）

（２）調査地点

中間処理施設（１号炉、２号炉）の煙突

（３）検体採取機関及び分析機関

検体採取機関：直島環境センター、県環境保健研究センター

分　析　機　関：県環境保健研究センター

２．結果の概要（表１、表２）

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

表1　中間処理施設における環境計測結果（1号炉）

検査項目	単位	1号炉																			管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度				
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20.5.27	H20.7.30	H20.8.21	H20.10.16	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	29	38	35	35	57	47	37	53	46	23	48	41	41	58	48	59	45	47	56	100
塩化水素	ppm	2.1	3.5	2.6	2.1	22	8.1	3.5	21.5	10.3	10.5	23.6	14.2	1.0	10.9	7.6	6.9	13.0	15.0	9.0	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	<0.12	<0.12	0.17	0.14	<0.12	0.14	0.18	0.20	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0016	0.0016	0.0016	0.0011	0.049	0.017	0.042	0.099	0.071	0.02	0.026	0.02	0.021	0.027	0.024	-	0.00045	-	-	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	24,000	26,900	25,700	24,300	30,200	27,200	26,600	34,900	30,100	29,400	32,900	31,167	28,100	35,900	31,733	23,400	26,300	29,600	32,700	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	18,500	21,800	20,000	17,900	24,700	21,200	20,600	27,400	23,300	22,800	25,800	23,717	21,600	29,600	25,550	18,900	20,600	23,800	25,300	-
酸素濃度	%	6.1	7.5	7.0	5.7	8.6	7.1	5.5	6.7	6.1	5.2	8.2	6.8	6.6	10.5	8.3	7.6	7.1	7.6	8.2	-
排ガス温度	℃	182	189	186	177	203	191	185	209	195	192	205	199	180	193	188	190	188	181	192	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

表2　中間処理施設における環境計測結果（２号炉）

検査項目	単位	２号炉																		管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度				
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H20. 5. 27	H20. 7. 30	H20. 8. 21	H20. 10. 16	
ばいじん	g/m³N	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	0. 007	0. 002	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	0. 009	0. 001	0. 001	0. 001	0. 02
硫黄酸化物	ppm	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	20
窒素酸化物	ppm	38	46	42	43	54	48	40	50	46	38	61	46	35	55	44	36	40	43	52	100
塩化水素	ppm	2. 6	4. 1	3. 4	1. 8	9. 0	4. 1	4. 7	9. 1	7. 8	3. 5	17. 6	9. 2	5. 3	15. 0	9. 9	11	14	11	12	40
カドミウム	mg/m³N	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	0. 020	<0. 006	<0. 006	<0. 006	0. 2
鉛	mg/m³N	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	<0. 15	0. 37	<0. 15	<0. 15	<0. 15	5
水銀	mg/m³N	0. 14	0. 25	0. 20	<0. 12	0. 19	0. 15	<0. 12	0. 19	0. 15	<0. 12	0. 14	<0. 12	<0. 12	0. 17	0. 13	<0. 12	0. 19	<0. 12	0. 20	4
砒素	mg/m³N	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	<0. 0075	0. 25
ニッケル	mg/m³N	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	<0. 075	2. 5
全クロム	mg/m³N	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	<0. 6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0. 0030	0. 0030	0. 0030	0. 00026	0. 016	0. 010	0. 00093	0. 018	0. 0095	0. 0021	0. 06	0. 04	0. 0096	0. 015	0. 012	-	-	0. 0040	-	0. 1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	25, 800	26, 500	26, 200	24, 700	32, 000	27, 500	29, 000	34, 900	30, 300	28, 400	34, 900	30, 800	29, 400	33, 600	31, 017	30, 300	30, 700	29, 000	34, 000	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	19, 600	21, 300	20, 500	19, 400	24, 900	21, 400	21, 700	27, 000	23, 700	21, 100	25, 900	23, 133	22, 900	26, 100	24, 317	23, 300	23, 200	21, 800	24, 200	-
酸素濃度	%	5. 8	9. 0	7. 4	6. 1	8. 4	7. 1	6. 0	7. 0	6	5. 2	9. 0	6. 3	6. 5	9. 3	7. 8	6. 3	7. 4	6. 9	7. 9	-
排ガス温度	℃	186	188	187	179	201	189	187	199	193	190	209	197	175	200	190	196	190	181	192	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

平成２０年１０月２９日

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、雨水の放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成２０年１０月に実施した沈砂池２の水質調査結果をとりまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成２０年１０月１７日（金）･･･沈砂池２

（２）調査地点（調査地点図参照）

沈砂池２

（３）検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

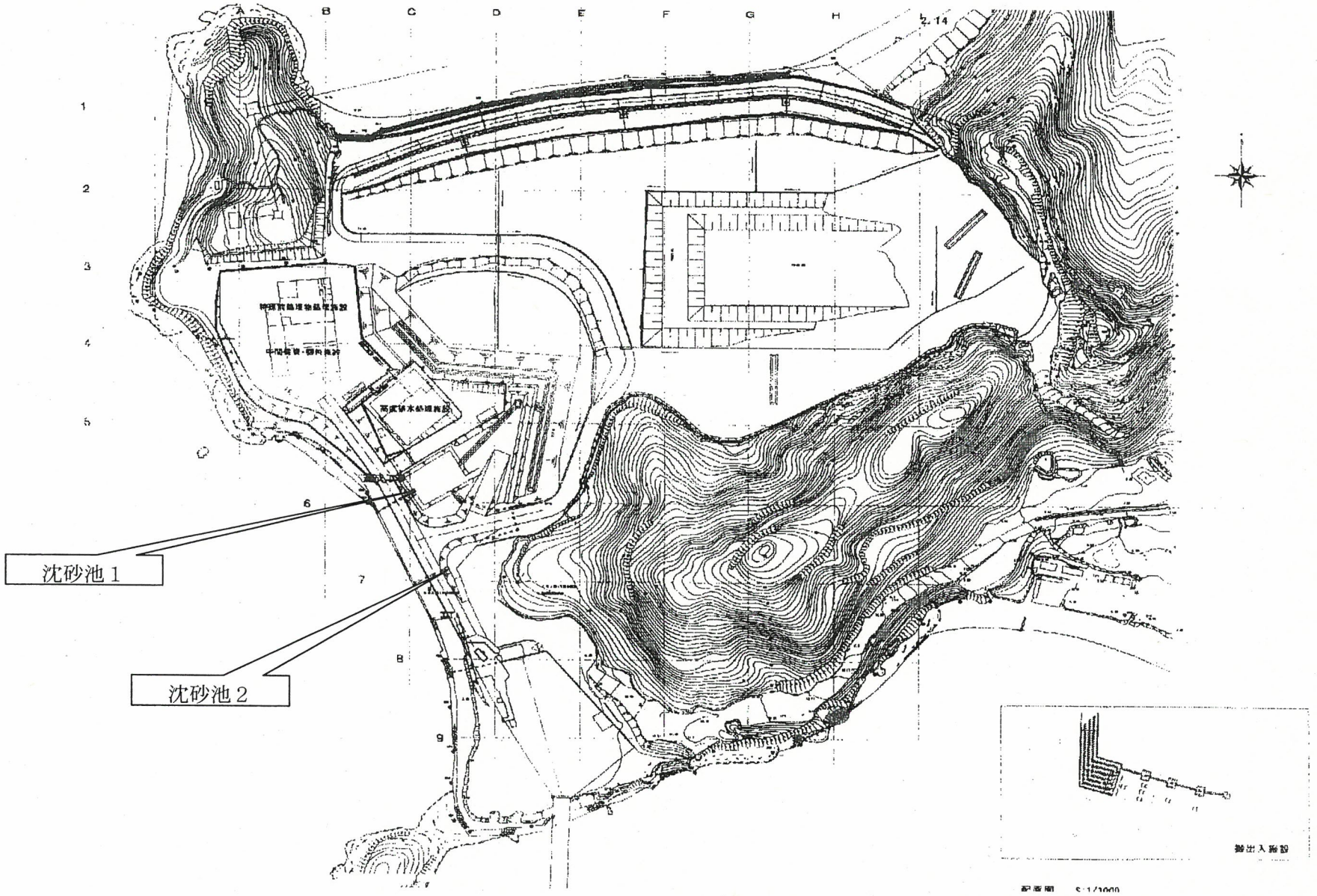
２．結果の概要（表１）

・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　豊島における環境計測結果（沈砂池２）

	検査項目	沈砂池２													管理基準値	報告下限
		H16.5.17	H16.7.9	H16.7.13	H18.5.30	H18.9.14	H19.2.27	H19.6.27	H19.9.21	H19.10.31	H20.1.9	H20.5.22	H20.7.9	H20.10.17		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.5	9.5	8.3	8.6	7.3	7.4	8.2	8.9	8.3	7.8	8.6	8.8	8.7	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	2.8	5.1	-	1.4	1.6	3.5	3.9	2.9	1.7	1.0	2.9	1.5	1.6	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	5.4	11	-	4.6	7.3	5.6	6.7	16	6.6	5.0	7.3	8.4	8.6	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	8	110	5	4	3	2	2	7	3	2	3	3	3	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	42	0	-	-	-	0	0	-	-	-	0	-	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	1.0	ND	-	ND	ND	2.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	1.3	-	0.05	0.47	0.06	ND	ND	ND	0.06	0.06	ND	0.18	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.4	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	2	1.5	-	3	2	1	1	1	ND	1	1	ND	2	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.06	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	0.1	8.2	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	0.18	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	ND	ND	-	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	0.0007	0.0008	-	-	-	0.0006	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	6.4	14	-	0.52	0.98	2.6	0.60	0.026	1.3	0.62	0.27	0.16	0.22	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。
(注2) ＮＤ：検出せず
(注3) 下線：管理基準を満足していない項目
(注4) 平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。


沈砂池１
沈砂池２

平成２０年１１月２０日

豊島における環境計測（高度排水処理施設）結果について

高度排水処理施設の環境計測は、高度排水処理施設の運転期間中に地下水・浸出水の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。今回、平成２０年１０月に実施した高度排水処理施設の処理水の水質調査結果についてとりまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成２０年１０月２１日（火）

（２）調査地点（調査地点図参照）

高度排水処理施設の排出口

（３）検体採取機関及び分析機関

採取機関：県直島環境センター

分析機関：県直島環境センター、県環境保健研究センター

２．結果の概要（表１）

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

	検査項目	高度排水処理施設											管理基準値	報告下限
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度		
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	6.6	7.2	6.8	7.0	7.1	7.1	6.6	7.1	6.9	6.7	6.6	6.4	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	3.0	3.6	3.4	1.3	3.1	2.4	0.5	1.6	0.9	0.6	1.0	0.5	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.7	13	9.2	1.1	10	4.4	2.4	7.8	4.9	0.7	12	4	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	ND	1	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	24	8	0	2	1	0	28	8	0	0	0	（日間平均3000）	-
	油分（ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質含有量）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.13	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	6.7	45	23	4	20	10	2	22	13	3	33	17	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ｼｽ-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	7.4	15	11	10	18	15	10	15	13	6.3	12	8.8	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	0.8	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	1.1	0.9	ND	1.0	ND	15	0.8
	ｱﾝﾓﾆｱ,ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物,亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	41	17	ND	18	12	11	20	14	ND	24	17	100	10
その他	ニッケル	ND	0.05	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ND	ND	ND	-	0.4
	ウラン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ND	ND	ND	-	0.0001
	ダイオキシン類	0	0.014	0.0047	0.00012	0.019	0.0050	0.00062	9.1	2.3	0.00013	0.00060	0.00035	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm²)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

(注2) ＮＤ：検出せず

平成15年度：H15.7.22、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

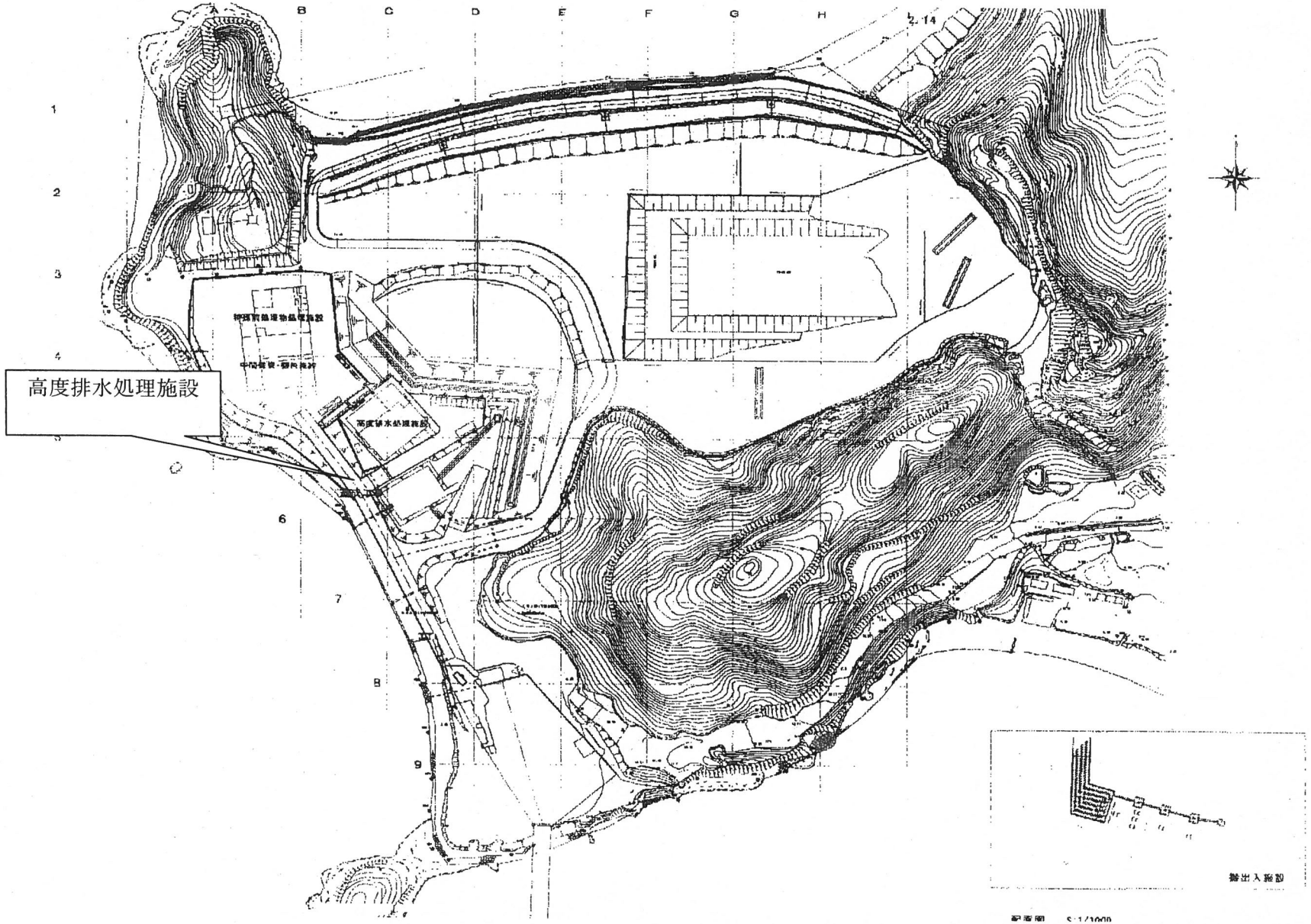


図　豊島における環境計測（高度排水処理施設）調査地点

平成 20 年 11 月 10 日

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、雨水の放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成 20 年 10 月に実施した沈砂池 1 の水質調査結果をとりまとめた。

1．調査の概要

（1）調査日

平成 20 年 10 月 29 日（水）･･･沈砂池 1

（2）調査地点（調査地点図参照）

沈砂池 1

（3）検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

2．結果の概要（表 1）

・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表1　豊島における環境計測結果（沈砂池１）

	検査項目	沈砂池１															管理基準値	報告下限
		H16.5.17	H16.7.5	H16.10.5	H18.5.30	H18.6.30	H18.7.28	H18.9.14	H19.6.5	H19.7.19	H19.10.4	H20.2.12	H20.4.4	H20.5.1	H20.6.5	H20.9.10	H20.10.29		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	8.2	9.4	7.0	8.9	8.1	8.5	8.2	9.1[1)]	7.9	8.8	7.2	8.1	9.1[1)]	7.5	8.8	8.7	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	3.1	2.8	2.3	1.2	1.5	1.0	0.6	1.9	1.9	1.0	2.2	0.5	1.1	0.9	1.3	0.8	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.2	12	5.3	6.5	3.0	2.4	3.1	14	4.3	6.8	4	2.6	3.2	5.2	5.8	4.3	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	9	16	8	2	2	4	2	2	2	1	2	2	1	1	ND	1	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	0	4	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	19	-	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.30	ND	0.20	0.20	0.11	ND	0.05	ND	0.1	0.16	0.10	0.10	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	1	ND	1.7	3	2	ND	ND	1	ND	1	1	1	ND	ND	ND	ND	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.1	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	ND	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	0.0001	-	-	-	-	-	0.0003	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	3.2	3.3	15	0.20	1.4	1.2	0.33	0.40	1.6	0.081	1.8	8.3	1.3	0.41	0.060	0.012	10	-

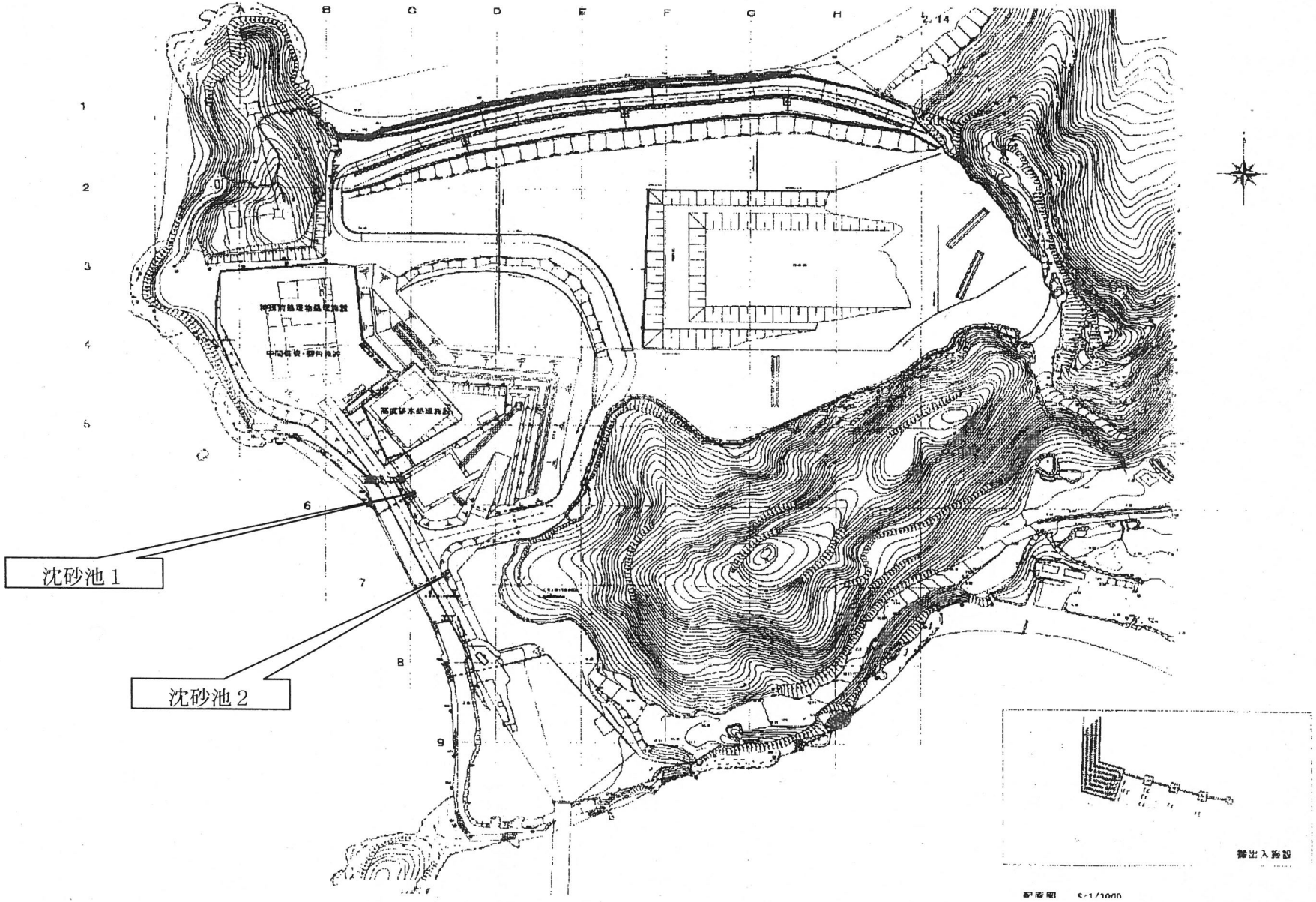
(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、㎎/ℓである。

(注2) ＮＤ：検出せず

(注3) 下線：管理基準を満足していない項目

(注4) 平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1）植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。


沈砂池１
沈砂池２

平成２０年１２月１８日

豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭調査）結果について

豊島における環境計測は、廃棄物等の掘削・運搬開始後において、発生源としての環境面を把握することを目的としている。これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、廃棄物等の掘削・運搬開始後の環境計測を実施しており、今回、平成 20 年 10 月に実施した調査結果をとりまとめた。

１．調査の経緯

	調 査 区 分	調 査 期 間	工事との関連
既に報告済	事前環境モニタリング	平成 10 年 12 月～ 平成 11 年 12 月 （４回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	掘削・運搬開始後	平成 15 年 5 月 7 日（水） ～5 月 21 日（水） (大気汚染)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 1 月 20 日（火） ～2 月 3 日（火） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 4 月 5 日（月） ～4 月 19 日（月） (大気汚染)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 7 月 6 日（火） ～7 月 20 日（火） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 11 月 11 日（木） ～11 月 25 日（木） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 17 年 1 月 11 日（月） ～1 月 31 日（月） (大気汚染)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 17 年 10 月 17 日（月） ～10 月 31 日（月） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 18 年 10 月 17 日（火） ～10 月 31 日（火） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 19 年 10 月 10 日（水） ～10 月 25 日（木） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。

	調 査 区 分	調 査 期 間	工事との関連
今回報告	掘削・運搬開始後	平成 20 年 10 月 30 日（木） ～11 月 21 日（金） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。

2．調査の概要

（1）調査地点（調査地点図参照）

敷地境界

（2）調査、分析機関

県環境保健研究センター

3．調査結果の概要

（1）大気汚染（表１～２）

・事前環境モニタリングの調査結果と比較して、特段の差異は見られなかった。

・二酸化いおう、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、オキシダント及び二酸化窒素のいずれも環境基準を満足していた。

・ジクロロメタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンについては、環境基準を満足していた。

・ニッケル及びその化合物、水銀及びその化合物については、指針を満足していた。

・ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法の環境基準を満足していた。

（2）騒音（表３）

・全ての時間帯において、管理基準を満足していた。

（3）振動（表４）

・全ての時間帯において、20dB 未満であった。

（4）悪臭（表５）

・アセトアルデヒドが検出されたが、管理基準を満足していた。

・その他の項目については、全て検出されず、管理基準を満足していた。

表1　大気汚染調査結果

区分	調査期間		二酸化いおう (ppm)	一酸化窒素 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m³)	一酸化炭素 (ppm)	光化学ｵｷｼﾀﾞﾝﾄ (ppm)
1時間値の最高値	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.018	0.020	0.023	0.037	0.066	0.7	0.040
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.022	0.014	0.023	0.031	0.056	0.6	0.063
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.034	0.020	0.056	0.068	0.091	0.7	0.072
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.027	0.016	0.034	0.043	0.083	1.0	0.054
	平成16年度	最小	0.026	0.031	0.045	0.072	0.060	0.8	0.049
		最大	0.053	0.114	0.076	0.183	0.199	1.3	0.079
		平均	0.036	0.074	0.058	0.117	0.124	1.1	0.064
	平成15年度	最小	0.028	0.034	0.051	0.075	0.067	0.8	0.055
		最大	0.029	0.188	0.074	0.248	0.075	1.1	0.093
		平均	0.029	0.111	0.063	0.162	0.071	1.0	0.074
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.025～0.035	0.036～0.093	0.045～0.089	0.082～0.135	0.057～0.092	0.39～0.90	0.047～0.073
1日平均値の最高値	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.007	0.013	0.014	0.027	0.040	0.4	0.027
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.010	0.008	0.013	0.021	0.031	0.3	0.048
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.014	0.006	0.025	0.030	0.070	0.5	0.041
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.014	0.005	0.022	0.027	0.044	0.8	0.044
	平成16年度	最小	0.013	0.009	0.024	0.040	0.032	0.6	0.039
		最大	0.022	0.027	0.049	0.072	0.055	1.0	0.050
		平均	0.016	0.019	0.035	0.052	0.047	0.8	0.043
	平成15年度	最小	0.010	0.013	0.031	0.043	0.044	0.5	0.047
		最大	0.015	0.025	0.042	0.055	0.053	0.8	0.057
		平均	0.013	0.019	0.037	0.049	0.049	0.7	0.052
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.0109～0.182	0.0120～0.0238	0.0239～0.0380	0.0325～0.0615	0.0334～0.0702	0.20～0.47	0.0321～0.0460
1時間値の期間平均値	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.002	0.011	0.006	0.017	0.018	0.2	0.020
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.004	0.007	0.005	0.012	0.018	0.2	0.041
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.009	0.003	0.014	0.018	0.031	0.3	0.035
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.008	0.002	0.009	0.011	0.021	0.6	0.036
	平成16年度	最小	0.007	0.004	0.014	0.017	0.018	0.5	0.027
		最大	0.014	0.010	0.029	0.039	0.034	0.7	0.034
		平均	0.009	0.007	0.019	0.026	0.029	0.6	0.030
	平成15年度	最小	0.007	0.005	0.014	0.019	0.018	0.4	0.037
		最大	0.008	0.007	0.017	0.024	0.035	0.6	0.045
		平均	0.008	0.006	0.016	0.022	0.027	0.5	0.041
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.0058～0.0095	0.0051～0.0074	0.0125～0.0188	0.0181～0.0262	0.0191～0.0372	0.10～0.26	0.0204～0.0304
環境基準			1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	－	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	－	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。

注）事前環境モニタリング：H11.1.6～1.20、H11.6.14～6.9、H11.9.7～9.21、H11.11.9～11.24実施
平成15年度：H15.5.7～5.21、H16.1.20～2.3実施
平成16年度：H16.4.5～4.19、H16.7.6～7.20、H16.11.12～11.25、H17.1.18～1.31実施

表２　大気中の重金属等の濃度

調査項目	単位		敷地境界									事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ	環境基準
		平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度			平成15年度				
		H20.10.30～H20.11.13	H19.10.10～H19.10.25	H18.10.17～H18.10.31	H17.10.17～H17.10.31	最小	最大	平均	最小	最大	平均		
ベンゼン	μg/m³	1.6	0.7	2.0	0.9	1.4	2.1	1.8	0.93	1.5	1.2	1.8 (1.0～3.2)	年平均値3
トリクロロエチレン	μg/m³	0.17	0.07	0.25	0.27	0.09	0.56	0.27	0.10	0.11	0.11	0.13 (<0.10～0.28)	年平均値200
テトラクロロエチレン	μg/m³	0.14	0.06	0.11	0.11	0.07	0.32	0.15	0.09	0.10	0.10	0.075 (<0.10～0.15)	年平均値200
ジクロロメタン	μg/m³	0.8	1.7	1.2	2.3	1.4	2.9	2.1	1.1	2.8	2.0	－	年平均値150
ダイオキシン類	pg-TEQ/m³	0.050	0.014	0.035	0.015	0.021	0.045	0.033	0.010	0.019	0.015	0.056 (0.035～0.080)	0.6
カドミウム及びその化合物	ng/m³	3.0	2.8	3.0	3.7	4.5	8.5	6.4	1.5	7.1	4.3	3.2 (1.7～4.8)	－
鉛及びその化合物	ng/m³	30	36	31	26	23	50	40	17	47	32	38 (27～50)	－
ひ素及びその化合物	ng/m³	8.3	4.3	2.6	5.0	1.3	4.7	3.5	0.8	3.2	2.0	5.3 (0.9～13)	－
ニッケル及びその化合物	ng/m³	6.6	5.1	8.4	3.9	3.3	19	8.8	3.2	10	6.6	7.5 (5.4～9.5)	指針値 年平均値25
クロム及びその化合物	ng/m³	5.1	3.5	6.5	2.7	1.5	5.5	3.2	2.5	4.3	3.4	2.9 (1.0～4.7)	－
水銀及びその化合物	ng/m³	1.7	1.1	1.5	1.2	1.1	2.5	1.9	1.9	2.0	2.0	2.3 (0.5～3.5)	指針値 年平均値40

注１）水銀及びその化合物はサンプリング期間のうちの１日のみ、ダイオキシン類は１週間のみである。

注２）事前環境モニタリング：H11.1.6～1.20、H11.6.14～6.29、H11.9.7～9.21、H11.11.9～11.24実施

平成15年度：H15.5.7～5.21、H16.1.20～2.3実施

平成16年度：H16.4.5～4.19、H16.7.6～7.20、H16.11.12～11.26、H17.1.11～1.26実施

表３　騒音調査結果

（単位：ｄＢ(Ａ)）

時刻	時間の区分	L50 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	L50 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	L50 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	L50 平成17年度 H17.10.19～H17.10.20	L50 平成16年度 最小	L50 平成16年度 最大	L50 平成16年度 平均	L50 平成15年度	L50 事前環境モニタリング H10.12～H11.12	L5 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	L5 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	L5 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	L5 平成17年度 H17.10.19～H17.10.20	L5 平成16年度 最小	L5 平成16年度 最大	L5 平成16年度 平均	L5 平成15年度	L5 事前環境モニタリング H10.12～H11.12	L95 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	L95 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	L95 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	L95 平成17年度 H17.10.19～H17.10.20	L95 平成16年度 最小	L95 平成16年度 最大	L95 平成16年度 平均	L95 平成15年度	L95 事前環境モニタリング H10.12～H11.12	時間の区分	Leq 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	Leq 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	Leq 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	Leq 平成17年度 H17.10.19～	Leq 平成16年度 最小	Leq 平成16年度 最大	Leq 平成16年度 平均	Leq 平成15年度	Leq 事前環境モニタリング H10.12～H11.12
10時			46	41								47	46							45	41																
11時			46	41								48	44							45	40																
12時			45	40	45							48	45	47						44	40	44															
13時			45	41	45							48	47	47						44	40	44															
14時	昼	40	45	41	45						48	49	45	47						39	44	40	44						昼	43	46	42	46					
15時		40	45	41	45	45	44	47	46	46	47	48	45	46	48	49	50	50	50	39	45	40	44	44	42	46	44	44		42	46	42	46	50	42	49		
16時		41	46	43	48					38～47	48	49	47	52					44～50	39	45	41	46					36～46		43	47	44	47					
17時		42	46		47						49		48	50						40	46	41	45							44	47	45	47	47	47	48	48	48
18時		43	49	51	46						51	52	54	48						41	46	49	45							45	49	52	47					41～54
19時	夕	45	53	54	46						51	57	57	49						42	50	52	45							46	54	54	47					
20時		45	55	54	47	47	47	47	44	35～60	50	59	57	50	50	48	49	49	46	41	53	51	46	45	45	46	46	43	30～59		46	56	54	47				
21時		44	55	53	47						55	59	56	50						40	53	51	45							49	56	54	47					
22時		44	56	53	46						52	59	57	49						41	53	51	45							47	56	54	47					
23時		43	55	53	46						49	59	57	49						41	52	51	45							45	56	54	47					
0時		43	55	52	46						50	58	56	48						41	52	50	45							45	56	53	46					
1時	夜	43	54	52	46	46	47	47	47	37～57	47	57	56	48	47	47	49	48	49	41	51	49	45	45	46	46	46	45	34～55	夜	45	54	53	53	52	46	46	47	48	48	47	39～58
2時		43	52	51	45						49	56	55	48						41	49	49	45							46	53	52	46					
3時		44	48	49	45						46	51	55	46						42	48	45	44							44	49	50	45					
4時		43	48	44	45						45	48	46	47						42	47	43	44							43	48	44	45					
5時		43	47	43	45						45	48	45	47						41	48	43	45							43	47	44	46					
6時	朝	43	47	43	45	45	44	47	46	47	46	47	48	46	48	48	49	48	52	50	51	43～49	41	46	46	42	42	44	44	42	46	44	45	33～47	昼	44	47	45	46						
7時		42	47	44	45						48	50	50	50						41	46	42	44							45	47	47	46					
8時		42	46	44	45						49	49	50	48						42	45	42	44							46	47	46	46					
9時		43	46	43	45						48	49	52	49						41	45	42	44							45	46	47	49					
10時	昼	44			44						48			47						41			44							45			45					
11時		45			44						48			45						43			43							46			44					
12時		45									49									43										46								
13時		42									49									41										45								

L50:騒音レベルの中央値、L5，L95：90%レンジ値、Leq：等価騒音レベル

注）事前環境モニタリング：H10.12～H11.12実施、平成15年度：H16.1.21～1.22実施

平成16年度：H16.7.7～H16.7.8、H16.11.12～H16.11.13実施

（参考）

項　目	管理基準値※1	騒音規制法の規制基準※2
昼間（8:00～19:00）	65	65
朝（6:00～8:00） 夕（19:00～22:00）	60	60
夜間（22:00～6:00）	50	50

※1　技術検討委員会で決定

※2　第二種区域の規制基準

表４　振動調査結果

時刻	時間の区分	L50										L10										L90									
		平成20年度 H20.10.30～H20.10.31		平成19年度 H19.10.11～H19.10.12		平成18年度 H18.10.19～H18.10.20		平成17年度 H17.10.19～H17.10.20		平成16年度			平成15年度	事前環境モニタリング H10.12～H11.12	平成20年度 H20.10.30～H20.10.31		平成19年度 H19.10.11～H19.10.12		平成18年度 H18.10.19～H18.10.20		平成17年度 H17.10.19～H17.10.20		平成16年度			平成15年度	事前環境モニタリング H10.12～H11.12	平成20年度 H20.10.30～H20.10.31		平成19年度 H19.10.11～H19.10.12		平成18年度 H18.10.19～H18.10.20		平成17年度 H17.10.19～H17.10.20		平成16年度			平成15年度	事前環境モニタリング H10.12～H11.12
										最小	最大	平均																										
10時	昼			≦20		≦20											≦20		≦20											≦20		≦20							
11時				≦20		≦20											≦20		≦20											≦20		≦20							
12時				≦20		≦20		≦20									≦20		≦20		≦20									≦20		≦20		≦20					
13時				≦20		≦20		≦20									≦20		≦20		≦20									≦20		≦20		≦20					
14時		≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20							≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20							≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20					
15時		≦20		≦20		≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20		≦20		≦20		≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20		≦20		≦20		≦20		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	
16時		≦20	≦20	≦20		≦20		≦20						≦20	≦20	≦20	≦20		≦20		≦20								≦20	≦20	≦20		≦20		≦20				≦20
17時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
18時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
19時	夜	≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
20時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		21		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
21時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		21		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
22時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
23時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
0時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
1時		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20
2時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
3時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
4時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
5時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
6時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
7時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
8時	昼	≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		≦20		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
9時		≦20		≦20		≦20		≦20							≦20		21		≦20		≦20								≦20		≦20		≦20						
10時		≦20						≦20							≦20						≦20								≦20				≦20						
11時		≦20						≦20							≦20						≦20								≦20				≦20						
12時		≦20													≦20														≦20										
13時		≦20													≦20														≦20										

L50:振動レベルの中央値、L10, L90：80％レンジ値

定量下限；２０ｄＢ

注）事前環境モニタリング：H10.12～H11.12実施、平成15年度：H16.1.21～1.22実施

平成16年度：H16.7.7～H16.7.8、H16.11.12～H16.11.13実施

（参考）

項　目	管理基準値※1	振動規制法の規制基準※2
昼間（8:00～19:00）	65	65
夜間（19:00～8:00）	60	50

※1　技術検討委員会で決定

※2　第二種区域の規制基準

表５　悪臭調査結果

単位：ppm(v/v)

調査地点 / 悪臭物質	平成20年度 H20.10.30	平成19年度 H19.10.10	平成18年度 H18.10.17	平成17年度 H17.10.17	平成16年度 最小	平成16年度 最大	平成16年度 平均	平成15年度	事前環境モニタリング	管理基準値	報告下限
アンモニア	ND	ND	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.1
メチルメルカプタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0003
硫化水素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.06	0.001
硫化メチル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.0003
二硫化メチル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.0003
トリメチルアミン	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	0.02	0.001
アセトアルデヒド	0.005	0.008	0.0051	0.0079	0.0028	0.0163	0.0096	ND	0.0017	0.1	0.0005
プロピオンアルデヒド	ND	ND	0.0015	ND	ND	0.0012	0.0009	ND	ND	0.1	0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.0005
イソブチルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	0.0005
ノルマルバレルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
イソバレルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.002
イソブタノール	ND	ND	0.01	ND	ND	0.02	0.02	0.02	0.02	4	0.01
酢酸エチル	ND	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	0.03	7	0.01
メチルイソブチルケトン	ND	0.01	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	0.01	3	0.01
トルエン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	30	0.01
スチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.01
キシレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	2	0.01
プロピオン酸	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	0.003
ノルマル酪酸	ND	ND	0.0005	0.0014	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0001
ノルマル吉草酸	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0001
イソ吉草酸	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0001

注）事前環境モニタリング：H10.12～H11.12実施

平成15年度：H16.1.20実施、平成16年度：H16.7.6、H16.11.11実施

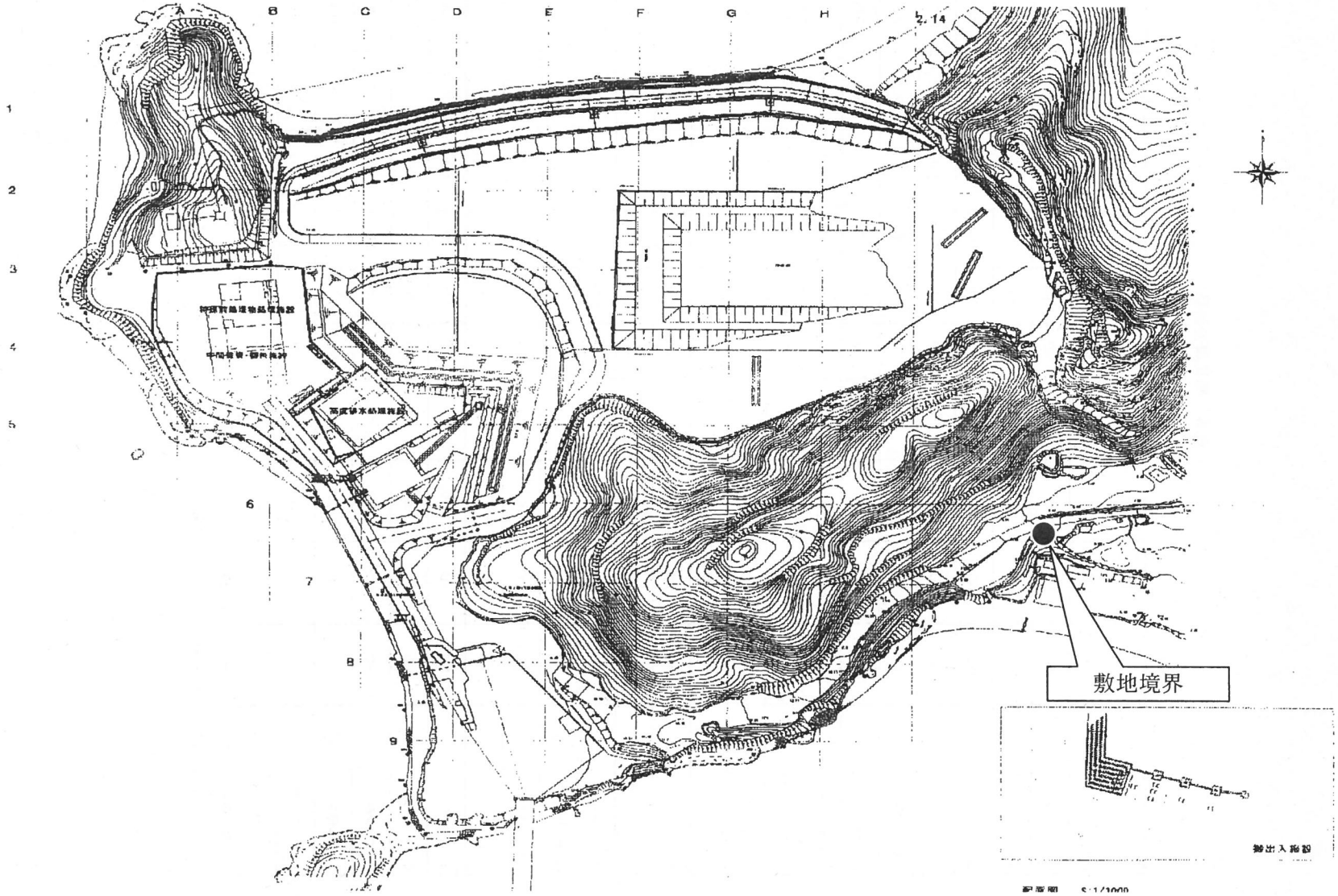


図　豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭）調査地点

平成 20 年 11 月 11 日

直島における周辺環境モニタリング（大気汚染）結果について

直島における周辺環境モニタリング（大気汚染）は、中間処理施設の建設・運転時のそれぞれの段階において、環境への影響を把握することを目的としている。これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、中間処理施設の工事中及び完成直後に調査を実施している。

今回、運転開始後の平成 20 年 8 月に実施した調査結果についてとりまとめた。

1．調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事との関連等
報告済	事前環境モニタリング*1	平成 12 年 8 月～平成 13 年 3 月（4 回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	中間処理施設建設工事中（大気汚染*2、騒音、振動）	平成 14 年 7 月 26 日（金）～8 月 9 日（金）	プラント工事としては、各機器の据付、溶融炉の耐火物工事、建築工事としては、鉄骨工事、ALC 工事、内部仕上工事を実施していた。
	地点変更に係るｸﾛｽﾁｪｯｸ *1*2	平成 14 年 8 月 23 日（金）～8 月 29 日（木）	調査地点を「才ノ神」から「三菱ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ」へ変更したことに伴うクロスチェックを実施した。
	中間処理施設完成直後（悪臭調査）*3	平成 15 年 3 月 18 日（火）	中間処理施設の完成直後であり、無負荷試運転中であった。
	中間処理施設運転期間（大気汚染、騒音、振動、悪臭）*3	平成 15 年 11 月 5 日（水）～11 月 19 日（水）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
		平成 16 年 5 月 17 日（月）～6 月 12 日（土）	中間処理施設の運転中に実施した。
		平成 16 年 7 月 28 日（水）～8 月 11 日（水）	中間処理施設の運転中に実施した。
		平成 16 年 10 月 12 日（火）～10 月 27 日（水）	中間処理施設の運転中に実施した。
		平成 17 年 2 月 8 日（火）～3 月 3 日（木）	中間処理施設の運転中に実施した。
	中間処理施設運転期間（大気汚染）*3	平成 17 年 6 月 3 日（金）～6 月 17 日（金）	中間処理施設の運転中に実施した。
	地点変更に係るｸﾛｽﾁｪｯｸ *4	平成 17 年 6 月 21 日（火）～6 月 27 日（月） 平成 17 年 6 月 29 日（水）～7 月 5 日（火）	調査地点を「三菱ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ」から「才ノ神」へ変更したことに伴うクロスチェックを実施した。
	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 17 年 8 月 25 日（木）～9 月 7 日（水）	中間処理施設の運転中に実施した。
	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 17 年 11 月 16 日（水）～11 月 29 日（火）	中間処理施設の運転中に実施した。
	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 18 年 3 月 9 日（木）～3 月 22 日（水）	中間処理施設の運転中に実施した。
	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 18 年 6 月 29 日（木）～7 月 12 日（水）	中間処理施設の運転中に実施した。

	調 査 区 分	調 査 期 間	工事との関連等
報告済	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 19 年 7 月 4 日（水）～7 月 23 日（月）	中間処理施設の運転中に実施した。
今回報告	中間処理施設運転期間（大気汚染）	平成 20 年 8 月 19 日（火）～9 月 12 日（金）	中間処理施設の運転中に実施した。

＊１：事前環境モニタリング及び地点変更に係るクロスチェックは才ノ神で実施した。
＊２：大気汚染に係る調査は環境計測として実施した。
＊３：中間処理施設完成直後、中間処理施設運転期間（平成 17 年 6 月まで）は三菱グラウンドで実施した。
＊４：平成 17 年度の地点変更クロスチェックは、才ノ神（県営住宅及び才ノ神社宅）で実施した。

２．調査の概要
（１）調査地点（調査地点図参照）
才ノ神

（２）検体採取機関及び分析機関
検体採取機関：直島環境センター、県環境保健研究センター
分 析 機 関：県環境保健研究センター

３．結果の概要（表１、表２）
・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比較して、特段の差異は見られなかった。
・光化学オキシダントが、環境基準を満足していない時間帯があった。
・その他の項目については、環境基準を満足していた。

表１　大気汚染調査結果

調査期間	区　分		二酸化いおう (ppm)	一酸化窒素 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m³)	一酸化炭素 (ppm)	光化学オキシダント (ppm)
１時間値の最高値	運転開始後 H20.8.28～H20.9.12		0.041	0.023	0.023	0.033	0.061	0.5	0.072
	運転開始後 H19.7.4～H19.7.19		0.084	0.086	0.050	0.103	0.068	0.7	0.076
	運転開始後 H18.6.29～H18.7.12		0.100	0.093	0.071	0.131	0.081	0.7	0.071
	運転開始後 H18.3.9～H18.3.22		0.074	0.066	0.050	0.108	0.108	1.0	0.065
	運転開始後 H17.11.16～H17.11.29		0.072	0.037	0.042	0.069	0.086	1.3	0.057
	運転開始後 H17.8.25～H17.9.7		0.047	0.074	0.062	0.106	0.090	1.1	0.084
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(才ノ神社宅) H17.6.29～H17.7.5		0.031	0.037	0.050	0.083	0.085	0.4	0.055
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(県営住宅) H17.6.21～H17.6.27		0.067	0.099	0.061	0.140	0.089	0.4	0.093
	運転開始後 H17.6.3～H17.6.16		0.067	0.030	0.065	0.087	0.085	1.1	0.096
	平成16年度	最小	0.072	0.026	0.038	0.057	0.070	0.9	0.061
		最大	0.115	0.056	0.069	0.089	0.194	1.2	0.116
		平均	0.091	0.038	0.050	0.072	0.124	1.0	0.086
	平成15年度		0.159	0.085	0.043	0.120	0.077	1.1	0.048
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ		0.046	0.014	0.035	0.046	0.080	0.4	0.092
	工事中		0.038	0.089	0.057	0.115	0.134	0.5	0.091
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		0.085～0.158	0.080～0.125	0.045～0.057	0.121～0.172	0.062～0.186	0.8～1.5	0.040～0.056
１日平均値の最高値	運転開始後 H20.8.28～H20.9.12		0.015	0.012	0.012	0.022	0.043	0.3	0.048
	運転開始後 H19.7.4～H19.7.19		0.018	0.038	0.022	0.057	0.045	0.3	0.045
	運転開始後 H18.6.29～H18.7.12		0.034	0.029	0.032	0.060	0.061	0.4	0.027
	運転開始後 H18.3.9～H18.3.22		0.034	0.030	0.038	0.065	0.049	0.8	0.051
	運転開始後 H17.11.16～H17.11.29		0.023	0.008	0.027	0.035	0.063	0.9	0.038
	運転開始後 H17.8.25～H17.9.7		0.020	0.022	0.028	0.050	0.064	0.7	0.049
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(才ノ神社宅) H17.6.29～H17.7.5		0.012	0.008	0.023	0.031	0.058	0.4	0.030
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(県営住宅) H17.6.21～H17.6.27		0.031	0.019	0.031	0.048	0.059	0.4	0.053
	運転開始後 H17.6.3～H17.6.16		0.021	0.012	0.029	0.042	0.054	0.7	0.050
	平成16年度	最小	0.022	0.009	0.020	0.030	0.039	0.6	0.038
		最大	0.076	0.012	0.030	0.041	0.056	0.8	0.057
		平均	0.038	0.011	0.024	0.033	0.048	0.7	0.050
	平成15年度		0.045	0.023	0.033	0.052	0.059	0.7	0.036
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ		0.021	0.024	0.024	0.042	0.091	0.2	0.035
	工事中		0.014	0.006	0.017	0.021	0.049	0.3	0.049
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		0.020～0.044	0.014～0.043	0.0221～0.034	0.0365～0.071	0.032～0.109	0.3～0.6	0.0118～0.042
１時間値の期間平均値	運転開始後 H20.8.28～H20.9.12		0.008	0.010	0.006	0.016	0.022	0.2	0.026
	運転開始後 H19.7.4～H19.7.19		0.010	0.014	0.014	0.027	0.025	0.3	0.023
	運転開始後 H18.6.29～H18.7.12		0.018	0.013	0.021	0.034	0.030	0.3	0.015
	運転開始後 H18.3.9～H18.3.22		0.016	0.010	0.022	0.032	0.031	0.7	0.030
	運転開始後 H17.11.16～H17.11.29		0.017	0.005	0.017	0.021	0.024	0.7	0.027
	運転開始後 H17.8.25～H17.9.7		0.013	0.006	0.014	0.020	0.034	0.6	0.031
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(才ノ神社宅) H17.6.29～H17.7.5		0.010	0.006	0.018	0.024	0.028	0.4	0.021
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ(県営住宅) H17.6.21～H17.6.27		0.021	0.009	0.023	0.032	0.048	0.4	0.036
	運転開始後 H17.6.3～H17.6.16		0.014	0.005	0.020	0.025	0.030	0.5	0.037
	平成16年度	最小	0.009	0.004	0.012	0.017	0.023	0.5	0.021
		最大	0.050	0.006	0.020	0.027	0.032	0.6	0.038
		平均	0.023	0.005	0.015	0.020	0.027	0.6	0.030
	平成15年度		0.027	0.010	0.017	0.027	0.041	0.5	0.022
	地点変更ｸﾛｽﾁｪｯｸ		0.012	0.011	0.016	0.026	0.038	0.1	0.023
	工事中		0.009	0.004	0.013	0.017	0.036	0.2	0.027
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		0.013～0.023	0.006～0.015	0.0146～0.021	0.021～0.036	0.021～0.032	0.2～0.4	0.0068～0.032
環境基準			１時間値の１日平均値が 0.04ppm以下であり、かつ、１時間値 が 0.1ppm以下で あること。	－	１時間値の１日平均値が 0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	－	１時間値の１日平均値が 0.10mg/m³以下でありかつ、１時間値が 0.20mg/m³以下であること。	１時間値の１日平均値が 10ppm以下であり、かつ、１時間値の８時間平均値が20ppm以下であること。	１時間値が 0.06ppm以下であること。

注１）事前環境モニタリング：H12. 8. 3～8. 16、H12. 12. 5～12. 12、H13. 1. 17～1. 31、H13. 3. 1～3. 15実施
　　工事中：H14. 7. 26～H14. 8. 9実施　地点変更クロスチェック：H14. 8. 23～H14. 8. 29実施　平成15年度：H15. 11. 5～H15. 11. 19実施
　　平成16年度：H16. 5. 30～H16. 6. 12、H16. 7. 28～H16. 8. 11、H16. 10. 13～H16. 10. 26、H17. 2. 18～H17. 3. 3実施

注２）事前環境モニタリング、工事中、地点変更クロスチェックは、才ノ神で実施した。
　　平成15年度調査、平成16年度調査及び平成17年6月調査は、三菱グラウンドで実施した。

注３）工事中及び地点変更クロスチェックは、環境計測として実施した。

表２　大気中の重金属等の濃度

調査項目	単位	最大着地点										環境基準
		事前環境モニタリング H12.8～H13.3	運転開始後 H15.11.5～H15.11.19	運転開始後 H16.5.17～H16.5.31	運転開始後 H16.7.28～H16.8.11	運転開始後 H16.10.12～H16.10.26	運転開始後 H17.2.8～H17.3.1	運転開始後 H17.6.2～H17.6.17	運転開始後 H18.6.15～18.6.29	運転開始後 H19.7.4～H19.7.23	運転開始後 H20.8.19～H20.9.12(注1)	
ベンゼン	μg/m³	4.1	2.7	1.3	1.3	1.9	3.1	1.5	1.2	1.8	0.9	年平均値3
トリクロロエチレン	μg/m³	0.25	0.34	0.13	0.13	0.23	0.37	0.41	0.22	0.2	0.04	年平均値200
テトラクロロエチレン	μg/m³	0.27	0.24	0.14	0.14	0.14	0.30	0.32	0.31	0.1	0.07	年平均値200
ジクロロメタン	μg/m³	－	2.3	3.1	3.2	1.8	1.4	2.2	1.1	1.7	1.3	年平均値150
ダイオキシン類	pg-TEQ/m³	0.13	0.024	0.035	0.0081	0.025	0.030	0.030	0.028	0.017	0.020	0.6
カドミウム及びその化合物	ng/m³	22.8	9.2	59	41	120	21	4.8	8.1	6.4	11	－
鉛及びその化合物	ng/m³	233	27	160	200	380	540	105	104	88	32	－
ひ素及びその化合物	ng/m³	30	20	18	9.6	30	10	28	15	11	5.1	－
ニッケル及びその化合物	ng/m³	10.1	14	11	7	12	6.1	9.6	12	18	2.4 未満	指針値 年平均値25
クロム及びその化合物	ng/m³	5.9	4.7	5.1	2.2	3.2	4.1	3.1	3.1	3.5	4.8	－
水銀及びその化合物	ng/m³	3.5	4.5	3.2	4.4	2.6	2.3	3.2	2.7	2.5	1.6	指針値 年平均値40

注１）VOCs及び水銀及びその化合物のサンプリング期間はH20.8.19～8.20である。重金属類のサンプリング期間はH20.8.28～9.12である。ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類のサンプリング期間はH20.8.28～9.4である。

注２）水銀及びその化合物はサンプリング期間のうちの１日のみである。

注３）事前環境モニタリングの結果は、４回分（H12.8.3～8.16、H12.12.5～12.12、H13.1.17～1.31、H13.3.1～3.15）の平均値である。

注４）事前環境モニタリングは才ノ神で実施した。

調査地点図（●：調査地点）

平成２０年１０月２日

直島における周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について

直島における周辺環境モニタリングは、中間処理施設の建設前、雨水集水施設の完成後、運転期間に実施し、周辺環境への影響を把握することを目的としている。今回、中間処理施設の運転開始後である平成20年8月に実施した水質調査結果及び底質調査結果をとりまとめた。

１．調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事との関連
報告済	中間処理施設の建設前	平成13年3月8日（木）	中間処理施設の建設開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
		平成13年7月18日(水)	
	雨水集水施設の完成後	平成15年8月4日（月）	雨水集水施設の完成後に実施した。
	運転期間	平成15年11月11日(火)	中間処理施設の運転開始後に実施した。
		平成16年1月9日(金)	
		平成16年6月1日(火)	
		平成16年8月9日(月)	
		平成16年11月29日(月)	
		平成17年2月2日(水)	
		平成17年8月5日(金)	
		平成18年8月30日(水)	
		平成19年8月22日(水)	
今回報告		平成20年8月21日(木)	

２．調査の概要

（１）調査地点（調査地点図参照）
　　雨水集水施設の排水口近辺

（２）検体採取機関
　　県直島環境センター、県廃棄物対策課

（３）分析機関
　　四国計測工業株式会社

３．調査結果の概要

（1）水質（表1）

○一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

・平成18年度から全亜鉛を追加調査しており、昨年度は環境基準を満足しなかったが、今年度は生物特Aの環境基準値を満足した。（現在のところ、香川県の海域では、類型指定はなされていない。）

・ＤＯが環境基準を満足しなかった。

・それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：25項目）

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出されたが、環境基準を満足していた。

・それ以外の項目については検出されず、環境基準を満足していた。

○その他の項目（4項目）

・モリブデン、ニッケル及びアンチモンは検出されなかった。

○ダイオキシン類

・ダイオキシン類については、環境基準を満足していた。

（2）底質（表2）

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

・総水銀が検出されたが、暫定除去基準を満足していた。

・ＰＣＢは検出されず、暫定除去基準を満足していた。

・ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

表１　直島における周辺環境モニタリング（水質）

（大腸菌群数の単位；MPN/100mℓ、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/ℓ、ｐＨを除く単位；mg/ℓ）

測定場所＼測定項目			ｐＨ	ＣＯＤ	ＤＯ	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
直島雨水集水施設の排水口近辺	H20.8.21		8.1	1.8	6	ＮＤ	17	0.15	0.023	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H19.8.22		7.8	1.6	7.2	ＮＤ	33	0.19	0.027	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H18.8.30		8.2	1.8	7.3	ＮＤ	33	0.26	0.022	0.004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H17.8.5		8.2	2.4	7.3	ＮＤ	ＮＤ	0.19	0.036	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	8.0	1.3	5.6	ＮＤ	ＮＤ	0.15	0.025	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.4	9.1	ＮＤ	ＮＤ	0.31	0.040	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.8	7.7	ＮＤ	ＮＤ	0.23	0.034	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	8.0	1.5	6.7	ＮＤ	ＮＤ	0.16	0.019	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.0	9.0	ＮＤ	11	0.33	0.042	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.7	7.5	ＮＤ	5.8	0.24	0.031	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		8.0～8.2	1.6～2.3	6.9～9.7	ＮＤ	ND～2.0	0.14～0.15	0.019～0.027	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
環境基準（海域Ａ・Ⅱ類型）			7.8～8.3	≦2	≧7.5	ＮＤ	≦1000	≦0.3	≦0.03	≦0.01[1]	ＮＤ	≦0.0005	≦0.01	≦0.01	≦0.05	≦0.01	ＮＤ	ＮＤ	≦0.03	≦0.01
検出下限値（ND）			－	＜0.5	＜0.5	＜0.5	＜1.8	＜0.05	＜0.003	＜0.002	＜0.0005	＜0.0005	＜0.001	＜0.005	＜0.02	＜0.005	＜0.1	＜0.0005	＜0.002	＜0.0005

測定場所＼測定項目			ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	四塩化炭素	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾁｳﾗﾑ	ｼﾏｼﾞﾝ	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ｾﾚﾝ	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ﾆｯｹﾙ	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ｱﾝﾁﾓﾝ	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
直島雨水集水施設の排水口近辺	H20.8.21		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.02	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.10
	H19.8.22		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.14
	H18.8.30		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.11
	H17.8.5		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.05	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.081
	平成16年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.009	ＮＤ	0.075
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.14	ＮＤ	0.008	ＮＤ	0.12
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.07	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.090
	平成15年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.02	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.080
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.13	ＮＤ	ＮＤ	0.002	0.10
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.06	ＮＤ	ＮＤ	0.001	0.093
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	ＮＤ	ND～0.002	0.075～0.10
環境基準（海域Ａ・Ⅱ類型）			≦0.02	≦0.002	≦0.004	≦0.02	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	－	≦10	－	0.07 ※1	0.02 ※1	≦1
検出下限値（ND）			＜0.002	＜0.0002	＜0.0004	＜0.002	＜0.004	＜0.0005	＜0.0006	＜0.0002	＜0.001	＜0.0006[2]	＜0.0003	＜0.002	＜0.005	＜0.1	＜0.01	＜0.05	＜0.007	＜0.001	－

※1　要監視項目指針値

注１）生物特Ａ類型（生物Ａ類型の水域のうち、水生生物の産卵場（養殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域）の基準値

注２）環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年8月調査までの検出下限値は0.001mg/ℓである。）

表２　直島における周辺環境モニタリング（底質）

（強熱減量　；％、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等；mg/g・dry、ｐＨを除く単位；　mg/kg・dry）

測定場所＼測定項目			ｐＨ	ＣＯＤ	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
直島雨水集水施設の排水口近辺	H20.8.21		7.6	8.5	0.08	6.2	ＮＤ	3.1	1.2	160	64	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	780	840	20	71	36000	470	ＮＤ	4.4
	H19.8.22		8.2	2.7	0.03	2.7	0.3	1.1	5.9	110	75	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	450	720	5.4	11	20000	240	ＮＤ	5.6
	H18.8.30		7.0	0.5	<0.01	1.3	ＮＤ	0.91	1.6	150	60	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	880	2,000	16	24	33,000	160	ＮＤ	9.4
	H17.8.5		7.9	1.0	0.05	1.0	ＮＤ	1.9	2.0	190	130	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	780	2,900	22	48	25,000	450	ＮＤ	0.67
	平成16年度	最小	7.7	0.9	<0.01	1.1	ＮＤ	0.8	1.5	230	63	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	800	1,900	12	36	27,000	200	ＮＤ	1.2
		最大	7.8	3.1	0.04	2.0	ＮＤ	1.9	3.8	310	420	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	2,300	3,100	29	62	67,000	530	ＮＤ	4.1
		平均	7.7	2.1	0.02	1.5	ＮＤ	1.5	2.7	260	190	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,200	2,600	21	51	41,000	370	ＮＤ	2.9
	平成15年度	最小	7.9	2.0	<0.01	1.0	ＮＤ	1.1	1.3	140	1.5	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	600	80	11	30	27,000	360	ＮＤ	1.4
		最大	8.1	6.6	4.0	2.4	ＮＤ	3.0	2.8	240	840	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,300	2,000	38	63	53,000	480	ＮＤ	1.9
		平均	8.0	4.3	1.3	1.7	ＮＤ	2.1	1.9	189	384	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,033	1,293	24	46	42,000	410	ＮＤ	1.7
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		7.7	1.4～3.6	0.034～0.087	0.8～1.0	ＮＤ	4.2～4.5	3.6～10	300～640	330～670	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	2,200～8,100	2,700～7,500	29～100	40～42	79,000～220,000	430～560	ＮＤ	1.4～2.2
県内底質　※1	平均値		7.6	6.6	0.17	3.7	0.38	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	－	－	－	－	－	32	－	－	<0.1	4.2
	最小～最大		6.6～8.2	0.32～23	<0.01～1.5	1.0～11	<0.1～1.4	0.01～5.1	<0.05～1.1	5.3～120	0.97～12	<0.1～0.2	<0.001～<0.01	－	－	－	－	－	4.6～65	－	－	<0.1～<0.1	0.52～9.4
暫定除去基準			－	－	－	－	－	12	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	－

※1　県及び市町が平成８年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

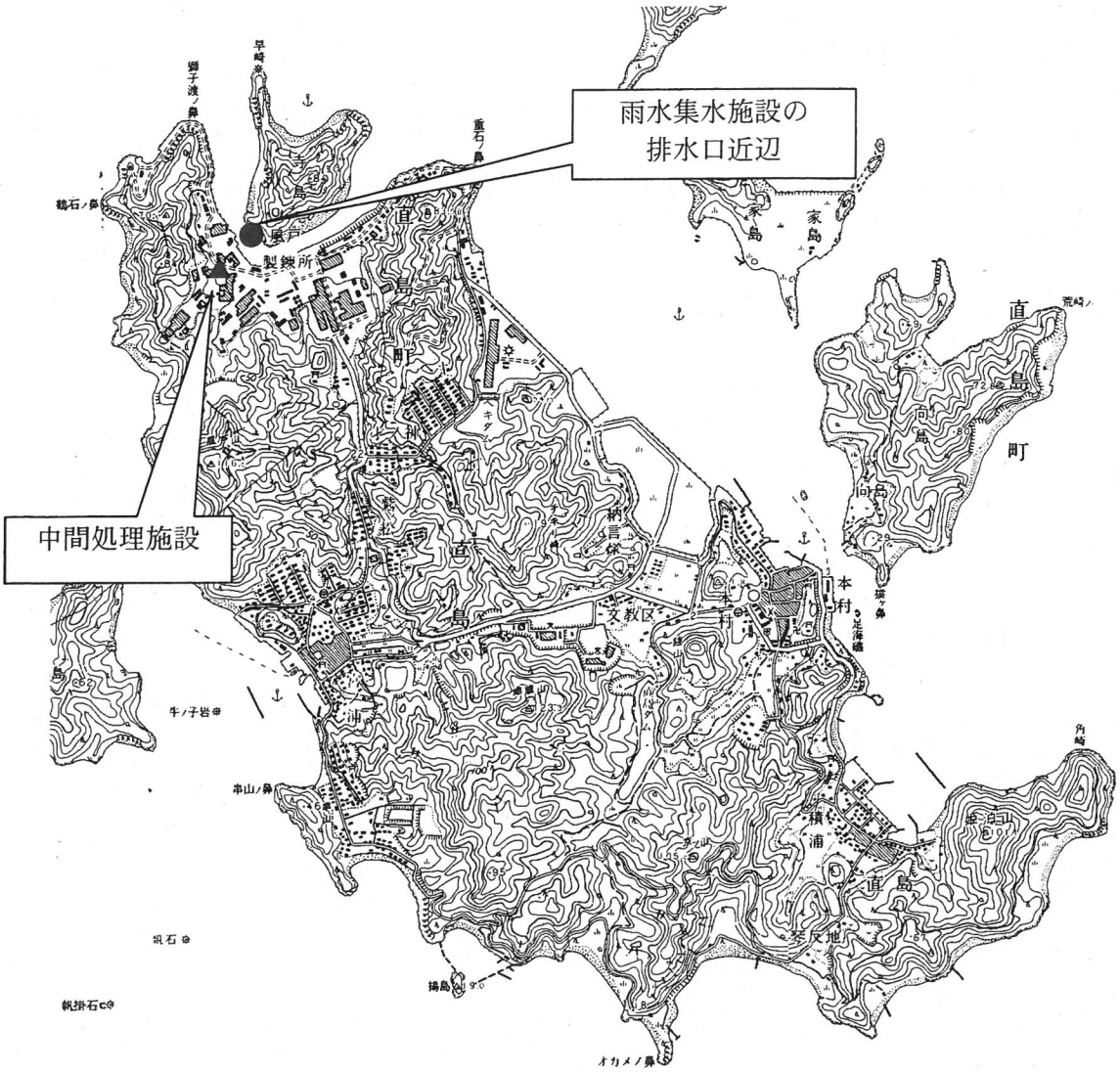


図　直島における周辺環境モニタリング調査地点（●：調査地点）

平成２０年１０月２日

海上輸送に係る周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について

海上輸送に係る周辺環境モニタリングは、搬出入施設である豊島、直島の桟橋工事開始前、工事完了後、供用開始後に実施し、周辺環境への影響を把握することを目的としている。今回、海上輸送の開始後である平成 20 年 8 月に実施した水質調査・底質調査結果をとりまとめた。

１．調査の経緯

	調査区分	調査期間	桟橋工事、海上輸送との関連
報告済	搬出入施設工事開始前	平成 12 年 7 月 27 日(火)	豊島、直島の桟橋工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
		平成 13 年 3 月 8 日（木）	
		平成 13 年 7 月 18 日(水)	
	搬出入施設工事完了直後	平成 15 年 3 月 18 日(火)	豊島、直島の桟橋工事の終了後(平成 15 年 2 月)、供用開始する前に実施した。
	供用開始後	平成 15 年 6 月 9 日（月）（水質調査）	海上輸送の開始後に実施した。
		平成 15 年 8 月 4 日（月）（水質調査、底質調査）	
		平成 15 年 11 月 11 日(火)（水質調査、底質調査）	
		平成 16 年 1 月 9 日（金）（水質調査）	
		平成 16 年 6 月 1 日（火）（水質調査）	
		平成 16 年 8 月 9 日（月）（水質調査、底質調査）	
		平成 16 年 11 月 29 日(月)（水質調査、底質調査）	
		平成 17 年 2 月 2 日（水）（水質調査）	
		平成 17 年 8 月 5 日（金）（水質調査、底質調査）	
		平成 18 年 8 月 30 日(水)（水質調査、底質調査）	
		平成 19 年 8 月 22 日(水)（水質調査、底質調査）	
今回報告		平成 20 年 8 月 21 日(木)（水質調査、底質調査）	

２．調査の概要

（１）調査地点（調査地点図参照）

豊島南海岸、直島の搬出入施設の周辺地先海域

（２）検体採取機関

県直島環境センター、県廃棄物対策課

（３）分析機関

四国計測工業株式会社

３．調査結果の概要

（１）水質調査（表１）

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：8 項目）

・ 平成 18 年度から、全亜鉛を追加調査しており、昨年までと同様に生物特Ａの環境基準値を満足した。（現在のところ、香川県の海域では、類型指定はなされていない。）

・ＤＯが、全ての地点において環境基準を満足しなかった。

・ＣＯＤが、豊島南海岸で環境基準を満足しなかった。

・それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：25 項目）

・全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○その他の項目（4 項目）

・モリブデン、ニッケル及びアンチモンは、全ての地点において検出されなかった。

○ダイオキシン類

・全ての地点において、環境基準を満足していた。

（２）底質（表２）

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

・総水銀が、全ての地点において検出されたが、暫定除去基準を満足していた。

・ＰＣＢは、全ての地点において検出されず、暫定除去基準を満足していた。

・ダイオキシン類は、全ての地点において、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

・それ以外の項目については、環境基準を満足していた。

表１　海上輸送に係る周辺環境モニタリング（水質）

（大腸菌群数の単位；MPN/100mℓ、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/ℓ、ｐＨを除く単位；mg/ℓ）

測定場所＼測定項目			ｐＨ	ＣＯＤ	ＤＯ	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
豊島南海岸	H20.8.21		8.0	2.1	6.5	ＮＤ	<1.8	0.17	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H19.8.22		8.3	1.9	7.2	ＮＤ	2.0	0.14	0.024	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H18.8.30		8.2	1.8	7.3	ＮＤ	2.0	0.24	0.027	0.003	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H17.8.5		8.3	2.7	7.0	ＮＤ	4.5	0.15	0.031	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	8.0	1.2	5.8	ＮＤ	<1.8	0.16	0.027	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.0	9.0	ＮＤ	4.5	0.27	0.042	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.6	7.8	ＮＤ	2.5	0.21	0.033	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	8.0	1.5	6.9	ＮＤ	<1.8	0.15	0.021	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.2	9.0	ＮＤ	<1.8	0.59	0.040	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.8	7.6	ＮＤ	<1.8	0.31	0.032	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	工事完了後		8.1	1.9	9.8	ＮＤ	<1.8	0.16	0.018	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		7.7～8.0	1.3～1.5	6.2～6.9	ＮＤ	<1.8～2.0	0.12～0.57	0.021～0.027	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
B-1	平成17年度[4]	最小	7.9	1.8	5.9	ＮＤ	0	0.20	0.003	0.001	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		最大	8.1	2.7	10	ＮＤ	33	0.75	0.035	0.038	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		平均	8.0	2.1	8.3	ＮＤ	13	0.42	0.018	0.009	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平成16年度	最小	8.1	1.4	5.8	ＮＤ	<1.8	0.13	0.020	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.0	9.1	ＮＤ	7.8	0.28	0.046	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.8	7.7	ＮＤ	3.4	0.21	0.031	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	8.0	1.4	7.0	ＮＤ	<1.8	0.16	0.022	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.0	8.8	ＮＤ	4	0.33	0.043	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.7	7.5	ＮＤ	2	0.25	0.029	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	工事完了後		8.1	1.6	9.7	ＮＤ	<1.8	0.15	0.017	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		8.0	1.6	6.9	ＮＤ	<1.8	0.12	0.018	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
直島の搬出入施設の周辺地先海域	H20.8.21		8.1	1.5	5.4	ＮＤ	4.5	0.17	0.030	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H19.8.22		8.0	1.7	7.3	ＮＤ	49	0.16	0.027	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H18.8.30		8.4	1.8	7.4	ＮＤ	33	0.29	0.024	0.004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	H17.8.5		8.2	3.0	7.1	ＮＤ	<1.8	0.16	0.027	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	8.0	1.5	5.7	ＮＤ	<1.8	0.13	0.018	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.2	9.1	ＮＤ	13	0.28	0.044	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.8	7.8	ＮＤ	4.6	0.21	0.031	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	8.0	1.2	6.8	ＮＤ	<1.8	0.15	0.019	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.2	2.1	9.0	ＮＤ	17	0.35	0.041	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.1	1.5	7.6	ＮＤ	6	0.26	0.030	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	工事完了後		8.1	1.9	9.8	ＮＤ	4.5	0.24	0.015	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		8.0～8.2	1.7～2.1	6.6～9.7	ＮＤ	<1.8～2.0	0.12～0.13	0.019～0.021	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
環境基準（海域Ａ・Ⅱ類型）			7.8～8.3	≦2	≧7.5	ＮＤ	1,000	≦0.3	≦0.03	≦0.01[2]	ＮＤ	≦0.0005	≦0.01	≦0.01	≦0.05	≦0.01	ＮＤ	ＮＤ	≦0.03	≦0.01
検出下限値（ND）			－	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定場所 ＼ 測定項目			ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	四塩化炭素	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾁｳﾗﾑ	ｼﾏｼﾞﾝ	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ｾﾚﾝ	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ﾆｯｹﾙ	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ｱﾝﾁﾓﾝ	塩素ｲｵﾝ	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
豊島南海岸	H20.8.21		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18400	0.070
	H19.8.22		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18700	0.067
	H18.8.30		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,100	0.072
	H17.8.5		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	17,800	0.073
	平成16年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	17,800	0.072
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.14	ＮＤ	0.008	ＮＤ	18,500	0.087
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.07	ＮＤ	0.008	ＮＤ	18,200	0.080
	平成15年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.01	ＮＤ	ＮＤ	0.002	17,400	0.076
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.11	ＮＤ	ＮＤ	0.002	18,000	0.096
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.05	ＮＤ	ＮＤ	0.002	17,775	0.086
	工事完了後		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	0.007	ＮＤ	18,400	0.086
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	ND～0.007	ND～0.001	18,300～18,500	0.078～0.086
B-1	平成17年度[4]	最小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	17,700	－
		最大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	18,800	－
		平均	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	18,200	－
	平成16年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	17,800	0.074
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.16	ＮＤ	0.010	ＮＤ	18,500	0.13
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.08	ＮＤ	0.009	ＮＤ	18,200	0.10
	平成15年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.01	ＮＤ	ＮＤ	0.003	17,300	0.084
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.13	ＮＤ	ＮＤ	0.003	18,400	0.11
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.05	ＮＤ	ＮＤ	0.003	17,825	0.097
	工事完了後		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	0.007	ＮＤ	18,600	0.094
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,200	0.078
直島の搬出入施設の周辺地先海域	H20.8.21		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,500	0.093
	H19.8.22		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,600	0.11
	H18.8.30		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.03	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,500	0.11
	H17.8.5		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.02	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,000	0.079
	平成16年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,200	0.075
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.14	ＮＤ	0.010	ＮＤ	18,500	0.082
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.08	ＮＤ	0.009	ＮＤ	18,400	0.079
	平成15年度	最小	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.02	ＮＤ	ＮＤ	0.001	17,600	0.082
		最大	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.11	ＮＤ	ＮＤ	0.001	18,300	0.14
		平均	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.04	ＮＤ	ＮＤ	0.001	17,950	0.11
	工事完了後		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	0.008	ＮＤ	18,600	0.088
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ[1]		ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18,300～18,700	0.084～0.12
環境基準（海域Ａ・Ⅱ類型）			≦0.02	≦0.002	≦0.004	≦0.02	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	－	≦10	－	0.07 ※1	0.02 ※1	－	≦1
検出下限値（ND）			＜0.002	＜0.0002	＜0.0004	＜0.002	＜0.004	＜0.0005	＜0.0006	＜0.0002	＜0.001	＜0.0006[3]	＜0.0003	＜0.002	＜0.005	＜0.1	＜0.01	＜0.05	＜0.007	＜0.001	－	－

※1　要監視項目指針値

1）事前環境モニタリング：H12.7.27（豊島南海岸）、H13.3.8（直島搬出入施設）、H13.7.18実施　　工事完了後：H15.3.18実施
　　平成15年度：H15.6.9、H15.8.4、H15.11.11、H16.1.9実施（ﾆｯｹﾙ、ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ、ｱﾝﾁﾓﾝ、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はH15.8.4、H15.11.11実施）
　　平成16年度：H16.6.1、H15.8.9、H15.11.29、H16.2.2実施（ﾆｯｹﾙ、ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ、ｱﾝﾁﾓﾝ、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はH15.8.9、H15.11.29実施）
2）生物特Ａ類型（生物Ａ類型の水域のうち、水生生物の産卵場（養殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域）の基準値
3）環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年8月調査までの検出下限値は0.001mg/ℓである。）
4）平成17年度香川県水質測定計画に基づく環境基準監視調査

表２　海上輸送に係る周辺環境モニタリング（底質）

（強熱減量　；%、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等；mg/g・dry、ｐＨを除く単位；　mg/kg・dry）

測定場所 ＼ 測定項目			ｐＨ	ＣＯＤ	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
豊島南海岸	H20.8.21		7.5	17	0.26	8.5	0.2	0.09	ＮＤ	17	4.0	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	22	90	17	66	18000	420	ＮＤ	5.9
	H19.8.22		8.2	5.5	0.15	3.9	0.3	0.03	3.2	13	3.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	17	65	8.0	10	12000	350	ＮＤ	2.1
	H18.8.30		8.0	5.1	0.11	4.3	0.3	0.03	0.1	16	3.9	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	21	86	11	25	17,000	460	ＮＤ	3.1
	H17.8.5		7.9	5.6	0.08	3.6	0.2	0.02	0.1	12	4.1	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	18	72	23	55	13,000	350	ＮＤ	2.7
	平成16年度	最小	7.6	3.0	0.28	3.9	0.1	0.08	ＮＤ	18	3.5	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	20	98	13	43	19,000	470	ＮＤ	3.7
		最大	7.6	6.4	0.28	4.1	0.2	0.09	ＮＤ	19	3.9	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	20	120	30	61	20,000	490	ＮＤ	4.1
		平均	7.6	4.7	0.28	4.0	0.2	0.09	ＮＤ	19	3.7	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	20	110	22	52	20,000	480	ＮＤ	3.9
	平成15年度	最小	7.6	6.2	<0.01	4.9	0.1	0.01	ＮＤ	14	3.9	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	13	80	22	39	12,000	420	ＮＤ	2.3
		最大	7.7	9.1	0.18	8.0	0.2	0.03	ＮＤ	36	6.7	ＮＤ	0.01	ＮＤ	ＮＤ	19	100	23	72	17,000	550	ＮＤ	3.3
		平均	7.7	7.7	0.10	6.5	0.1	0.02	ＮＤ	25	5.3	ＮＤ	0.01	ＮＤ	ＮＤ	16	90	23	56	14,500	485	ＮＤ	2.8
	工事完了後		7.8	3.6	0.018	3.7	<0.1	0.07	0.11	13	4.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	16	97	12	54	16,000	420	ＮＤ	3.3
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		7.5～7.8	4.8～9.2	<0.01～0.06	3.8～5.1	<0.1～0.12	0.08～0.09	0.10～0.11	21～23	5.1～5.3	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	26～27	100～120	18～21	51～52	16,000～21,000	540～540	ＮＤ	2.8～4.6
	平成16年度	最小	7.7	6.3	0.09	2.7	<0.1	0.09	ＮＤ	15	4.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	14	70	11	29	16,000	500	ＮＤ	2.1
		最大	7.8	6.6	0.13	3.2	0.3	0.13	ＮＤ	15	6.3	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	14	77	26	51	16,000	680	ＮＤ	2.3
		平均	7.8	6.5	0.11	3.0	0.2	0.11	ＮＤ	15	5.5	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	14	74	19	40	16,000	590	ＮＤ	2.2
	平成15年度	最小	7.8	0.5	<0.01	1.3	<0.1	ＮＤ	ＮＤ	6	4.5	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	6.2	33	9.2	19	6,300	950	ＮＤ	0.21
		最大	7.9	2.2	<0.01	1.7	<0.1	0.02	ＮＤ	11	6.0	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	12	41	13	23	8,000	1,100	ＮＤ	2.0
		平均	7.9	1.4	<0.01	1.5	<0.1	0.02	ＮＤ	9	5.3	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	9.1	37	11	21	7,150	1,025	ＮＤ	1.1
	工事完了後		7.7	3.2	<0.01	3.0	<0.1	0.13	0.05	15	6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	14	87	12	30	14,000	480	ＮＤ	3.6
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		7.7	2.9	0.02	2.2	<0.1	0.07	0.14	13	6.3	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	11	85	10	50	12,000	390	ＮＤ	1.4
直島の搬出入施設の周辺地先海域	H20.8.21		7.6	1.1	0.02	1.6	<0.1	0.03	ＮＤ	11	4.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	71	65	2.7	8.7	6,100	220	ＮＤ	0.82
	H19.8.22		8.4	3.2	0.08	2.2	0.2	1.0	2.3	22	45	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	160	85	2.9	4.7	8,100	230	ＮＤ	2.3
	H18.8.30		7.8	6.7	0.13	5.7	0.2	0.60	2.0	130	36	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	790	580	11	59	28,000	470	ＮＤ	6.7
	H17.8.5		7.6	4.3	0.15	2.6	0.2	0.51	1.9	150	54	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,800	700	22	69	47,000	580	ＮＤ	4.9
	平成16年度	最小	7.5	6.2	0.10	4.5	0.1	0.40	1.1	160	60	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	990	620	18	49	29,000	530	ＮＤ	6.6
		最大	7.7	9.9	0.45	5.3	0.5	1.7	2.1	210	62	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,100	680	37	73	30,000	670	ＮＤ	7.0
		平均	7.6	8.1	0.28	4.9	0.3	1.1	1.6	190	61	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,000	650	28	61	30,000	600	ＮＤ	6.8
	平成15年度	最小	7.7	4.1	0.01	1.8	<0.1	1.0	3.0	330	100	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,500	1,400	22	29	48,000	450	ＮＤ	3.5
		最大	7.9	5.4	0.05	3.6	0.3	1.3	3.4	350	390	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,900	3,500	26	64	88,000	510	ＮＤ	6.6
		平均	7.8	4.8	0.03	2.7	0.2	1.2	3.2	340	245	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	1,700	2,450	24	47	68,000	480	ＮＤ	5.1
	工事完了後		7.7	5.4	0.23	6.7	0.36	0.14	1.5	110	44	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	720	480	21	59	32,000	870	ＮＤ	4.4
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ		7.4～7.8	2.7～14	<0.01～0.33	2.3～7.5	<0.1～0.95	0.19～1.4	0.16～0.22	43～140	12～55	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	340～1,200	170～470	20～32	19～59	12,000～35,000	520～730	ＮＤ	1.0～7.4
県内底質 ※1	平均値		7.6	7	0.17(176)	3.7	0.38	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	－	－	－	－	－	32	－	－	<0.1	4.2
	最小～最大		6.6～8.2	0.32～23	<0.01～1.5	1.0～11	<0.1～14	0.01～5.1	<0.05～1.1	5.3～120	0.97～12	<0.1～0.2	<0.001～<0.01	－	－	－	－	－	4.6～65	－	－	<0.1～<0.1	0.52～9.4
暫定除去基準			－	－	－	－	－	12	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	－

※1　県及び市町が平成８年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。
　　但し、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

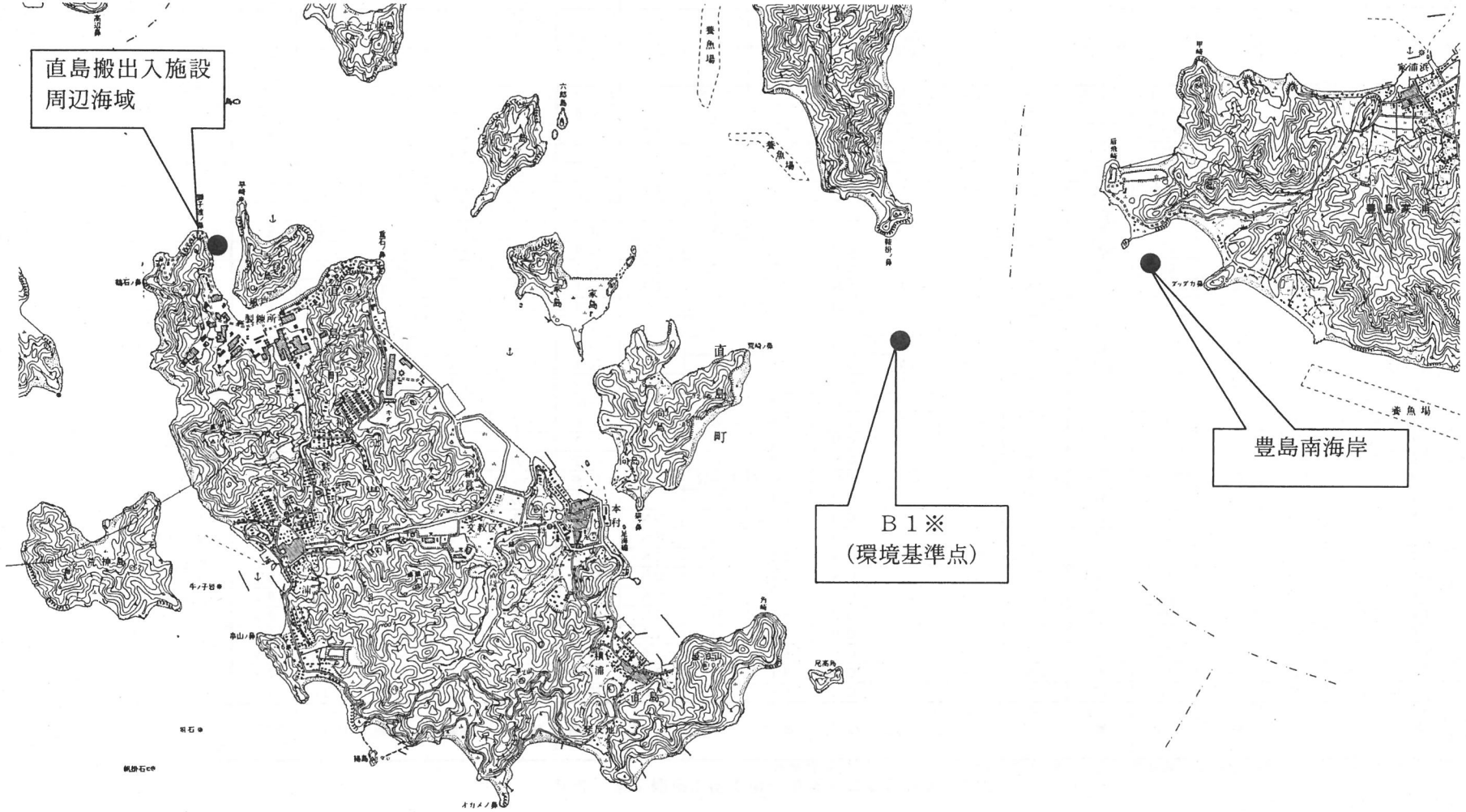


図　海上輸送に係る周辺環境モニタリング調査地点図
※：平成 17 年度調査より、Ｂ１は調査地点から除外した。

平成２０年１０月１０日

豊島における周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削・運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、平成20年8月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

１．調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	事前環境モニタリング	平成10年12月～平成11年12月（４回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置工事前	平成12年7月27日（木）	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置工事中	平成13年7月18日（水）	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成14年2月1日（金）	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度排水処理施設建設工事中	平成14年7月23日（火）	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成15年2月6日（木）	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成15年5月15日（木）（水質調査）	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成15年7月14日（月）（水質調査、底質調査）	
		平成15年10月24日（金）（水質調査、底質調査）	中間処理施設本格稼動後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年2月10日（火）（水質調査）	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年6月1日（火）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年7月29日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年11月2日（火）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年1月14日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年5月23日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年7月21日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年11月7日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年1月18日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年5月26日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日（金）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年11月27日(月)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年1月24日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年6月14日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年8月27日（月）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年11月15日(木)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年1月25日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年5月21日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
今回報告	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成20年8月27日（水）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

2．調査の概要

（1）調査地点（調査地点図参照）

①周辺地先海域

○水質調査

Ｓｔ－３(西海岸沖)、Ｓｔ－４(北海岸沖) 及びＳｔ－８(北海岸沖)

○底質調査

Ｓｔ－３(西海岸沖)及びＳｔ－４(北海岸沖)

②海岸感潮域

Ｓｔ－Ａ(西海岸)、Ｓｔ－Ｂ(北海岸)及びＳｔ－Ｅ(北海岸)

（2）検体採取機関及び分析機関

①検体採取機関：県廃棄物対策課、県直島環境センター、県環境保健研究センター

②分　析　機　関：県直島環境センター、県環境保健研究センター、四国計測工業(株)

3．調査結果の概要

（1）周辺地先海域

①水質（表1）

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

・ＤＯが全ての地点において、環境基準を満足しなかった。
・それ以外の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。
○健康項目（人の健康を保護する上での基準：25 項目）
・すべての地点において環境基準を満足していた。
○その他の項目（４項目）
・ニッケル、モリブデン、アンチモンについては、全て検出されなかった。
○ダイオキシン類
・すべての地点において環境基準を満足していた。
②底質（表２）
・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異は見られなかった。
・総水銀が全ての地点において検出されたが、暫定除去基準を満足していた。
・ＰＣＢは全ての地点で検出されず、暫定除去基準を満足していた。
・ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

（２）海岸感潮域
①水質（表３）
事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
○一般項目（7 項目）
・全ての項目について、最終処分場に係る排水基準を満足していた。
○健康項目（25 項目）
・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素がすべての地点において検出されたが、最終処分場からの排水基準を満足していた。
・それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、最終処分場からの排水基準を満足していた。
○その他の項目（4 項目）
・ニッケルについては全ての地点で検出されなかったが、モリブデンがＳｔ－Ｂで、アンチモンがＳｔ－Ｅで検出された。
○ダイオキシン類
・全ての地点において、最終処分場からの排水基準を満足していた。
②底質（表４）
・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
・総水銀及びＰＣＢは、全ての地点において、検出されなかった。
・ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

表1　豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100mℓ、ダイオキシン類：pg-TEQ/ℓ、ｐＨを除く単位：mg/ℓ）

測定場所＼測定項目	調査日		pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
南海岸沖　St-1	H13.7.18		7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.5	6.2	ND	<1.8	0.57	0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
西海岸沖　St-3	平成20年度	H20.5.21	8.1	2.3	9.3	ND	2.0	0.22	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.6	6.5	ND	2.0	0.13	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	<1.8	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	<1.8	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	<1.8	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	<1.8	0.12	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	<1.8	0.11	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		7.9～8.1	1.6～2.1	6.6～9.2	ND	<1.8	0.10～0.63	0.022～0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.0	1.4～1.6	7.0～9.1	ND	<1.8	0.12～0.13	0.020～0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.6	6.2	ND	<1.8	0.42	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1（8.0）	1.4～2.0（1.7）	6.3～8.9（7.5）	ND	－	0.13～0.28（0.22）	0.027～0.044（0.036）	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-4	平成20年度	H20.5.21	8.2	2.1	9.7	ND	<1.8	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.6	6.6	ND	4.5	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	<1.8	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23.0	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	<1.8	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	<1.8	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	<1.8	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	<1.8	0.11	0.015	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.3	1.4～2.0	7.0～9.4	ND	<1.8	0.11～0.19	0.019～0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.1	1.4～1.7	7.0～9.1	ND	<1.8	0.13～0.14	0.020～0.022	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.9	6.7	ND	<1.8	0.17	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1（8.1）	1.5～2.2（1.9）	6.5～8.9（7.6）	ND	－	0.12～0.38（0.23）	0.026～0.044（0.034）	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-8	平成20年度	H20.5.21	8.2	1.6	9.1	ND	<1.8	0.18	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.8	6.6	ND	2.0	0.17	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.1	7.0	ND	<1.8	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.6	8.7	ND	11.0	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	0.5	8.1	ND	<1.8	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.7	8.3	ND	2	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.9	7.2	ND	<1.8	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.6	6.4	ND	<1.8	0.14	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	8.0	1.4	6.9	ND	<1.8	0.14	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.2	1.3～2.0	6.8～9.5	ND	<1.8	0.10～0.20	0.019～0.026	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		8.1	1.7	9.0	ND	<1.8	0.14	0.020	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1（8.0）	1.5～2.1（1.8）	6.5～9.0（7.6）	ND	<1.8～2.0（<1.8）	0.12～0.28（0.21）	0.027～0.044（0.035）	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
家浦港沖　St-5	H13.7.18		8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
環境基準（海域A・II類型）			7.8～8.3	≦2	≧7.5	ND	≦1000	≦0.3	≦0.03	≦0.01[4]	ND	≦0.0005	≦0.01	≦0.01	≦0.05	≦0.01	ND	ND	≦0.03	≦0.
検出下限値（ND）			－	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定場所＼測定項目	調査日		ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩素イオン	ダイオキシン類[2]
南海岸沖 St-1	H13.7.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	18,300	0.078
	H12.7.27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	0.007	0.001	18,500	0.086
西海岸沖 St-3	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	–	18,700	–
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,600	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	18,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,100	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,500	0.12
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	17,700	0.072
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	ND	18,900	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,275	0.084
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	18,000	0.076
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	ND	19,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	ND	18,700	0.077
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,200	0.079
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.009	ND	18,500	0.20
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,400	0.091
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.001	18,800	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.001	17,775	0.11
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	17,900～19,200	0.077～0.087
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	18,300～18,800	0.079～0.25
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	18,500	0.075
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	ND	<0.007～0.013（0.009）	ND	17,400～18,600（18,000）	0.065
北海岸沖 St-4	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	–	18,600	–
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.073
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,000	0.086
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	ND	19,000	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	17,700	0.12
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	17,900～19,300	0.077～0.08
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	18,200～18,800	0.081～0.14
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	ND	0.008～0.012（0.009）	ND	17,200～18,600（17,900）	0.065
北海岸沖 St-8	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	–	18,600	–
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,000	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	185,000	0.086
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	18,000	0.082
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,325	0.088
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	17,300	0.088
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,700	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	18,000	0.092
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	0.008	ND	19,600	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.008	ND	18,400	0.31
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,600	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	0.007	0.004	19,000	0.18
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.007	0.002	17,600	0.14
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	17,900～19,300	0.077～0.079
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	18,700	0.079
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	–	ND	0.008～0.010（0.009）	ND	17,300～18,500（17,900）	0.065
東浦港沖 St-5	H13.7.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	ND	ND	17,900	0.41
	H12.7.27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	–	ND	0.007	0.001	18,200	0.084
環境基準（海域A・II類型）			≦0.02	≦0.002	≦0.004	≦0.02	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	–	≦10	–	0.07[3]	0.02[3]	–	≦1
検出下限値（ND）			<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.001	<0.0006[5]	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.05	<0.007	<0.001	–	–

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施（St-3、St-4）　平成13年度：H13.7.18（St-3、St-4）、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施　平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施　平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施　平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施

2) ダイオキシン類（コプラナーPCBを含む）は、事前環境モニタリングについては1回分（H11.11.29）の測定データである。

3) 要監視項目指針値

4) 生物特A類型（生物A類型の水域のうち、水生生物の産卵場（養殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域）の基準値

5) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/lである。）

表2　豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域底質）

（強熱減量　：%、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等：mg/g・dry、ｐＨを除く単位；　mg/kg・dry）

測定場所＼測定項目	調査日		pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
南海岸沖　St-1	H13.7.18		7.5	9.2	0.060	5.1	0.12	0.09	0.11	21	5.3	ND	ND	ND	ND	26	120	21	52	21,000	540	ND	4.6
	H12.7.27		7.8	4.8	0.006	3.8	<0.1	0.08	0.10	23	5.1	ND	ND	ND	ND	27	100	18	51	16,000	540	ND	2.8
西海岸沖　St-3	平成20年度	H20.8.27	7.7	1.6	0.01	3.7	<0.1	0.01	ND	3.3	1.6	ND	ND	ND	ND	3.8	35	3.0	5.3	4,400	330	ND	1.4
	平成19年度	H19.8.27	8.2	4.8	0.04	3.4	0.3	0.03	0.13	12	4.6	ND	ND	ND	ND	19	61	7.7	49	12,000	380	ND	4.4
	平成18年度	H18.8.8	7.6	5.2	0.03	3.6	0.2	0.02	ND	9.4	3.2	ND	ND	ND	ND	16	41	4.8	48	13,000	530	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.5	4.6	0.05	4.0	0.2	0.03	0.1	16	5.2	ND	ND	ND	ND	25	83	15	60	13,000	450	ND	13
	平成16年度	最小	7.5	7.5	0.19	3.1	0.1	0.08	ND	17	6.1	ND	ND	ND	ND	29	80	19	48	18,000	520	ND	5.5
		最大	7.7	11	0.22	3.9	0.2	0.10	ND	20	7.0	ND	ND	ND	ND	33	89	31	63	20,000	550	ND	7.8
		平均	7.6	9.3	0.21	3.5	0.2	0.09	ND	19	6.6	ND	ND	ND	ND	31	85	25	56	19,000	540	ND	6.7
	平成15年度	最小	7.5	7.1	0.082	4.3	<0.1	0.03	ND	13	4.6	ND	ND	ND	ND	19	92	20	35	16,000	570	ND	4.0
		最大	7.9	7.4	0.1	5.1	0.13	0.1	ND	15	6.1	ND	ND	ND	ND	22	99	28	66	18,000	620	ND	5.3
		平均	7.7	7.3	0.09	4.7	0.12	0.07	ND	14	5.4	ND	ND	ND	ND	21	96	24	51	17,000	595	ND	4.7
	平成14年度		7.6～7.6	9.8～9.9	0.040～0.11	4.1～5.1	<0.1～0.12	0.06～0.12	0.11～0.14	18～19	5.4～6.1	ND	ND	ND	ND	23～25	85～100	13～15	48～50	28,000～26,000	530～620	ND	4.7～4.7
	平成13年度		7.6～7.6	9.0～9.3	0.10～0.12	4.1～4.2	0.15～0.15	0.07～0.08	0.08～0.09	17～21	5.0～5.5	ND	ND	ND	ND	21～30	93～110	16～18	42～47	14,000～15,000	540～550	ND	4.5～5.7
	平成12年度		7.8	8.7	0.010	5.1	0.12	0.09	0.12	27	6.2	ND	ND	ND	ND	35	120	20	53	21,000	810	ND	5.3
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ最小値～最大値（平均値）		7.6～ 7.8 [7.7]	4.1～ 8.7 [6.2]	0.059～ 0.084 [0.070]	3.0～ 4.6 [3.7]	0.10～ 0.24 [0.15]	0.08～ 0.09 [0.09]	0.07～ 0.11 [0.10]	16～ 24 [19]	4.6～ 7.4 [6.0]	ND	<0.0005	ND	ND	23～ 98 [47]	85～ 110 [95]	13～ 91 [34]	42～ 54 [46]	16,000～ 20,000 [18,000]	480～ 710 [620]	ND	5.8
西海岸沖　St-4	平成20年度	H20.8.27	7.7	4.2	0.07	3.9	<0.1	0.06	ND	14	3.7	ND	ND	ND	ND	23	73	9.5	34	14,000	640	ND	5.3
	平成19年度	H19.8.27	8.3	4.1	0.02	3.2	0.2	0.06	0.11	12	5.8	ND	ND	ND	ND	16	74	6.0	39	13,000	530	ND	3.5
	平成18年度	H18.8.8	7.7	7.3	0.06	5.2	0.3	0.05	0.1	24	4.6	ND	ND	ND	ND	23	100	12	60	17,000	770	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.6	5.1	0.07	4.0	0.2	0.05	0.1	11	5.7	ND	ND	ND	ND	17	85	12	51	13,000	500	ND	4.6
	平成16年度	最小	7.5	5.4	0.09	4.2	0.1	0.04	ND	17	3.4	ND	ND	ND	ND	19	86	9.1	36	15,000	550	ND	3.5
		最大	7.6	6.3	0.19	4.7	0.1	0.10	ND	17	5.0	ND	ND	ND	ND	19	90	32	56	20,000	620	ND	7.1
		平均	7.6	5.9	0.14	4.5	0.1	0.07	ND	17	4.2	ND	ND	ND	ND	19	88	21	46	18,000	590	ND	5.3
	平成15年度	最小	7.7	7.4	0.028	4.4	<0.1	0.028	ND	12	4.3	ND	ND	ND	ND	14	94	27	46	18,000	530	ND	2.6
		最大	7.9	8.9	0.04	6.2	<0.1	0.06	0.13	14	6.6	ND	ND	ND	ND	15	98	27	82	21,000	720	ND	3.1
		平均	7.8	8.2	0.034	5.3	<0.1	0.04	0.12	13	5.5	ND	ND	ND	ND	15	96	27	64	19,500	625	ND	2.9
	平成14年度		7.6～7.6	11～11	0.011～0.030	5.2～5.5	<0.1～0.11	0.06～0.10	0.08～0.13	18～21	5.5～6.2	ND	ND	ND	ND	21～27	100～110	15～19	52～53	15,000～21,000	560～620	ND	3.3～5.2
	平成13年度		7.6～7.7	8.0～11	0.008～0.14	4.3～4.8	<0.1～0.14	0.08～0.08	0.10～0.14	18～20	5.1～5.7	ND	ND	ND	ND	20～26	100～110	18～28	51～74	15,000～15,000	620～710	ND	3.1～4.4
	平成12年度		7.8	9.3	0.018	5.4	0.11	0.13	0.13	31	5.8	ND	ND	ND	ND	41	140	19	67	24,000	700	ND	3.8
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ最小値～最大値（平均値）		7.0～ 7.9 [7.6]	7.0～ 9.6 [7.8]	0.064～ 0.45 [0.19]	3.4～ 6.3 [4.7]	0.1～ 0.48 [0.27]	0.09～ 0.11 [0.10]	0.10～ 0.12 [0.12]	20～ 27 [24]	4.7～ 7.9 [6.3]	ND	<0.0005	ND	ND	24～ 43 [30]	86～ 120 [110]	15～ 22 [19]	52～ 55 [54]	20,000～ 23,000 [22,000]	670～ 840 [750]	ND	6.5
家浦港沖　St-5	H13.7.18		7.6	4.6	0.044	2.5	<0.1	0.07	0.08	21	4.7	ND	ND	ND	ND	15	81	19	51	14,000	330	ND	1.9
	H12.7.27		7.8	4.4	0.032	3.2	<0.1	0.09	0.09	22	6.4	ND	ND	ND	ND	21	93	12	56	16,000	370	ND	1.8
県内底質[3]	平均値		7.6	6.6	0.176	3.7	0.387	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	－	－	－	－	－	32	－	－	<0.1	
	最小～最大		6.6～ 8.2	0.32～ 23	<0.01～ 1.5	1.0～ 11	<0.1～ 1.4	0.01～ 5.1	<0.05～ 1.1	5.3～ 120	0.97～ 12	<0.1～ 0.2	<0.001～ <0.01	－	－	－	－	－	4.6～ 65	－	－	<0.1～ <0.1	0.52～ 9.4
環境基準、暫定除去基準			－	－	－	－	－	12	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	150
検出下限値（ND）			<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	－

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
　平成15年度：H15.7.14、H15.10.24実施　平成16年度：H16.7.29、H16.11.2実施

2) ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類（ｺﾌﾟﾗﾅｰPCBを含む）は、事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞについては1回分（H11.11.29）の測定ﾃﾞｰﾀである。

3) 県及び市町が平成８年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

表３　豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位；MPN/100mℓ、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/ℓ、ｐＨを除く単位；mg/ℓ）

測定場所＼測定項目	調査日		ｐＨ	ＣＯＤ	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
西海岸　St-A	平成20年度	H20.5.21	7.9	ＮＤ	ＮＤ	<1.8	0.21	0.024	0.026	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20.8.27	7.7	ＮＤ	ＮＤ	4.5	0.32	0.033	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7.6	ＮＤ	ＮＤ	<1.8	0.17	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.8	0.6	ＮＤ	2.0	0.81	0.052	0.014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.7	0.5	ＮＤ	1.9	0.41	0.040	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7.6	ＮＤ	ＮＤ	<1.8	0.27	0.037	0.012	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.3	ＮＤ	<1.8	0.47	0.096	0.028	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	0.8	ＮＤ	<1.8	0.37	0.068	0.021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.003	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7.8	1.2	ＮＤ	<1.8	0.13	0.028	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.7	ＮＤ	2.0	0.43	0.057	0.021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.9	1.5	ＮＤ	1.9	0.31	0.039	0.016	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	7.6	0.6	ＮＤ	<1.8	0.21	0.035	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.9	1.9	ＮＤ	2.0	0.44	0.043	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	1.4	ＮＤ	1.9	0.29	0.039	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	7.8	0.7	ＮＤ	<1.8	0.08	0.032	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.3	1.4	ＮＤ	<1.8	0.43	0.042	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.0	1.1	ＮＤ	<1.8	0.26	0.036	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		7.7～8.4	1.3～1.4	ＮＤ	<1.8	0.11～0.40	0.045～0.060	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		7.4～8.0	1.2～1.7	ＮＤ	<1.8	0.12～0.25	0.040～0.052	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		7.7	1.0	ＮＤ	<1.8	0.27	0.041	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		7.6～8.0 (7.8)	1.0～1.7 (1.3)	ＮＤ	－	0.16～0.40 (0.27)	0.026～0.065 (0.047)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-B	平成20年度	H20.5.21	7.1	19	ＮＤ	<1.8	5.8	0.080	0.018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20.8.27	7.1	21	0.5	49	7.0	0.16	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	6.9	7.4	ＮＤ	<1.8	3.0	0.059	0.002	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.6	31.0	0.6	2.0	11	0.20	0.040	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.2	20.0	0.5	2.0	6.7	0.13	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	6.8	8.9	ＮＤ	<1.8	3.2	0.13	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.4	52.0	1.4	4.5	23	0.50	0.022	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.0	38.7	0.7	2.8	12	0.23	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	6.8	19	1.3	<1.8	12	0.15	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.0	110	2.9	2.8	20	0.24	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6.9	70	2.1	19	15	0.19	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	6.8	61	ＮＤ	<1.8	15	0.095	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	89	4.1	16,000	26	0.16	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.0	75	1.9	4,000	19	0.13	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	6.8	75	ＮＤ	<1.8	13	0.11	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.0	92	1.8	45	19	0.23	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6.9	80	1.3	15	16	0.16	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		6.8～6.9	100～140	2.4～6.0	<1.8～7.8	15～36	0.21～0.29	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		6.9～7.1	130～170	2.2～6.3	4.0～4.0	23～41	0.24～0.26	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ～0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		6.8	170	1.3	2.0	22	0.31	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		6.4～6.8 (6.7)	190～240 (210)	1.4～3.7 (2.4)	－	23～32 (29)	0.24～0.36 (0.31)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	<0.005～0.007 (0.006)	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-E	平成20年度	H20.5.21	7.2	4.9	ＮＤ	<1.8	8.9	0.020	0.011	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20.8.27	7.3	4.1	ＮＤ	<1.8	8.6	0.044	0.018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7.1	4.9	ＮＤ	<1.8	7.7	0.006	0.004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.3	6.2	ＮＤ	2.0	10	0.057	0.017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	5.5	ＮＤ	1.9	9.0	0.033	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7.0	5.2	ＮＤ	<1.8	4.2	0.019	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	6.8	ＮＤ	2.0	9.9	0.10	0.033	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.1	6.2	ＮＤ	<1.8	6.3	0.060	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7.0	8.8	ＮＤ	<1.8	13	0.056	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	16	0.5	2.0	24	0.10	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.1	14	0.5	1.9	19	0.075	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	7.0	16	ＮＤ	<1.8	21	0.064	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.1	25	0.5	28	44	0.15	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.0	22	0.5	8.4	36	0.11	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	7.1	14	ＮＤ	<1.8	25	0.071	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	21	ＮＤ	4.5	32	0.17	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.1	18	ＮＤ	2.5	29	0.099	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		7.0～7.0	15～29	ＮＤ	<1.8	19～46	0.10～0.28	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ～0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		7.2～7.2	1.3～21	ＮＤ～0.5	<1.8～1.8	14～40	0.13～0.20	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		6.9	230	3.5	<1.8	170	0.84	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.049	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		6.6～7.1 (6.9)	140～420 (250)	1.6～9.2 (4.4)	－	98～280 (190)	0.33～0.90 (0.70)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.019～0.06 (0.043)	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
最終処分場からの排水基準等			5.8～8.6	≦90	鉱油類等 ≦35	1,000	≦ 120	≦ 16	≦ 5	ＮＤ	≦0.005	≦ 0.1	≦0.1	≦0.5	≦ 0.1	≦1	≦0.003	≦0.3	≦0.1
検出下限値（ND）			－	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定場所＼測定項目	調査日		ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩素イオン	ダイオキシン類[2]
西海岸 St-A	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	−	−	−	19,000	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,800	1.2
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	0.005	0.001	17,925	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	14,100	2.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND	0.008	0.004	18,800	6.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	0.007	0.001	16,700	4.8
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	18,000～19,200	5.3～9.6
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	0.001～0.001	17,500～18,700	3.6～15
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	0.008	0.001	17,900	9.4
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	〈0.007～0.011（0.009）	〈0.001～0.001（0.001）	17,100～18,600（17,900）	37
北海岸 St-B	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	−	−	8,400	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.008	ND	12,000	0.24
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4,600	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	11,500	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,790	0.27
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	0.010	0.011	9,520	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	0.009	0.006	7,500	1.0
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3,920	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	12,000	1.9
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	7,363	0.96
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	6,300～9,300	0.21～1.0
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND～0.002	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND～0.012	ND	6,600～11,100	0.56～0.97
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	11,100	0.43
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	〈0.001～0.001（0.001）	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	〈0.007～0.041（0.016）	ND	8,700～10,600（9,800）	0.25
北海岸 St-E	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.78	−	−	−	16,400	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.001	17,300	0.083
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,300	0.69
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	ND	ND	0.001	17,400	1.0
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	0.001	15,725	0.88
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	15,800～16,300	0.39～0.88
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	17,200～17,700	0.48～1.7
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	7,900	1.1
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	〈0.0004～0.010（0.0028）	ND	ND	ND	ND	ND	0.004～0.13（0.037）	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	ND	ND	6,300～12,800（8,700）	0.096
最終処分場からの排水基準等			≦0.2	≦0.02	≦0.04	≦0.2	≦0.4	≦3	≦0.06	≦0.02	≦0.1	≦0.06	≦0.03	≦0.2	≦0.1	≦1	≦100	−	−	−	−	
検出下限値（ND）			〈0.002	〈0.0002	〈0.0004	〈0.002	〈0.004	〈0.0005	〈0.0006	〈0.0002	〈0.001	〈0.0006[3]	〈0.0003	〈0.002	〈0.005	〈0.1	〈0.01	〈0.05	〈0.007	〈0.001	−	

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施　平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施　平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施　平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施

2) ダイオキシン類（コプラナーPCBを含む）は、事前環境モニタリングについては1回分（H11.11.29）の測定データである。

3) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/lである。）

表4　豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域底質）

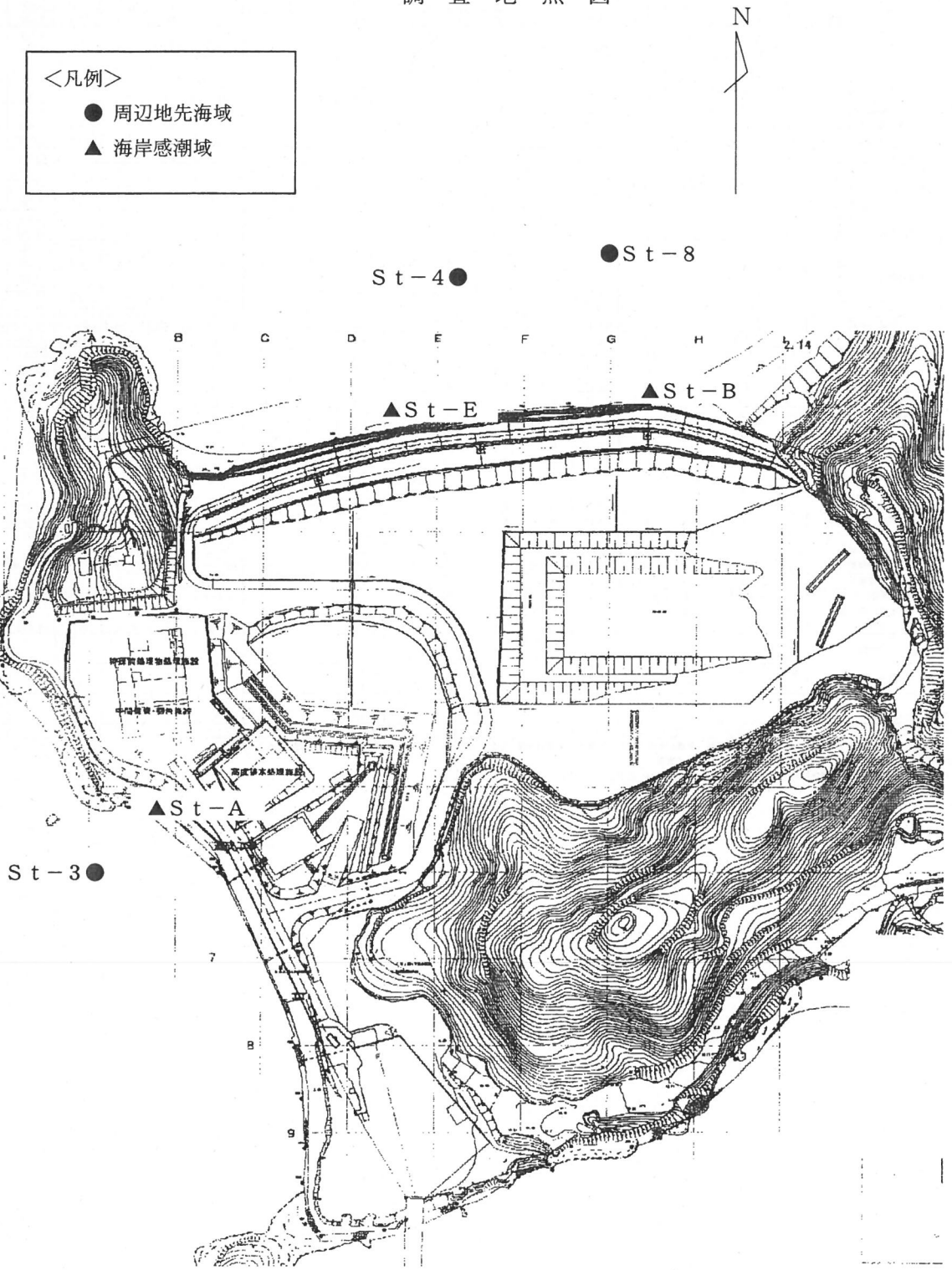
（強熱減量　：%、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等：mg/g・dry、ｐＨを除く単位：　mg/kg・dry）

測定場所＼測定項目	調査日		COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類[2]
西海岸　St-A	平成20年度	H20.8.27	ND	ND	0.5	<0.1	ND	ND	9.5	4.3	ND	ND	ND	ND	130	87	2.5	ND	4,800	120	ND	41
	平成19年度	H19.8.27	0.5	ND	0.4	<0.1	ND	ND	6.8	1.8	ND	ND	ND	ND	81	71	4.2	ND	5,700	125	ND	4.1
	平成18年度	H18.8.8	0.2	<0.01	0.7	<0.1	ND	0.1	27	1.9	ND	ND	ND	ND	95	85	5.5	8	5,800	150	ND	24
	平成17年度	H17.7.21	0.2	<0.01	0.4	<0.1	ND	0.1	14	5.9	ND	ND	ND	ND	110	97	5.3	ND	3,200	29	ND	50
	平成16年度	最小	0.1	<0.01	0.5	<0.1	ND	ND	8.6	2.1	ND	ND	ND	ND	10	11	0.6	ND	2,600	90	ND	30
		最大	0.1	<0.01	0.6	<0.1	ND	ND	21	4.9	ND	0.01	ND	ND	64	97	2.7	ND	3,000	130	ND	120
		平均	0.1	<0.01	0.6	<0.1	ND	ND	15	3.5	ND	0.01	ND	ND	37	54	1.7	ND	2,800	110	ND	75
	平成15年度	最小	0.31	<0.01	0.7	<0.1	ND	ND	12	4.2	ND	ND	ND	ND	89	85	1.3	3.1	3,600	100	ND	47
		最大	0.4	<0.01	0.8	<0.1	ND	ND	14	7.4	ND	ND	ND	ND	170	150	2.7	6.7	9,600	140	ND	120
		平均	0.36	<0.01	0.8	<0.1	ND	ND	13	5.8	ND	ND	ND	ND	130	118	2.0	4.9	6,600	120	ND	84
	平成14年度		0.16～0.43	<0.01～<0.01	0.5～0.6	<0.1～<0.1	ND	ND～0.12	5.2～29	2.1～6.6	ND	ND～0.01	ND	ND	31～170	55～150	1.2～6.1	2.6～7.6	3,800～8,000	80～130	ND	5.4～120
	平成13年度		0.35～0.63	<0.01～<0.01	0.4～0.7	<0.1～<0.1	ND	0.06～0.11	15～19	2.0～3.7	ND	ND～0.01	ND	ND	99～100	120～180	2.7～3.6	7.1～7.2	5,900～6,400	150～170	ND	38～74
	平成12年度		0.28	<0.01	0.5	<0.1	ND	0.06	28	3.4	ND	ND	ND	ND	160	110	6.9	6.8	6,400	180	ND	48
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		0.037～0.24 [0.18]	<0.01～<0.01 [0.01]	0.51～0.79 [0.63]	<0.1～<0.1 [<0.1]	<0.0005～0.03 [0.0079]	<0.001～0.11 [0.053]	10～21 [18]	1.7～4.2 [3.1]	ND	ND	ND	ND	29～130 [84]	54～180 [120]	2.1～2.7 [2.5]	4.5～9.0 [6.3]	4,400～7,000 [5,700]	87～130 [100]	ND	78
北海岸　St-B	平成20年度	H20.8.27	2.1	ND	1.8	<0.1	ND	ND	4.4	2.5	ND	ND	ND	ND	9.5	62	2.5	13	11,000	360	ND	6.2
	平成19年度	H19.8.27	2.9	0.11	2.3	<0.1	ND	ND	3.8	1.5	ND	ND	ND	ND	6.7	72	4.3	ND	11,000	340	ND	12
	平成18年度	H18.8.8	2.2	0.01	1.8	<0.1	ND	ND	4.6	2.0	ND	ND	ND	ND	9.3	63	3.3	11	12,000	420	ND	5.2
	平成17年度	H17.7.21	2.5	0.02	1.3	<0.1	ND	0.1	6.2	2.2	ND	ND	ND	ND	7.7	53	5.8	ND	9,700	790	ND	6.3
	平成16年度	最小	1.7	0.03	1.0	<0.1	ND	ND	7.5	2.3	ND	ND	ND	ND	9.3	42	1.0	6	5,600	310	ND	1.6
		最大	4.4	0.16	2.1	<0.1	0.01	0.12	8.9	5.1	ND	ND	ND	ND	12	83	3.6	12.0	15,000	770	ND	13
		平均	3.1	0.10	1.6	<0.1	0.01	0.11	8.2	3.7	ND	ND	ND	ND	11	63	2.3	9.0	10,000	540	ND	7.3
	平成15年度	最小	2.1	0.03	1.2	<0.1	ND	ND	5.5	1.6	ND	ND	ND	ND	3.9	47	2.3	6.6	7,800	400	ND	1.3
		最大	2.3	0.06	1.8	<0.1	0.01	ND	6.6	3.0	ND	ND	ND	ND	5.5	74	3.2	14	13,000	1,010	ND	2.8
		平均	2.2	0.04	1.5	<0.1	0.01	ND	6.1	2.3	ND	ND	ND	ND	4.7	61	2.8	10	10,400	705	ND	2.1
	平成14年度		1.9～2.5	0.1～0.15	1.1～1.4	<0.1～<0.1	ND	ND～0.06	5.8～7.7	1.6～2.0	ND	ND	ND	ND	5.0～7.0	46～81	1.6～1.7	7.6～11.0	7,500～11,000	270～660	ND	2.7～2.7
	平成13年度		2.7～3.8	0.021～0.12	1.2～2.2	<0.1～0.12	ND～0.01	0.05～0.12	5.9～10	1.9～3.2	ND	ND	ND	ND	5.1～13	52～100	3.1～4.4	7.3～12.0	6,700～8,300	630～1,200	ND	4.0～5.0
	平成12年度		2.4	0.057	1.5	<0.1	0.01	ND	10	2.0	ND	ND	ND	ND	9.4	67	2.6	14.0	11,000	350	ND	3.2
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		2.3～30 [2.7]	0.015～0.11 [0.065]	1.2～1.7 [1.6]	<0.1～0.12 [<0.1]	0.01～0.01 [0.01]	<0.001～0.05 [0.013]	6.4～9.8 [8.4]	2.0～2.6 [2.3]	ND	ND	ND	ND	6.2～9.4 [8.4]	59～76 [68]	1.8～4.0 [2.7]	12～28 [17]	6,200～13,000 [11,000]	340～680 [480]	ND	21
北海岸　St-E	平成20年度	H20.8.27	0.6	ND	0.7	<0.1	ND	0.13	7.6	4.1	ND	ND	ND	ND	88	130	1.0	ND	7,800	270	ND	23
	平成19年度	H19.8.27	1.0	ND	0.6	<0.1	ND	ND	14	3.3	ND	ND	ND	ND	110	92	3.8	ND	5,900	120	ND	79
	平成18年度	H18.8.8	2.2	0.12	1.2	<0.1	ND	ND	5.7	4.9	ND	ND	ND	ND	120	70	4.3	9	9,100	370	ND	54
	平成17年度	H17.7.21	1.0	0.01	0.6	<0.1	ND	ND	6.5	4.6	ND	ND	ND	ND	31	52	2.5	ND	4,700	130	ND	21
	平成16年度	最小	1.1	0.30	0.6	<0.1	ND	ND	4.0	1.9	ND	ND	ND	ND	6.3	31	ND	ND	4,200	150	ND	1.5
		最大	1.5	0.31	0.7	0.1	ND	ND	7.0	4.9	ND	ND	ND	ND	13	52	1.1	5.2	5,500	260	ND	2.4
		平均	1.3	0.31	0.7	0.1	ND	ND	5.5	3.4	ND	ND	ND	ND	9.7	42	0.8	5.1	4,900	210	ND	2.0
	平成15年度	最小	1.3	0.11	0.8	<0.1	ND	ND	5.0	2.6	ND	ND	ND	ND	5.0	37	1.1	2.5	5,700	190	ND	4.9
		最大	1.3	0.15	1.0	0.1	ND	ND	6.0	4.5	ND	ND	ND	ND	20	72	1.2	3.4	7,700	390	ND	7.4
		平均	1.3	0.13	0.9	0.1	ND	ND	5.5	3.6	ND	ND	ND	ND	13	55	1.2	3.0	6,700	290	ND	6.2
	平成14年度		1.9～2.9	0.23～0.73	0.9～1.5	0.17～0.19	ND	0.06～0.07	5.4～8.8	3.6～4.6	ND	ND	ND	ND	7.5～12	58～84	1.7～1.8	5.2～7.6	8,600～13,000	220～320	ND	2.3～5.2
	平成13年度		1.5～2.1	0.054～0.096	0.9～1.1	0.12～0.19	ND	ND～0.06	4.1～4.4	1.9～2.1	ND	ND	ND	ND	4.8～17	32～52	1.4～1.8	3.0～3.5	4,700～5,400	170～200	ND	2.2～2.9
	平成12年度		1.4	0.10	0.9	0.23	ND	ND	73	5.0	ND	ND	ND	ND	26	43	1.7	4.0	7,000	810	ND	1.3
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		1.0～3.0 [1.7]	<0.01～0.31 [0.092]	0.58～0.8 [0.71]	<0.1～0.69 [0.36]	ND	<0.001	2.6～6.2 [4.5]	2.1～4.2 [2.8]	ND	ND	ND	ND	2.8～7.0 [5.0]	19～44 [29]	0.44～1.5 [0.8]	2.6～5.0 [4.2]	2,900～7,000 [4,800]	190～510 [330]	ND	1.8
県内底質[3]	平均値		6.6	0.17	3.7	0.38	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	—	—	—	—	—	32	—	—	<0.1	4.2
	最小～最大		0.32～23	<0.01～1.5	1.0～11	<0.1～1.4	0.01～5.1	<0.05～1.1	5.3～120	0.97～12	<0.1～0.2	<0.001～<0.01	—	—	—	—	—	4.6～65	—	—	<0.1～<0.1	0.52～9.4
環境基準，暫定除去基準			—	—	—	—	12	—	—	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150
検出下限値（ND）			<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	—

1）事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
　平成15年度：H15.7.14、H15.10.24実施　平成16年度：H16.7.29、H16.11.2実施

2）ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類（ｺﾌﾟﾗﾅｰPCBを含む）は、事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞについては1回分（H11.11.29）の測定ﾃﾞｰﾀである。

調 査 地 点 図



S＝1：3000

平成２０年１２月２２日

豊島における周辺環境モニタリング（水質）結果について

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削･運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、平成 20 年 11 月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

１．調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	事前環境モニタリング	平成 10 年 12 月～平成 11 年 12 月（４回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置工事前	平成 12 年 7 月 27 日（木）	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置工事中	平成 13 年 7 月 18 日（水）	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成 14 年 2 月 1 日（金）	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度排水処理施設建設工事中	平成 14 年 7 月 23 日（火）	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成 15 年 2 月 6 日（木）	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成 15 年 5 月 15 日（木）（水質調査）	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 15 年 7 月 14 日（月）（水質調査、底質調査）	
		平成 15 年 10 月 24 日（金）（水質調査、底質調査）	中間処理施設本格稼動後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 16 年 2 月 10 日（火）（水質調査）	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 16 年 6 月 1 日（火）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 16 年 7 月 29 日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 16 年 11 月 2 日（火）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 17 年 1 月 14 日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 17 年 5 月 23 日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 17 年 7 月 21 日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成 17 年 11 月 7 日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年1月18日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年5月26日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日（金）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年11月27日(月)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年1月24日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年6月14日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年8月27日（月）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年11月15日(木)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年1月25日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年5月21日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年8月27日（水）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
今回報告	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成20年11月17日(月)（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

2．調査の概要

（1）調査地点（調査地点図参照）

①周辺地先海域

Ｓｔ－3(西海岸沖)、Ｓｔ－4(北海岸沖) 及びＳｔ－8(北海岸沖)

②海岸感潮域

Ｓｔ－Ａ(西海岸)、Ｓｔ－Ｂ(北海岸)及びＳｔ－Ｅ(北海岸)

（2）検体採取機関及び分析機関

①検体採取機関：県廃棄物対策課、県直島環境センター、県環境保健研究センター

②分 析 機 関：県直島環境センター、県環境保健研究センター、四国計測工業(株)

3．調査結果の概要

（1）周辺地先海域

①水質（表1）

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

・ＤＯが全ての地点において、環境基準を満足しなかった。

・それ以外の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：25項目）

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、全ての地点において検出されたが、環境基準を満足していた。

・それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○その他の項目（4項目）

・ニッケル、モリブデン、アンチモンについては、全て検出されなかった。

○ダイオキシン類

・全ての地点において環境基準を満足していた。

（2）海岸感潮域

①水質（表2）

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（7項目）

・全ての項目について、最終処分場に係る排水基準を満足していた。

○健康項目（25項目）

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、最終処分場からの排水基準を満足していた。

・それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、最終処分場からの排水基準を満足していた。

○その他の項目（4項目）

・ニッケル、アンチモンについては全ての地点で検出されなかったが、モリブデンがＳｔ－Ａで検出された。

○ダイオキシン類

・全ての地点において、最終処分場からの排水基準を満足していた。

表1　豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：pg-TEQ/L、ｐＨを除く単位：mg/L）

測定場所＼測定項目	調査日		pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
南海岸沖　St-1	H13.7.18		7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.5	6.2	ND	<1.8	0.57	0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
西海岸沖　St-3	平成20年度	H20.5.21	8.1	2.3	9.3	ND	2.0	0.22	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.6	6.5	ND	2.0	0.13	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.11.17	8.0	1.8	6.7	ND	<1.8	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	<1.8	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	<1.8	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	<1.8	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	<1.8	0.12	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	<1.8	0.11	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		7.9～8.1	1.6～2.1	6.6～9.2	ND	<1.8	0.10～0.63	0.022～0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.0	1.4～1.6	7.0～9.1	ND	<1.8	0.12～0.13	0.026～0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.6	6.2	ND	<1.8	0.42	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1 (8.0)	1.4～2.0 (1.7)	6.3～8.9 (7.5)	ND	－	0.13～0.28 (0.22)	0.027～0.044 (0.036)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-4	平成20年度	H20.5.21	8.2	2.1	9.7	ND	<1.8	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.6	6.6	ND	4.5	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.11.17	8.0	1.5	6.8	ND	2.0	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	<1.8	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23.0	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	<1.8	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	<1.8	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	<1.8	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	<1.8	0.11	0.015	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.3	1.4～2.0	7.0～9.4	ND	<1.8	0.11～0.19	0.019～0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.1	1.4～1.7	7.0～9.1	ND	<1.8	0.13～0.14	0.026～0.022	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.9	6.7	ND	<1.8	0.17	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1 (8.1)	1.5～2.2 (1.9)	6.5～8.9 (7.6)	ND	－	0.12～0.38 (0.23)	0.026～0.044 (0.034)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-8	平成20年度	H20.5.21	8.2	1.6	9.1	ND	<1.8	0.18	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.8.27	8.2	1.8	6.6	ND	2.0	0.17	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H20.11.17	8.0	1.8	7.1	ND	2.0	0.27	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.1	7.0	ND	<1.8	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.6	8.7	ND	11.0	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	0.5	8.1	ND	<1.8	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.7	8.3	ND	2	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.9	7.2	ND	<1.8	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.6	6.4	ND	<1.8	0.14	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	8.0	1.4	6.9	ND	<1.8	0.14	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.2	1.3～2.0	6.8～9.5	ND	<1.8	0.10～0.20	0.019～0.026	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		8.1	1.7	9.0	ND	<1.8	0.14	0.020	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		8.0～8.1 (8.0)	1.5～2.1 (1.8)	6.5～9.0 (7.6)	ND	<1.8～2.0 (<1.8)	0.12～0.28 (0.21)	0.027～0.044 (0.035)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
家浦港沖　St-5	H13.7.18		8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
環境基準（海域A・II類型）			7.8～8.3	≦2	≧7.5	ND	≦1000	≦0.3	≦0.03	≦0.01[4]	ND	≦0.0005	≦0.01	≦0.01	≦0.05	≦0.01	ND	ND	≦0.03	≦0.01
検出下限値（ND）			－	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定場所＼測定項目	調査日		ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩素イオン	ダイオキシン類[2]
南海岸沖　St-1	H13. 7. 18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	18,300	0.078
	H12. 7. 27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	0.007	0.001	18,500	0.086
西海岸沖　St-3	平成20年度	H20. 5. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	－	18,700	－
		H20. 8. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,600	0.074
		H20. 11. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	18,500	0.071
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	18,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,100	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,500	0.12
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	17,700	0.072
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	ND	18,900	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,275	0.084
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	18,000	0.076
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	ND	19,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	ND	18,700	0.077
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,200	0.079
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.009	ND	18,500	0.20
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,400	0.091
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.001	18,800	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.001	17,775	0.11
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	17,900～19,700	0.077～8.687
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	18,300～18,800	0.079～6.25
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	18,500	0.075
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	ND	<0.007～0.013（0.009）	ND	17,400～18,600（18,000）	0.065
北海岸沖　St-4	平成20年度	H20. 5. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	－	18,600	－
		H20. 8. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.073
		H20. 11. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	ND	18,600	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,000	0.086
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	ND	19,000	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	17,700	0.12
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	17,900～19,300	0.077～0.08
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	18,700～18,800	0.081～0.14
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	ND	0.008～0.012（0.009）	ND	17,200～18,600（17,900）	0.065
北海岸沖　St-8	平成20年度	H20. 5. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	－	18,600	－
		H20. 8. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.074
		H20. 11. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	ND	18,600	0.087
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	17,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	19,000	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	185,000	0.086
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	18,000	0.082
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	18,325	0.088
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	17,300	0.088
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	18,700	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	18,000	0.092
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	0.008	ND	19,600	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.008	ND	18,400	0.31
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,600	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	0.007	0.004	19,000	0.18
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	0.007	0.002	17,600	0.14
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	17,800～18,300	0.077～0.079
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	18,700	0.079
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	ND	0.008～0.010（0.009）	ND	17,300～18,500（17,900）	0.065
家浦港沖　St-5	H13. 7. 18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	17,900	0.41
	H12. 7. 27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	0.007	0.001	18,200	0.084
環境基準（海域A・II類型）			≦0.02	≦0.002	≦0.004	≦0.02	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	－	≦10	－	0.07[3]	0.02[3]	－	≦1
検出下限値（ND）			<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006[5]	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.05	<0.007	<0.001	－	－

1) 事前環境モニタリング：H11. 1. 21、H11. 6. 16、H11. 9. 9、H11. 11. 29実施　平成12年度：H12. 7. 27実施（St-3、St-4）　平成13年度：H13. 7. 18（St-3、St-4）、H14. 2. 1実施　平成14年度：H14. 7. 23、H15. 2. 6実施
平成15年度：H15. 5. 15、H15. 7. 14、H15. 10. 24、H16. 2. 10実施　平成16年度：H16. 6. 1、H16. 7. 29、H16. 11. 2、H17. 1. 14実施　平成17年度：H17. 5. 23、H17. 7. 21、H17. 11. 7、H18. 1. 18実施　平成18年度：H18. 5. 26、H18. 8. 8、H18. 11. 27、H19. 1. 24実施
平成19年度：H19. 6. 14、H19. 8. 27、H19. 11. 15、H20. 1. 25実施

2) ダイオキシン類（コプラナーPCBを含む）は、事前環境モニタリングについては1回分（H11. 11. 29）の測定データである。

3) 要監視項目指針値

4) 生物特Ａ類型（生物Ａ類型の水域のうち、水生生物の産卵場（養殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域）の基準値

5) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。）

表２　豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位；MPN/100ml、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/L、ｐＨを除く単位；mg/L）

測定項目 / 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
西海岸　St-A	平成20年度	H20. 5. 21	7. 9	ＮＤ	ＮＤ	＜1. 8	0. 21	0. 024	0. 026	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 8. 27	7. 7	ＮＤ	ＮＤ	4. 5	0. 32	0. 033	0. 020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 11. 17	7. 6	ＮＤ	ＮＤ	＜1. 8	0. 29	0. 034	0. 004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7. 6	ＮＤ	ＮＤ	＜1. 8	0. 17	0. 024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 8	0. 6	ＮＤ	2. 0	0. 81	0. 052	0. 014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 7	0. 5	ＮＤ	1. 9	0. 41	0. 040	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7. 6	ＮＤ	ＮＤ	＜1. 8	0. 27	0. 037	0. 012	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8. 0	1. 3	ＮＤ	＜1. 8	0. 47	0. 096	0. 028	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 8	0. 8	ＮＤ	＜1. 8	0. 37	0. 068	0. 021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 003	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7. 8	1. 2	ＮＤ	＜1. 8	0. 13	0. 028	0. 010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8. 0	1. 7	ＮＤ	2. 0	0. 43	0. 057	0. 021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 9	1. 5	ＮＤ	1. 9	0. 31	0. 039	0. 016	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	7. 6	0. 6	ＮＤ	＜1. 8	0. 21	0. 035	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 9	1. 9	ＮＤ	2. 0	0. 44	0. 043	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 8	1. 4	ＮＤ	1. 9	0. 29	0. 039	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	7. 8	0. 7	ＮＤ	＜1. 8	0. 08	0. 032	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8. 3	1. 4	ＮＤ	＜1. 8	0. 43	0. 042	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8. 0	1. 1	ＮＤ	＜1. 8	0. 26	0. 036	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		7. 7～8. 4	1. 3～1. 4	ＮＤ	＜1. 8	0. 11～0. 40	0. 045～0. 060	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		7. 4～8. 0	1. 2～1. 7	ＮＤ	＜1. 8	0. 12～0. 25	0. 040～0. 052	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		7. 7	1. 0	ＮＤ	＜1. 8	0. 27	0. 041	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		7. 6～ 8. 0 (7. 8)	1. 0～ 1. 7 (1. 3)	ＮＤ	－	0. 16～ 0. 40 (0. 27)	0. 026～ 0. 065 (0. 047)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-B	平成20年度	H20. 5. 21	7. 1	19	ＮＤ	＜1. 8	5. 8	0. 080	0. 018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 8. 27	7. 1	21	0. 5	49	7. 0	0. 16	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 11. 17	7. 2	20	ＮＤ	7. 8	5. 40	0. 41	0. 017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	6. 9	7. 4	ＮＤ	＜1. 8	3. 0	0. 059	0. 002	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 6	31. 0	0. 6	2. 0	11	0. 20	0. 040	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 2	20. 0	0. 5	2. 0	6. 7	0. 13	0. 013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	6. 8	8. 9	ＮＤ	＜1. 8	3. 2	0. 13	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 4	52. 0	1. 4	4. 5	23	0. 50	0. 022	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 0	38. 7	0. 7	2. 8	12	0. 23	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	6. 8	19	1. 3	＜1. 8	12	0. 15	0. 010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 0	110	2. 9	2. 8	20	0. 24	0. 020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6. 9	70	2. 1	19	15	0. 19	0. 015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	6. 8	61	ＮＤ	＜1. 8	15	0. 095	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 2	89	4. 1	16, 000	26	0. 16	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 0	75	1. 9	4, 000	19	0. 13	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	6. 8	75	ＮＤ	＜1. 8	13	0. 11	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 0	92	1. 8	45	19	0. 23	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6. 9	80	1. 3	15	16	0. 16	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		6. 8～6. 9	100～140	2. 4～6. 0	＜1. 8～7. 8	15～36	0. 21～0. 29	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		6. 9～7. 1	130～170	2. 2～6. 3	4. 0～4. 0	23～41	0. 24～0. 26	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ND～0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		6. 8	170	1. 3	2. 0	22	0. 31	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		6. 4～ 6. 8 (6. 7)	190～ 240 (210)	1. 4～ 3. 7 (2. 4)	－	23～ 32 (29)	0. 24～ 0. 36 (0. 31)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	＜0. 005～ 0. 007 (0. 006)	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-E	平成20年度	H20. 5. 21	7. 2	4. 9	ＮＤ	＜1. 8	8. 9	0. 020	0. 011	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 8. 27	7. 3	4. 1	ＮＤ	＜1. 8	8. 6	0. 044	0. 018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H20. 11. 17	7. 2	5. 4	ＮＤ	＜1. 8	9. 8	0. 036	0. 013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7. 1	4. 9	ＮＤ	＜1. 8	7. 7	0. 006	0. 004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 3	6. 2	ＮＤ	2. 0	10	0. 057	0. 017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 3	5. 5	ＮＤ	1. 9	9. 0	0. 033	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7. 0	5. 2	ＮＤ	＜1. 8	4. 2	0. 019	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 2	6. 8	ＮＤ	2. 0	9. 9	0. 10	0. 033	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 1	6. 2	ＮＤ	＜1. 8	6. 3	0. 060	0. 013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7. 0	8. 8	ＮＤ	＜1. 8	13	0. 056	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 2	16	0. 5	2. 0	24	0. 10	0. 009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 1	14	0. 5	1. 9	19	0. 075	0. 008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	7. 0	16	ＮＤ	＜1. 8	21	0. 064	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 1	25	0. 5	28	44	0. 15	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 005	ＮＤ	0. 007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 0	22	0. 5	8. 4	36	0. 11	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 005	ＮＤ	0. 006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	7. 1	14	ＮＤ	＜1. 8	25	0. 071	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7. 2	21	ＮＤ	4. 5	32	0. 17	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7. 1	18	ＮＤ	2. 5	29	0. 099	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		7. 0～7. 0	15～29	ＮＤ	＜1. 8	19～46	0. 10～0. 28	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ND～0. 005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		7. 2～7. 2	1. 3～21	ND～0. 5	＜1. 8～1. 8	14～40	0. 13～0. 20	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		6. 9	230	3. 5	＜1. 8	170	0. 84	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 049	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		6. 6～ 7. 1 (6. 9)	140～ 420 (250)	1. 6～ 9. 2 (4. 4)	－	98～ 280 (190)	0. 33～ 0. 90 (0. 70)	－	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0. 019～ 0. 06 (0. 043)	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
最終処分場からの排水基準等			5. 8～ 8. 6	≦90	鉱油類等 ≦35	1, 000	≦ 120	≦ 16	≦ 5	ＮＤ	≦0. 005	≦ 0. 1	≦0. 1	≦0. 5	≦ 0. 1	≦1	≦0. 003	≦0. 3	≦0. 1
検出下限値（ND）			－	＜0. 5	＜0. 5	＜1. 8	＜0. 05	＜0. 003	＜0. 002	＜0. 0005	＜0. 0005	＜0. 001	＜0. 005	＜0. 02	＜0. 005	＜0. 1	＜0. 0005	＜0. 002	＜0. 0005

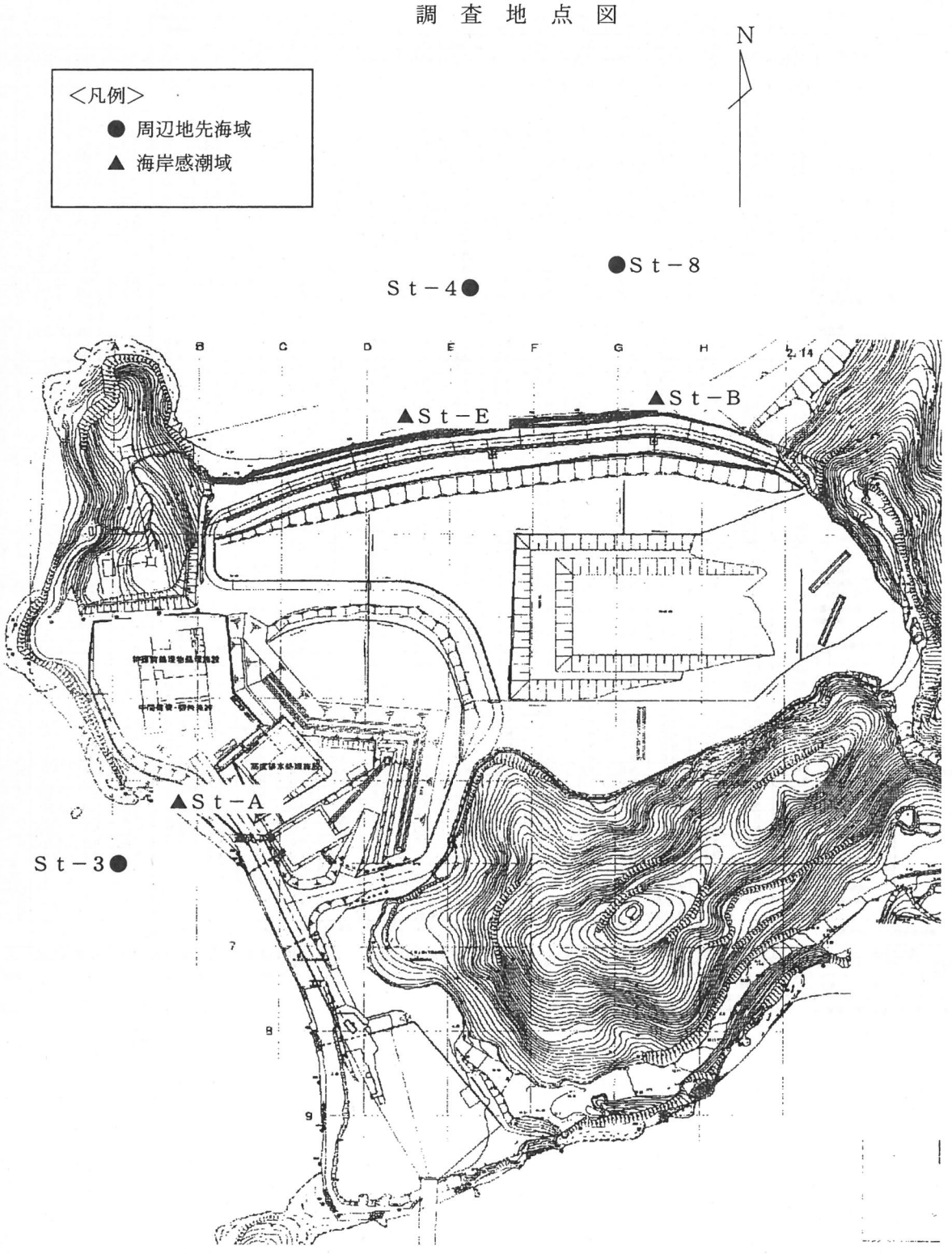
測定項目 / 測定場所	調査日		ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩素イオン	ダイオキシン類[2]
西海岸 St-A	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	−	−	−	19,000	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	ND	18,800	1.2
		H20.11.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	0.009	ND	19,600	0.12
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	0.005	0.001	17,925	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	14,100	2.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND	0.008	0.004	18,800	6.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	0.007	0.001	16,700	4.8
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	18,000～19,200	5.3～9.6
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	0.001～0.001	17,500～18,700	3.6～15
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	0.008	0.001	17,900	9.4
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	<0.007～0.011 (0.009)	<0.001～0.001 (0.001)	17,100～18,600 (17,900)	37
北海岸 St-B	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	−	−	8,400	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.008	ND	12,000	0.24
		H20.11.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	10,100	0.23
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4,600	0.57
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	11,500	1.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,790	0.27
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	0.010	0.011	9,520	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	0.009	0.006	7,500	1.0
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3,920	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	12,000	1.9
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	7,363	0.96
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	6,300～9,300	0.21～1.0
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	NO～0.002	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	NO～0.012	ND	6,800～11,100	0.56～0.97
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	11,100	0.43
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<0.001～0.001 (0.001)	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	<0.007～0.041 (0.016)	ND	8,700～10,600 (9,800)	0.25
北海岸 St-E	平成20年度	H20.5.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.78	−	−	−	16,400	−
		H20.8.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.001	17,300	0.083
		H20.11.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	16,800	0.077
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,300	0.69
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	ND	ND	0.001	17,400	1.0
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	0.001	15,725	0.88
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	15,800～16,300	0.39～0.88
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	17,200～17,200	0.48～1.7
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	−	ND	ND	ND	7,900	1.1
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	<0.0004～0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	0.004～0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	−	−	ND	ND	ND	6,300～12,800 (8,700)	0.096
最終処分場からの排水基準等			≦0.2	≦0.02	≦0.04	≦0.2	≦0.4	≦3	≦0.06	≦0.02	≦0.1	≦0.06	≦0.03	≦0.2	≦0.1	≦1	≦100	−	−	−	−	≦10
検出下限値（ND）			<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.00063)	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.05	<0.007	<0.001	−	−

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施　平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施　平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施　平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施

2) ダイオキシン類（コプラナーPCBを含む）は、事前環境モニタリングについては1回分（H11.11.29）の測定データである。

3) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。）

調 査 地 点 図



S＝1：3000

平成 20 年 12 月 27 日

作業環境測定結果（平成 20 年 7 月～20 年 11 月）

Ⅰ．常時監視

（1）ガス検知管による測定（ﾍﾞﾝｾﾞﾝ等 6 項目）

調査地点	調査回数	調査結果
掘削・混合地点	6	管理基準を満足
中間保管・梱包施設	１８	管理基準を満足
中間処理施設	6	管理基準を満足

（2）ガス検知器による測定（酸素濃度等 4 項目）

調査地点	調査回数	調査結果
掘削・混合地点	１８	管理基準を満足
中間保管・梱包施設	５４	管理基準を満足
中間処理施設	１８	管理基準を満足

（3）デジタル粉じん計による測定（粉じん）

調査地点	調査回数	調査結果
掘削・混合地点	１２	管理基準を満足
中間保管・梱包施設	３６	管理基準を満足
中間処理施設	１２	管理基準を満足

Ⅱ．定期監視

調査地点	調査項目	調査日	調査結果
掘削・混合地点	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査	H20. 9. 11	粉じん、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の 2 項目 管理基準を満足
	個人暴露量調査	H20. 9. 11 H20. 9. 12 H20. 11. 27	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ等 3 項目（各 3 名） 許容濃度を満足
中間保管・梱包施設	騒音	H20. 10. 8	第 1 管理区分
中間処理施設	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査	H20. 7. 22 H20. 7. 24	粉じん、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の 2 項目 1 階溶融炉室：第 1 管理区域 3 階ﾛｰﾀﾘｰｷﾙﾝ：第 1 管理区域 3 階ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ：第 3 管理区域※
		H20. 8. 14	粉じん、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の 2 項目 3 階ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ：第 1 管理区域※

※平成 20 年 7 月 24 日に調査した中間処理施設 3 階プラットホームのダイオキシン類の結果で第 3 管理区域と評価されたことについて、豊島廃棄物等処理事業 健康管理委員会委員長に報告のうえ、H20. 11. 10 に健康管理委員会職場巡視で、作業環境安全対策を確認した。調査内容及び対応については別紙参照。

別　紙

作業環境測定(直島中間処理施設)におけるダイオキシン類の基準超過について

1. 調査概要

平成 20 年 7 月 24 日の直島中間処理施設の定期作業環境測定において、3 階プラットホームで、ダイオキシン類の第 2 評価値が基準値(2.5pg-TEQ/m³)を超過し、第 3 管理区域であると評価された。

このため、平成 20 年 8 月 14 日に超過原因究明調査を行うとともに、3 階プラットホームの作業環境測定を再度実施した。この結果、豊島側、直島側ともダイオキシン類や粉じんの測定値に異常はなく、また、3 階プラットホームも基準値に適合し、第1管理区域と評価された。

なお、従来から 3 階プラットホームでは、作業員は防じん・防毒マスク等を着用しており、今回の調査結果による健康上の影響はない。

表1　中間処理施設 3 階プラットホームにおける作業環境測定結果

測定日	ダイオキシン類実測濃度	第1評価値	第2評価値	基準値
H20.7.24	2.8	8.937	2.891	2.5
H20.8.14	0.3	1.805	0.504	

単位:pg-TEQ/m³

2. 原因究明調査結果

・平成 20 年 8 月 14 日の作業環境測定結果では、表 2 のとおりダイオキシン類、粉じんはいずれの地点も基準値に適合しており、廃棄物の性状に変化はないものと推定された。

・また、基準を超過した 7 月 24 日の作業環境管理状況調査では、空調設備の運転、清掃、廃棄物搬入作業は通常通り行われていた。

・平成 16 年 1 月から 20 年 8 月までの計 11 回にわたる中間処理施設 4 地点の調査結果でダイオキシン類が基準を超過したのは今回の 1 検体のみであり、原因は特定できなかったが、一時的に高くなったものと推定される。

表 2　H20.8.14 超過原因究明調査測定結果

測定場所	ダイオキシン類実測濃度	粉じん
中間処理施設:3階プラットホームNo.15	0.3	0.22
中間処理施設:3階可燃物コンベヤ付近	0.73	0.05
豊島:掘削混合地点	0.74	0.28
基準値	2.5	1.7

注1)単位は、ダイオキシン類は pg-TEQ/m³、粉じんは mg/m³である。

注 2)粉じんはハイボリュームエアサンプラーによる測定値である。

3. 作業環境の評価と対応

(1)3 階プラットホーム管理区域の評価

7 月 24 日の基準超過により、一時的に第 3 管理区域の対応をしていたが、8 月 14 日測定の結果では従来の測定値に戻っていることから、**第1管理区域として取り扱う。**

(2)作業環境安全対策

①豊島廃棄物搬入作業前に空調設備の運転状況を確認する。

②今後とも 3 階プラットホームは、豊島廃棄物搬入作業前に水洗浄による清掃を徹底する。

③「Ⅱ-20 作業環境管理マニュアル」に定められた保護具を必ず着用する。

④2週間に1度、3 階プラットホームで粉じんの測定を行い、異常値を確認した場合は原因究明のうえ、早急に適切な対策を実施することとする。

（参考）調査項目および管理基準値

調査の種類	項　　目　　名	管理基準値
ガス検知管による測定	ベンゼン	１ppm未満
	トリクロロエチレン	５０ppm未満
	1,1,1-トリクロロエタン	２００ppm未満
	酢酸エチル	２００ppm未満
	アセトアルデヒド	５０ppm未満
	水素	０．５％未満
ガス検知器による測定	硫化水素	５ppm 未満
	酸素濃度	１８％以上
	一酸化炭素	５０ppm 未満
	メタンガス	０．５％未満
デジタル粉じん計による測定	粉じん	１．７mg/m³未満
騒音調査	騒音	８５dB(A)未満
作業環境モニタリング	ベンゼン	１ppm未満
	トリクロロエチレン	５０ppm未満
	1,1,1-トリクロロエタン	２００ppm未満
	酢酸エチル	２００ppm未満
	アセトアルデヒド	５０ppm未満
	アンモニア	２５ppm未満
	メチルイソブチルケトン	５０ppm未満
	トルエン	５０ppm未満
	キシレン	１００ppm未満
	メチルメルカプタン	０．５ppm未満
	ジクロロメタン	１００ppm未満
	シス-1,2-ジクロロエチレン	１５０ppm未満
	1,1,2-トリクロロエタン	１０ppm未満
	テトラクロロエチレン	５０ppm未満
	イソブタノール	５０ppm未満
	カドミウム及びその化合物	０．０５mg/m³未満
	鉛及びその化合物	０．０５mg/m³未満
	水銀及びその化合物	０．００２５mg/m³未満
	砒素及びその化合物	３μg/m³未満
	ニッケル及びその化合物	１mg/m³未満
	クロム及びその化合物	０．５mg/m³未満
	カルシウム及びその化合物	５mg/m³未満
	粉じん	１．７mg/m³未満
	粉じん中のダイオキシン類	２．５pg-TEQ/m³未満
個人暴露量調査（許容濃度）	ベンゼン	０．５ppm未満
	トリクロロエチレン	５０ppm未満
	テトラクロロエチレン	２５ppm未満

表１－１ 作業環境測定結果（ｶﾞｽ検知管による測定結果）（GL＋1.0m）

1．掘削地点

調査年月	調査地点	調査回数	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	酢酸ｴﾁﾙ	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	水素	備考
平成20年9月	掘削･混合地点	2	ND～ND (ND)						
平成20年10月	掘削･混合地点	2	ND～ND (ND)						
平成20年11月	掘削･混合地点	2	ND～ND (ND)						
基準値			1未満	50未満	200未満	200未満	50未満	0.5未満	
ガス検知管の検知範囲			0.125～60	0.125～8.8	7～660	25～800	1～20	0.5～2.0	

2．中間保管・梱包施設

調査年月	調査地点	調査回数	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	酢酸ｴﾁﾙ	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	水素	備考
平成20年9月	積込室	2	ND～ND (ND)						
	保管ﾋﾟｯﾄ(投入扉小窓)	2	ND～ND (ND)						
	特殊前処理室	2	ND～ND (ND)						
平成20年10月	積込室	2	ND～ND (ND)						
	保管ﾋﾟｯﾄ(投入扉小窓)	2	ND～ND (ND)						
	特殊前処理室	2	ND～ND (ND)						
平成20年11月	積込室	2	ND～ND (ND)						
	保管ﾋﾟｯﾄ(投入扉小窓)	2	ND～ND (ND)						
	特殊前処理室	2	ND～ND (ND)						
基準値			1未満	50未満	200未満	200未満	50未満	0.5未満	
ガス検知管の検知範囲			0.125～60	0.125～8.8	7～660	25～800	1～20	0.5～2.0	

3．中間処理施設

調査年月	調査地点	調査回数	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	酢酸ｴﾁﾙ	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	水素	備考
平成20年9月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	2	ND～ND (ND)						
平成20年10月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	2	ND～ND (ND)						
平成20年11月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	2	ND～ND (ND)						
基準値			1未満	50未満	200未満	200未満	50未満	0.5未満	
ガス検知管の検知範囲			0.125～60	0.125～8.8	7～660	25～800	1～20	0.5～2.0	

注１）測定結果は最小～最大、括弧内は平均値を示す。NDとは、検知限度値未満を示す。単位は水素(%)を除き、ppmである。

注２）基準値とは、作業環境管理マニュアルにおいて、作業環境評価基準及び日本産業衛生学会許容濃度等の勧告の数値を参考に定めたものである。平成17年4月1日以降の基準値を記載している。

水素の基準値は、第20回豊島廃棄物等技術委員会(H16.3.28)において定めたものである。

表1-2 作業環境測定結果（ガス検知器による測定結果）（GL＋1.0m）

1．掘削地点

調査年月	調査地点	調査回数	硫化水素	酸素濃度	一酸化炭素	ﾒﾀﾝｶﾞｽ	備考
平成20年9月	掘削･混合地点	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年10月	掘削･混合地点	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年11月	掘削･混合地点	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
基準値			5未満	18以上	50未満	0.5未満	

2．中間保管・梱包施設

調査年月	調査地点	調査回数	硫化水素	酸素濃度	一酸化炭素	ﾒﾀﾝｶﾞｽ	備考
平成20年9月	積込室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
	保管ﾋﾟｯﾄ (投入扉小窓)	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	1～4 (2)	0.00～0.05 (0.03)	
	特殊前処理室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年10月	積込室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.05 (0.03)	
	保管ﾋﾟｯﾄ (投入扉小窓)	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～2 (1)	0.05～0.05 (0.05)	
	特殊前処理室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年11月	積込室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～10 (2)	0.00～0.00 (0.00)	
	保管ﾋﾟｯﾄ (投入扉小窓)	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～7 (3)	0.05～0.05 (0.05)	
	特殊前処理室	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～0 (0)	0.00～0.00 (0.00)	
基準値			5未満	18以上	50未満	0.5未満	

3．中間処理施設

調査年月	調査地点	調査回数	硫化水素	酸素濃度	一酸化炭素	ﾒﾀﾝｶﾞｽ	備考
平成20年9月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	6	0.0～0.0 (0.0)	20.8～20.9 (20.8)	2～4 (3)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年10月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	6	0.0～0.0 (0.0)	20.8～20.9 (20.9)	0～2 (1)	0.00～0.00 (0.00)	
平成20年11月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	6	0.0～0.0 (0.0)	20.9～20.9 (20.9)	0～3 (1)	0.00～0.00 (0.00)	
基準値			5未満	18以上	50未満	0.5未満	

注１）測定結果の上段は最小～最大、下段の括弧内は平均値を示す。単位は、硫化水素及び一酸化炭素はppm、酸素濃度及びﾒﾀﾝｶﾞｽは％である。

注２）メタンガスは、メタンガス爆発下限界5％を100％LELとして、測定結果（％LEL）を％濃度に換算した。

注３）調査回数は、1日に複数回調査を実施した場合、それぞれ1回として計上している。

注４）基準値とは、作業環境管理マニュアルにおいて、作業環境評価基準及び日本産業衛生学会許容濃度等の勧告の数値を参考に定めたものである。平成17年4月1日以降の基準値を記載している。
メタンガスの基準値は、第20回豊島廃棄物等技術委員会(H16.3.28)において定めたものである。

表1-3 作業環境測定結果（デジタル粉じん計による測定結果）

1．掘削地点

調査年月	調　査　地　点	調査回数	粉じん	備　考
平成20年9月	掘削･混合地点	4	0.020～0.095 (0.059)	
平成20年10月	掘削･混合地点	4	0.065～0.247 (0.150)	
平成20年11月	掘削･混合地点	4	0.049～0.131 (0.086)	
基　準　値			1.7	

2．中間保管・梱包施設

調査年月	調　査　地　点	調査回数	粉じん	備　考
平成20年9月	積込室	4	0.071～0.171 (0.107)	
	投入前室	4	0.157～0.197 (0.174)	
	特殊前処理室	4	0.045～0.103 (0.074)	
平成20年10月	積込室	4	0.113～0.143 (0.129)	
	投入前室	4	0.166～0.199 (0.183)	
	特殊前処理室	4	0.043～0.053 (0.05)	
平成20年11月	積込室	4	0.022～0.099 (0.059)	
	投入前室	4	0.128～0.209 (0.172)	
	特殊前処理室	4	0.044～0.081 (0.068)	
基　準　値			1.7	

3．中間処理施設

調査年月	調　査　地　点	調査回数	粉じん	備　考
平成20年9月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	4	0.080～0.163 (0.119)	
平成20年10月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	4	0.160～0.174 (0.167)	
平成20年11月	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	4	0.137～0.167 (0.156)	
基　準　値			1.7	

注１）測定結果の上段は最小～最大、下段の括弧内は平均値を示す。単位は、mg/m³である。
〔1mg/m³＝1,000cps(cps：10分間のｶｳﾝﾄ値の平均)にK値(2.2)を乗じた。〕

注２）調査回数は、1日に複数回調査を実施した場合、それぞれ1回として計上している。

表2 中間保管･梱包施設における騒音の調査結果

調査地点名		中間保管･梱包施設
		H20. 10. 8
A測定	1	76. 8
	2	80. 1
	3	76. 8
	4	77. 3
	5	75. 0
	算術平均値	80. 1
	パワー平均値	77. 5
B測定	切断機	76. 8
	自走式ｸﾗｯｼｬ	
	洗浄装置	
	最大値	76. 8
	パワー平均値	76. 8
管理基準値		85
管理区分の評価		第1管理区分

注１） 単位はdB(A)である。

注２） 「騒音障害防止のためのガイドライン」に基づき、
算術平均において80dB(A)未満の地点は除いた。

表3 中間処理施設における粉じんの測定結果及びダイオキシン類の換算結果

調査年月日		平成20年8月14日		平成20年7月24日				平成20年7月22日	
調査地点名		プラットホーム（３階）		溶融炉室（１階）		プラットホーム（３階）		ロータリーキルン（３階）	
		粉じん	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	粉じん	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	粉じん	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	粉じん	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
	1	0.052	0.23	0.037	0.19	0.094	1.63	0.079	0.19
	2	0.044	0.19	0.041	0.21	0.097	1.69	0.079	0.19
	3	0.033	0.15	0.038	0.19	0.101	1.76	0.064	0.15
	4	0.079	0.35	0.034	0.17	0.093	1.62	0.068	0.16
	5	0.027	0.12	0.034	0.17	0.106	1.84	0.064	0.15
	6	0.055	0.24	0.035	0.18	0.134	2.33	0.076	0.18
	7	0.018	0.08	0.036	0.18	0.086	1.50	0.061	0.14
	8	0.028	0.12	0.034	0.17	0.097	1.69	0.062	0.15
	9	0.036	0.16	0.034	0.17	0.152	2.64	0.061	0.14
	10	0.02	0.09	0.041	0.21	0.079	1.37	0.065	0.15
	11	0.028	0.12	0.054	0.28	0.080	1.39	0.062	0.15
A	12	0.033	0.15	0.055	0.28	0.081	1.41		
	13	0.063	0.28	0.045	0.23	0.085	1.48		
	14	0.078	0.34	0.044	0.22	0.177	3.08		
	15	0.068	0.30	0.043	0.22	0.161	2.80		
	16	0.081	0.36	0.051	0.26	0.161	2.80		
	17	0.077	0.34	0.044	0.22	0.154	2.68		
	18	0.132	0.58	0.045	0.23	0.196	3.41		
	19	0.097	0.43	0.051	0.26	0.205	3.57		
	20	0.037	0.16	0.039	0.20	0.190	3.30		
	21	0.166	0.73	0.061	0.31	0.424	7.37		
	22	0.041	0.18	0.051	0.26	0.224	3.90		
測	23	0.035	0.15	0.020	0.10	0.204	3.55		
	24	0.022	0.10	0.022	0.11	0.329	5.72		
	25	0.035	0.15	0.025	0.13	0.219	3.81		
	26	0.049	0.22	0.025	0.13	0.106	1.84		
	27	0.021	0.09	0.052	0.27	0.045	0.78		
	28	0.02	0.09	0.034	0.17	0.032	0.56		
	29	0.025	0.11	0.032	0.16	0.044	0.77		
	30	0.022	0.10	0.028	0.14	0.035	0.61		
	31	0.023	0.10	0.043	0.22	0.031	0.54		
	32	0.02	0.09	0.047	0.24	0.044	0.77		
	33	0.027	0.12	0.039	0.20	0.037	0.64		
定	34	0.022	0.10	0.033	0.17	0.041	0.71		
	35	0.023	0.10	0.040	0.20	0.026	0.45		
	36	0.77	3.40	0.048	0.24	0.238	4.14		
	37	0.534	2.36	0.041	0.21	0.094	1.63		
	38	1.283	5.66	0.035	0.18	0.274	4.77		
	39	0.467	2.06	0.033	0.17	0.093	1.62		
	40			0.041	0.21				
	D値		4.412		5.098		17.391		2.344
	幾何平均値M_i	0.052	0.230	0.039	0.196	0.103	1.798	0.067	0.157
	幾何標準偏差σ	2.885	2.885	1.281	1.281	2.035	2.035	1.108	1.
	第1評価値	0.409	1.805	0.124	0.633	0.514	8.937	0.204	0.477
	第2評価値	0.114	0.504	0.050	0.253	0.166	2.891	0.084	0.197
管理区域		第1管理区域		第1管理区域		第3管理区域		第1管理区域	

注１）単位は、粉じんはmg/m³、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はpg-TEQ/m³である。

注２）粉じんの管理基準値：1.7mg/m³未満、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の管理基準値：2.5pg-TEQ/m³未満

注３）粉じんはﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計により測定した結果(1,000cps=1mg/m³、cps:10分間のｶｳﾝﾄ値の平均)にK値(2.2)を乗じた。

注４）ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はﾊｲﾎﾞﾘｭｳﾑｴｱｻﾝﾌﾟﾗｰにより粉じんと併行測定した結果から得られたD値より計算したものである。下線を付したものが併行測定した地点である。

表4 掘削･混合地点における粉じん及びダイオキシン類の調査結果

採取地点	採取年月日	粉じん濃度（mg／m³）	ダイオキシン類濃度（pg-TEQ/m³）	天候	作業内容	備考
掘削・混合地点	H20.9.11 9:10～16:10	0.21	0.92 （ガス状濃度0.22） （粒子状濃度0.71）	晴	廃棄物等の掘削及び篩い分け	

（注１）ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の管理基準値：2.5pg-TEQ/m³

（注２）試料採取は、ﾊｲﾎﾞﾘｭｳﾑｴｱｻﾝﾌﾟﾗｰで行った。（７時間採取）

（注３）ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の測定結果で、ｶﾞｽ状物質濃度と粒子状濃度の合計と測定濃度が一致しないのは、実測濃度が検出下限値未満の場合、検出下限値の1/2を用いて積算され、集計結果に差が生ずることがあるためである。

表5　個人暴露量調査結果

区分	対　象　者	採取日	採取時間	測定値（μg/m³）			換算値（ppm）25℃、１気圧		
				ベンゼン	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ベンゼン	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ
	ﾊﾞｯｸﾎｳｵﾍﾟﾚｰﾀA	H20.9.11	9:00～15:00	4.2	0.29	0.09	0.0013	0.00005	0.00001
	ﾊﾞｯｸﾎｳｵﾍﾟﾚｰﾀB	H20.9.11	9:00～15:00	17.9	0.25	0.13	0.0055	0.00005	0.00002
	ﾀｲﾔｼｮﾍﾞﾙ運転手	H20.9.12	9:00～15:00	14.2	0.37	0.22	0.0044	0.00007	0.00003
	ﾊﾞｯｸﾎｳｵﾍﾟﾚｰﾀ	H20.11.27	9:00～15:30	36.9	0.15	0.17	0.011	0.00003	0.00002
	ﾀｲﾔｼｮﾍﾞﾙ運転	H20.11.27	9:00～15:30	6.5	0.15	0.18	0.0020	0.00003	0.00003
	運搬ﾀﾞﾝﾌﾟ運転手	H20.11.27	9:00～15:30	4.7	0.18	0.18	0.0015	0.00003	0.00003
許容濃度				1,625	272,917	172,917	0.5	50	25
環境基準				0.003	0.2	0.2	0.0009	0.034	0.027

注）許容濃度はACGIH（米国産業衛生専門家会議）による。

資料１７・Ⅱ／５－３
平成２０年１２月２７日

緊急時等の報告（正式評価）について

『緊急時等の評価（分類）基準と関係者へのレベル表示』（平成 18 年 3 月 29 日第 8 回管理委員会審議済）の運用方針に従い、第 15 回管理委員会（平成 20 年 9 月 14 日開催）からこれまでに関係者に通報した８件について、緊急時等への対応が終了したので正式評価（分類）を実施し、次のとおり報告する。

なお、今回の報告する８件については、いずれも暫定評価と同じ評価結果であった。

①　労災の発生について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 直島環境センターの分析室で事故が発生しましたので、下記のとおり報告します。 1　日時　　平成 20 年 9 月 1 日（月）午前 11 時 30 分頃 2　被災者　直島環境センター　嘱託職員 3　傷病名　左前腕火傷（治療見込み 1 週間） 4　場所　　直島環境センター分析室　乾燥器前 5　状況　　成分分析に供するためのスラグを乾燥器（110℃）に入れ乾燥を行う工程において、均一に乾燥させるためにアルミパットの入れ替え作業を行っていたところ、熱いものを扱うため保護用軍手を着用していたが、夏季であることから白衣の袖を捲り上げていたため、左前腕内側がアルミパットに接触し火傷を負った。直後、水冷を行い、軽度の火傷と判断し、病院へ行かなかったが、3 日後になって赤く腫れてきたため、直島町内の診療所で治療を受け、細菌により化膿していることから通院が必要となった。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：２．軽度 基準の逸脱等：１．問題なし 事業進捗への影響：１．問題なし
＜今後の対応＞ 分析室においては作業衣、白衣等の正しい着用を徹底する。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：２．軽度 基準の逸脱等：１．問題なし 事業進捗への影響：１．問題なし
＜処理事業への影響＞ 今回の労災では、緊急搬送等の対応は要しなかったが、軽度の火傷により 1 週間の通院治療が必要であったため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。	

<table>
<tr><td>② 1号及び2号溶融炉の緊急停止及び処理の再開について</td><td>評価レベル</td></tr>
<tr><td>＜異常時緊急時等の通報内容＞
平成20年9月21日10時58分、中国電力送電線（玉野市）への落雷に伴う電圧降下のため、稼動中の1号及び2号溶融炉が緊急停止しました。
施設の安全を確認した後、本日11時15分から1号及び2号溶融炉ともに昇温を開始し、12時3分から2号溶融炉が、13時8分から1号溶融炉が溶融を再開しました。</td><td>＜暫定評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td><td>2．軽度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜修復作業の内容＞
施設稼動状況について点検を実施した。</td><td rowspan="2">＜正式評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td><td>2．軽度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜処理事業への影響＞
今回の修復作業による溶融処理停止期間は、1号炉では9月21日13時8分までの2時間10分であり、2号炉では9月21日12時3分までの1時間5分であった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③ 豊島処分場の停電について</td><td>評価レベル</td></tr>
<tr><td>＜異常時緊急時等の通報内容＞
平成20年9月21日10時58分、中国電力送電線（玉野市）への落雷に伴う電圧降下のため、高度排水処理施設が一時停止しました。施設の稼動状況等について点検しましたが、10時59分、施設等に異常はなく正常に稼動していることを確認しました。</td><td>＜暫定評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜修復作業の内容＞
施設稼動状況について点検を実施した。</td><td rowspan="2">＜正式評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td><td>1．問題なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜処理事業への影響＞
今回の停電による溶融処理への影響は無かった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。</td></tr>
</table>

④　２号溶融炉第１スラグコンベアの停止について１号溶融炉	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成 20 年 9 月 26 日 22 時頃、２号溶融炉２次燃焼室に付着したクリンカ（燃焼したスラグの石筍）が第１スラグコンベアに落下し、第１スラグコンベアが停止しました。このため、22 時 30 分頃から２号溶融炉を降温し、炉内温度 1000℃のキープ運転（廃棄物の投入停止）として修復作業を実施しています。なお、このことによる周辺環境への影響はありません。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：１．問題なし 事業進捗への影響：２．軽度
＜修復作業の内容＞ コンベヤの総点検、破損箇所の部品交換等の修復作業を行い、施設の安全を確認の上、27 日 17 時から立上げを開始した。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：１．問題なし 事業進捗への影響：２．軽度
＜処理事業への影響＞ 今回の修復作業による溶融処理停止期間は、9 月 27 日 20 時までの 21 時間 30 分であった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。	

⑤　キルン炉の窒素酸化物濃度が要監視レベルを超えた件について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成 20 年 9 月 27 日 19 時頃、キルン炉の窒素酸化物濃度が要監視レベル（中間処理施設の運転状況の監視を強化しながら本来の性能を発揮させる改善対策を実施するレベル）を超えましたが、20 時頃、正常レベルに回復しました。また、9 月 28 日 6 時頃、再度、キルン炉の窒素酸化物濃度が要監視レベルを超えましたが、7 時頃、正常レベルに回復しました。この原因については、キルン炉へのピット汚水の噴霧が一時的に不具合になったことによるものです。なお、このことによる周辺環境への影響はありません。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：２．軽度 事業進捗への影響：１．問題なし

＜修復作業の内容＞
キルン炉内への水噴霧を復旧し、廃棄物の投入ペースを調節することによって、通常時の運転状況を回復させた。

＜処理事業への影響＞
今回の修復作業による溶融処理への影響はなかった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。

＜正式評価（分類）＞

人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響
1．問題なし	2．軽度	1．問題なし

⑥　1号溶融炉スラグ搬出コンベアの不具合について	評価レベル

＜異常時緊急時等の通報内容＞
（第1報）平成20年10月3日午前2時30分頃、1号溶融炉の第一スラグ搬出コンベアに不具合が生じたので、炉内温度1000℃のキープ運転（廃棄物の投入停止）を行い、修復作業を実施しています。なお、このことによる周辺環境への影響はありません。

（第2報）1号溶融炉については、第一スラグ搬出コンベアの不具合を解消し、10月3日午前10時50分に昇温を開始していましたが、午後0時30分頃、再度、同コンベアに不具合が生じたので、炉内温度1000℃のキープ運転（廃棄物の投入停止）を継続し、修復作業を実施しています。なお、このことによる周辺環境への影響はありません。

＜暫定評価（分類）＞

人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響
1．問題なし	1．問題なし	2．軽度

＜修復作業の内容＞
脱落していた水砕水槽蓋を撤去し、コンベヤの総点検及び破損箇所の部品交換を実施した。施設の安全を確認のうえ、10月5日2時から立上げを開始した。

＜処理事業への影響＞
今回の修復作業による溶融処理停止期間は、10月5日22時00分までの67時間30分であった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。

＜正式評価（分類）＞

人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響
1．問題なし	1．問題なし	2．軽度

⑦　1号溶融炉ダスト搬出コンベアの不具合について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成20年10月25日午後7時40分頃、1号溶融炉の第二ダスト搬出コンベアに不具合が生じたので対応してきましたが、運転中の修復は困難と判断し、炉停止しての修復作業を行うため、10月25日午後8時00分から1号溶融炉の立下げを行っています。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：1．問題なし 基準の逸脱等：1．問題なし 事業進捗への影響：2．軽度
＜修復作業の内容＞ 第二ダスト搬出コンベヤ内の水を抜いて、点検・修理を実施し、不具合の原因となっていたコンベヤチェーンのレールの修繕を実施した。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：1．問題なし 基準の逸脱等：1．問題なし 事業進捗への影響：2．軽度
＜処理事業への影響＞ 今回の修復作業による溶融処理停止期間は、10月27日16時30分までの46時間30分であった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。	

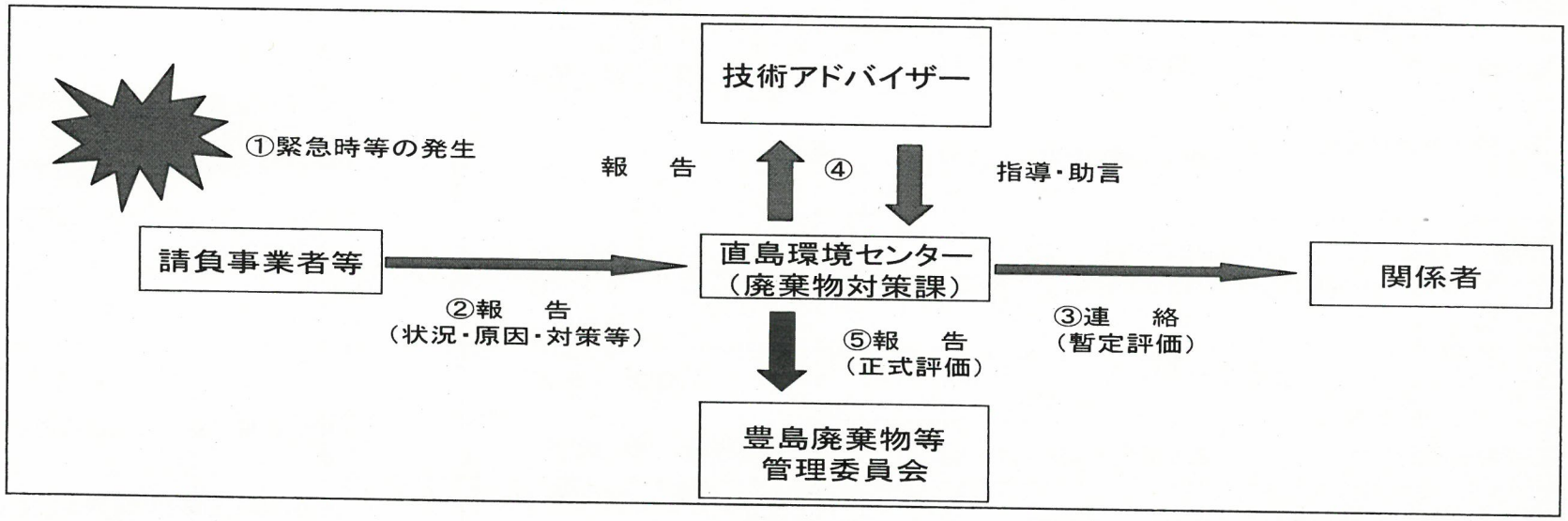
⑧　1号溶融炉スラグ搬出コンベアの不具合について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成20年12月6日午後3時頃、1号溶融炉の第一スラグ搬出コンベアに不具合が生じたので、炉内温度1000℃のキープ運転（廃棄物の投入停止）を行い、修復作業を実施します。 なお、このことによる周辺環境への影響はありません。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：1．問題なし 基準の逸脱等：1．問題なし 事業進捗への影響：2．軽度
＜修復作業の内容＞ 不具合の原因となった巨大スラグを撤去し、コンベヤの総点検、破損箇所の部品交換等の修復作業を行い、施設の安全を確認の上、7日14時から立上げを開始した。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：1．問題なし 基準の逸脱等：1．問題なし 事業進捗への影響：2．軽度

＜処理事業への影響＞ 　今回の修復作業による溶融処理停止時間は、溶融処理停止期間は、12 月 7 日 17 時 30 分までの 26 時間 30 分であった。このため、正式評価（分類）の結果は暫定評価（分類）と比べ変更ないものとなった。	

（参考）

運用方針（評価（分類）の流れ）

① 緊急時等の発生
② 請負事業者等は、直島環境センターに報告する。
③ 請負事業者等からの報告などに基づき、直島環境センターは、次の評価（分類）基準表により、速やかに緊急時等の暫定評価（分類）を行い、その結果を付して関係者に連絡する。
④ また、技術アドバイザーに状況を報告し、指導・助言を得る。
⑤ 直島環境センターは緊急時等への対応が終了した時点で、必要に応じ暫定評価（分類）を見直し、正式評価（分類）を行い、豊島廃棄物等管理委員会に報告する。



評価（分類）基準表

【豊島】

評価レベル	人身への影響		環境への影響	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	管理基準値を超過したものが豊島処分地外への流出	中間処理施設での溶融処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	• 設備の破損等 • 管理基準値の超過を確認（場外への流出なし）	中間処理施設での溶融処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	基準を満足	影響なし又は中間処理施設での溶融処理に影響しないもの

【直島】

評価レベル	人身への影響		環境への影響	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	• 即時停止レベル超過 • 雨水排水が管理基準を超過	溶融処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	要監視レベル	• 溶融処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止 • スラグ品質低下によるスラグ再溶融の実施
1	影響がないもの	影響がなかったもの	基準を満足	影響なし又は中間処理施設での溶融処理に影響しないもの

【輸送（海上、陸上）】

評価レベル	人身への影響		環境への影響	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	海域への廃棄物、油の流出	中間処理施設での溶融処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	• 海域への廃棄物、油以外（洗剤、物品等）の流出 • 陸上での廃棄物等の飛散	中間処理施設での溶融処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	影響がないもの	影響なし又は中間処理施設での溶融処理に影響しないもの